

318

301



始





原則之應用

(攻擊之部)

大正
4. 5. 26

內交

陸軍士官學校戰術課長步兵大佐向西兵庫序文
陸軍士官學校教官步兵少佐坂本政右衛門校閱
陸軍士官學校教官步兵大尉栗原勇講述

發行所 陸軍士官學校將校集會所

原則之應用

序

戰術ノ研究ハ先原則ノ理解ヲ以テ第一トシ次ニ此原則ヲ巧ニ諸種ノ狀況ニ應用シ得テ始メテ其目的ヲ達セルモノト謂フヘシ本書ハ本校教程ニ基キ單一ナル戰術ノ原則ト戰鬪ノ法則トヲ理解シ易ク且之ヲ實際的ニ各種ノ狀況ニ適用說述シ概ネ其要ヲ得タルモノト認ム依テ茲ニ上梓シテ篤學ノ士ノ研究ニ資セントス

大正四年四月

陸軍士官學校戰術科長 向西 兵庫

上梓ノ辭

本校第二十七期生徒教授擔任ニ際シ原則應用ノ目的ヲ以テ掛圖戰術ヲ行フ、掛圖戰術トハ如何、大梯子ノ地圖ヲ掲ケ以テ問答説述スルニ他ナラス

此法タルヤ、教官生徒相互ノ意思ヲ疏通シ印象ヲ深カラシムル効益ゾルノミナラス生徒ノ眼眸ハ常ニ圖上ト教官トニ灑カレ言語態度ヨリ一顰一笑ノ微ニ至ルマテ炳然トシテ教官ニ映シ其蘊底ヲ洞察スルニ最モ便ナリ茲ニ生徒ノ請ニ依リ上官ノ認可ヲ得テ印刷頒布シ聊カ研究ノ資ニ供セント欲ス然リト雖モ此狹小ナル地區ニ於テ成ルヘク多クノ原則ヲ研究セントセ

シ願望ノ結果ハ儘不自然ノ情況トナリ不適切ノ指導
トナリシヤノ憾ナキ能ハス讀者幸ニ焉ヲ諒セラレン
コトヲ

大正四年四月

陸軍士官學校教官 陸軍歩兵大尉 栗原勇

應用の原則(攻撃の部)目次

想定	一
第一	旅團長ノ決心及處置四
第二	前衛司令官ノ前兵區署一四
第三	歩兵尖兵ノ敵ニ接近時ノ行動一七
第四	前兵ノ敵ノ前進部隊攻撃二四
第五	騎兵中隊ノ徒步攻撃三〇
第六	前衛ノ本隊開進掩護四〇
第七	前衛砲兵ノ陣地占領五八
第八	本隊ノ開進六三

第九	旅團長ノ展開指導……………	六
第十	步兵第二聯隊(第三大隊欠)ノ展開……………	六
第十一	步兵第一聯隊ノ展開……………	六
第十二	本隊砲兵ノ陣地占領……………	九
第十三	第一線步兵大隊攻撃準備ノ隊形及動作……………	九五
第十四	小行李ノ敵火ノ下ニ於ケル行動……………	二三
第十五	豫備隊ノ隊形及動作……………	二〇
第十六	攻撃前進……………	二三
第十七	步兵第一聯隊方面ノ戰況……………	二三
第十八	步兵第二聯隊方面ノ戰況……………	二三

第十九	步兵第一聯隊方面ノ戰況……………	二四
第二十	騎兵中隊ノ襲撃……………	二五
第二十一	旅團長ノ戰鬪指揮……………	二五
第二十二	步兵第二聯隊第三大隊(旅團總豫備)ノ戰鬪……………	二六

附圖 西軍混成旅團攻撃經過要圖
 附表 攻撃一般ノ要領

原則ノ應用 (攻撃ノ部)

想定

敵ヲ擊攘スヘキ任務ヲ有スル西軍混成旅團ハX
街道ヲ東進シ三月十日午前十時其前衛歩兵ノ先頭
ヲ以テD町西端ニ達ス此時迄ニ旅團長ノ知得セル
情報左ノ如シ

(イ) 歩兵三、四千ヨリナル諸兵連合ノ敵ハ約一時間
前ヨリA町附近ニ陣地構成中ニシテ其歩兵約一
中隊ハJ林ニ停止シアリ

(ロ) 我前衛騎兵ノ主力ハ且高地ニ一部ハF村ニ在

二
リテE林及G林南端ニ在ル敵騎ト相對ス
混成旅團ノ軍隊區分左ノ如シ

前衛

司令官步兵第一聯隊長步兵大佐某

步兵第一聯隊(第三大隊欠)

騎兵第一中隊(一分隊欠)

野砲兵第一中隊

工兵第一中隊

本隊(同行軍序列)

騎分一分隊

旅團司令部

步兵第一聯隊第三大隊

野砲兵第一大隊(第一中隊欠)

步兵第二聯隊

聯隊段列三分一

衛生隊半部

輜重

步兵彈藥一縱列

砲兵彈藥一縱列

糧食二縱列

野戰病院二個

※第一 旅團長ノ決心及處置

四

問

旅團長ノ
決心

午前十時ニ於ケル旅團長ノ決心

答

旅團ハA町附近ノ敵ヲ攻撃セントス

理由

敵ハ我レヨリ劣勢ニシテ其A町ニ來リシ時間ヨリ推考スルモ其陣地ハ未タ比較的堅固ニアラサルヘシ旅團ハ任務上攻撃スルヲ要ス地形一般ノ状態ハ我レノ攻撃比較的大ナル困難ニアラサルヘシ

説述

抑々決心ハ任務地形及敵情ノ判斷ニ基クモノナリ任務如何ニ攻撃ヲ要求スルモ地形或ハ敵情之ヲ許ササルコトナキニアラサルヘシ然レトモ任務ハ決心ノ基礎タルヘキハ飽迄モ銘肝セサルヘカラス地形ハ死物ナリ此レカ使用ノ方法ニ依リ其害ヲ除クノ途アルヘク敵情ノ不明ハ戰場ノ常ナリ如何ニ探查ノ術ヲ盡スモ遂ニ明瞭ニ知悉スルニ至ル能ハサルヘシ宜ナル哉原則ノ指示スル所「任務ハ決心ノ基礎ニシテ地形ノ不利、敵情ノ不明等ニ依リテ躊躇スヘキモノニアラス」ト

問

決心ニ基
ク處置

旅團長ノ決心ニ基ク處置如何

答

一 大行李、輜重ニ所要ノ命令ヲナス

五

- 二 本隊ニハD町東端ニ向ヒ前進セシム
- 三 砲兵大隊長ヲ伴ヒ前衛司令官ノ許ニ急行シ前衛ニ動作ノ憑據ヲ與フ
- 四 本隊開進ノ區署ヲナス

說述

此情況ニ於テハ既ニ敵ニ近接シ時間ノ餘裕乏シキヲ以テ合同命令ヲ下ス能ハス故ニ各別命令ヲ以テ迅速ニ處置スルヲ適當トス

又行李、輜重ニ關スル事ハ先不取敢戰鬪部隊ニ命令ヲ下シ次ニ行李、輜重ニ及フモ可ナリ要スルニ合同命令トスヘキヤ各別命令トスヘキヤ又各別命令ハ如何ナル順序ニ下スヘキヤハ當時ノ情況ニ依ルヘキモノトス

問

大行李輜重ニ命令

大行李輜重ニ下スヘキ命令

答

混成旅團命令

三月十日午前十時於S村

- 一 敵ハA町附近ニ防禦工事中ナリ
- 二 旅團ハ此敵ヲ攻撃セントス
- 三 大行李ハE村西端ヲ先頭トシ停止スヘシ
- 四 輜重ハT村西端ヲ先頭トシ停止シ歩、砲彈藥各半縱列及野戰病一個ハ依然D町西端ニ向ヒ前進スヘシ
- 五 予ハI高地附近ニ至ル

混成旅團長 少將 某

(傳達法 筆記シテ傳騎送達)

情況

- 一 旅團長ハ先ツ輜重行李ニ右ノ命令ヲ下シ次ニ本隊ハ第二聯隊長ノ引率ヲ以テD町東端ニ向ヒ前進セシメ本隊ノ各隊長ハ本隊ノ先頭ニ集合シアルヘク命シ砲兵大隊長ヲ伴ヒ前衛司令官ノ許ニ急行ス
- 二 之ヨリ稍前ニ於テ前衛司令官ハ前衛本隊ノ先頭ニ於テ行進中略旅團長ト同様ノ情況ヲ知り得タリ

問

前衛司令官ノ決心

答

前衛司令官ノ決心

決心

前衛ハ直ニJ林ノ敵ヲ擊攘シI高地附近ヲ占領セントス

理由

前衛カ其進路上ノ障碍ヲ排除シ本隊ノ行進ヲ澁滞セシメサルハ前衛本來ノ任務トス且此際敵兵A町附近ヲ占領シアリトスレハ前衛ハ是非共I高地附近ヲ占領シテ本隊爾後ノ行動ヲ容易ニセサルヘカラサルヘシ

情況

- 一 此時旅團長ハ急行シテ前衛司令官ノ許ニ來リ次

前衛ニ動作ノ憑據ヲ與フ

ノ命令ヲ下ス【歩操二ノ二】

一 敵情ハ貴官ノ知ル如シ

二 旅團ハ攻撃ノ目的ヲ以テD町東側ニ開進セン

トス

三 前衛ハ速ニJ林附近ノ敵ヲ擊攘シC村ヨリL

高地ニ亘ル線ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護スヘシ

四 予ハ後刻I高地ニ至ル

二 旅團長ハ前衛司令官ニ動作ノ憑據ヲ與ヘ終ルヤ

本隊ノ先頭來ルヲ待チ開進ニ關スル命令ヲ下サン

トス【歩操二ノ四十九】

問

旅團長ハ本隊ノ開進ニ關シ如何ナル命令ヲ下スヤ

答

混成旅團命令

開進命令

一 歩兵三、四千ヨリナル諸兵連合ノ敵ハ午前九時頃

ヨリA町附近ニ陣地構成中ニシテ其歩兵約一中隊

ハJ林附近ニ又其騎兵ハE林及G林南端ニ停止シ

アリ

二 旅團ハ此敵ヲ攻撃セントス

三 本隊ハ第二聯隊長ノ區署ヲ以テD町東側ニ開進

スヘシ

前衛ハJ林ノ敵ヲ驅逐シC村E高地ノ線ヲ占領シ

本隊ノ開進ヲ掩護ス
四 予ハI高地ニ至ル

說 述

開進地ノ
撰定

一 抑々開進地ニハ左ノ二個ノ重要ナル性能ヲ要求ス(歩操二ノ二)
其一 敵眼ヲ避ケ且有効ナル敵砲彈ノ危害ヲ避クルコト是レナリ
其二 爾後ノ展開ニ便ナルコト是レナリ
此狀況ニ於テD町東側ニ撰定セシハ此二要求ニ合スルモノニシテ
敵眼ニハ遮蔽シ敵陣地ヨリ四千米以外ニシテ砲彈ノ危害ヲ避ケ得
ヘク爾後主力ヲL山方面C村方面ノ何レニ用フルコトトナルモ進
出便ナリ且ツ豫期スル攻撃準備ノ線ヨリ適當ニ離隔シ展開ノ爲甚
シキ側面行進ヲ要セサルヘシ
尙戰術上一般原則トシテ左圖ニ於ケル△ニモ一致シアリ



前衛陣地
ノ撰定

二 前衛陣地ヲ撰定スルニハ敵ノ砲火ヲ顧慮シ且抵抗ニ適スル地形
ナラサルヘカラス

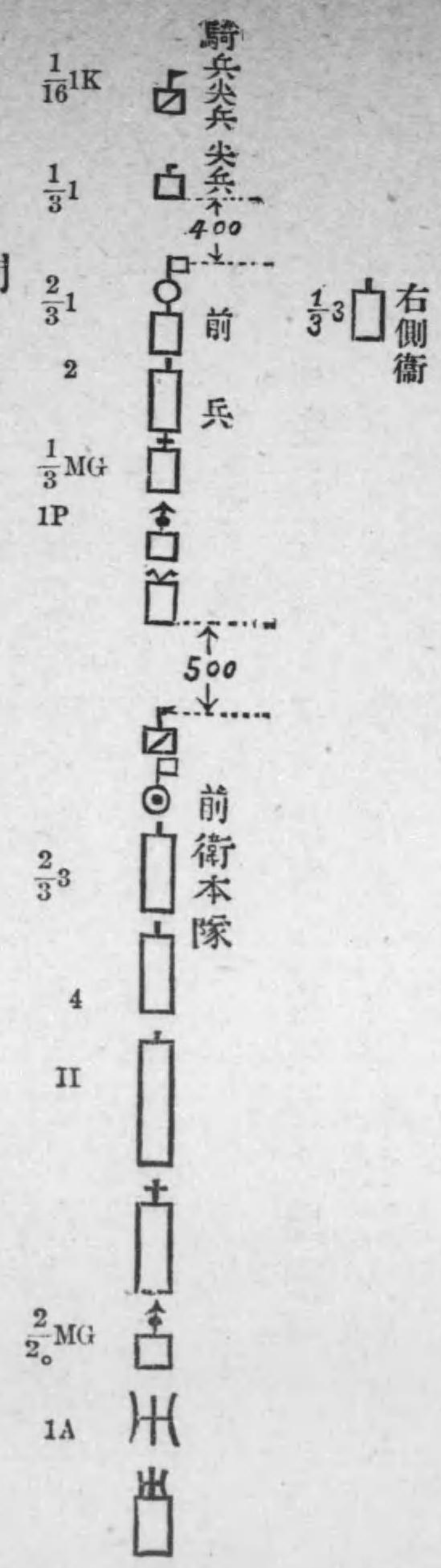
敵ノ陣地ヨリ三千米突以内ニ近接セシムルハ地形特ニ之ニ適シ且
危険ナキ時ニ限ル斯ク近距離ニ接近スル時ハ敵ハ其本陣地ノ砲兵
陣地ヲ變換スルコトナク我レヲ射撃シ其歩兵ハ決然立テ攻勢ニ轉
スル虞アルヲ以テナリ

然レトモ徒ニ安全ヲ謀リ敵ヨリ過遠ノ距離ニ撰定スル時ハ敵情地
形ノ偵察困難ナルト爾後本隊ノ展開ニ不便ヲ來スヘシ
要スルニ如何ナル位置ニ撰定スヘキヤハ敵情地形天候及本隊ノ開
進地及兵力等種々ノ狀況ニ關スルモノトス

三 機動ニ富ム防者ハ攻者ノ先頭陣地前ニ現出シ其全部或ハ大部猶行軍縦隊ニ在ルヲ機トシ攻勢ニ轉スルコトアリ故ニ攻者ハ防者ノ兵力著シク劣勢ナリト考フル場合ニ於テモ必ス之ニ對スル用意ナカルヘカラス之カ爲ニハ有力ナル敵ノ前進部隊ハ輕忽ニ攻撃スヘカラス如何トナレハ此戦闘ハ時トシテ我準備完カラサルニ敵ノ攻勢移轉ヲ誘致スルノ虞アレハナリ故ニ此攻撃ニ着手スルハ敵ノ攻勢移轉ニ對抗シ得ルノ準備ヲ完了シアルヲ要ス然ルニ本情況ニ在リテハ前衛ハ是非共I高地附近ヲ占領スルヲ必要トシ且敵ノ前進部隊タルヤ極メテ僅少ノ兵力ニ過キササルヲ以テ前衛ハ遲疑スルコトナク直ニ之カ攻撃ニ著手スルヲ至當トス

※第二 前衛司令官前兵ノ區署
情況

- 前衛行進區署
- 一 前衛司令官ハ前衛本隊ノ先頭ニ行進中旅團命令ヲ受領セリ
 - 二 當時前衛ノ行進區署左ノ如シ



問 旅團命令ニ基ク前衛司令官ノ處置
答

前衛司令官前衛本隊ノ先頭ヲ離レ前進時ノ處

- 一 前衛本隊ノ引率ヲ第二大隊長ニ命ス
- 二 歩兵第三中隊(一小隊欠)ニ前兵ニ増加ヲ命ス
- 三 砲兵中隊長ヲ伴ヒ前兵長ノ許ニ急行シ情況ヲ示シテJ林附近ノ敵ヲ驅逐シI高地ノ占領ヲ命ス
- 四 工兵中隊ハ前衛司令官ノ直轄トス

情況

- 一 前衛司令官ハ次ニ偵察ノ結果左ノ處置ヲナス
- (イ) 前衛本隊ノ歩兵部隊ハF神社北側ニ開進セシム
- (ロ) 砲兵中隊ハF神社前ヲ先頭トシ道路上ニ停止セシム

但シ要スレハ前兵ノ攻撃援助ノ爲陣地進入ノ準備ヲナサシム

- 二 前衛司令官ハ右ノ處置ヲナシD町東端ニ至リ敵情ヲ視察ス

※第三 歩兵尖兵ノ敵ニ接近時ノ行動

情況

- 一 午前十時尖兵長D町西端ニ達スルヤD町東端ニアル騎兵尖兵ヨリJ林ニ敵ノ歩兵部隊アルノ通報ヲ受ケタリ
- 二 當時尖兵ノ行進區署左圖ノ如シ

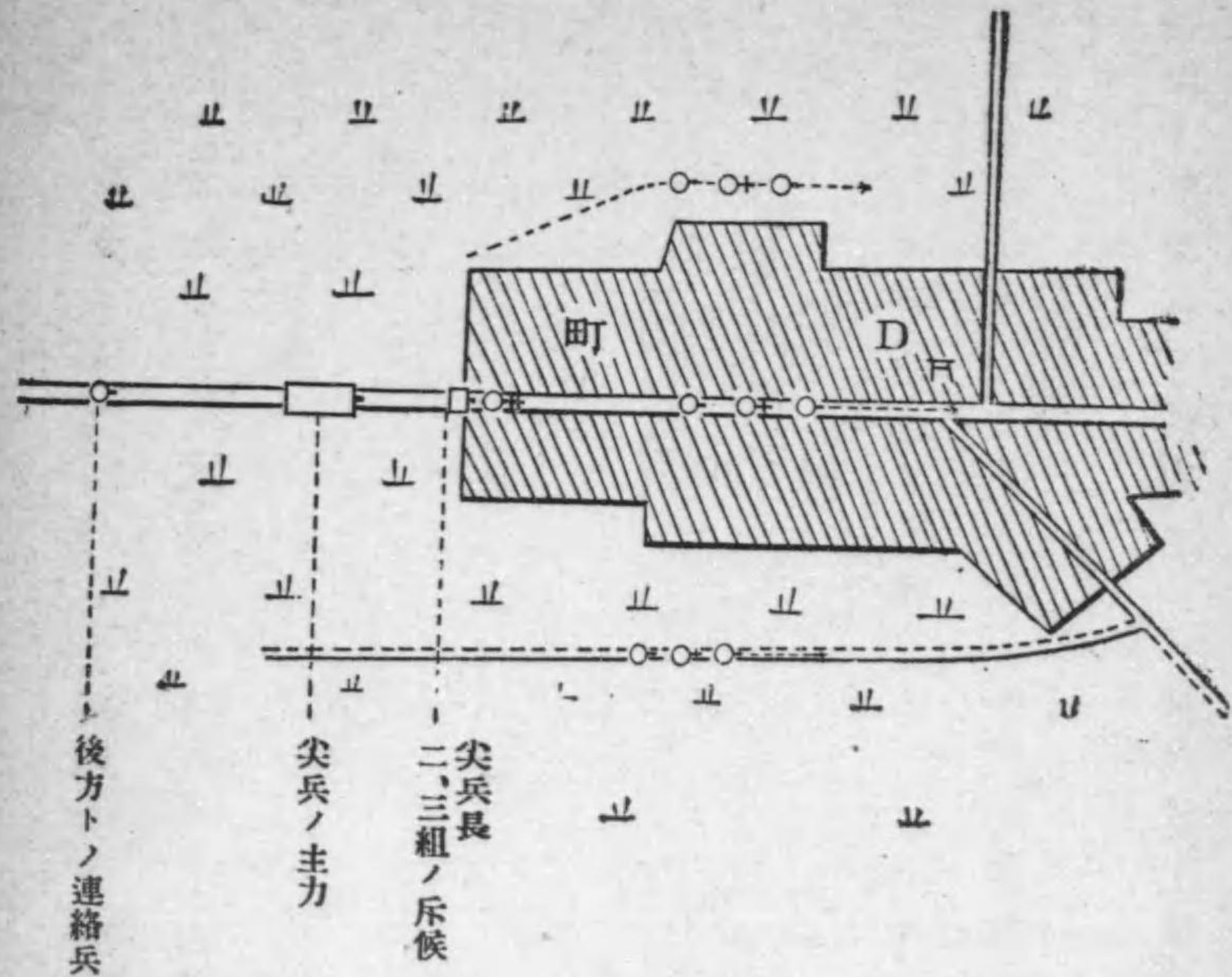
尖兵ノ行進法

說述

一 尖兵ノ搜索法ハ敵トノ遠近及地形等ニ依リ異ナレリ

要スルニ陣中要務令ニ示ス如ク敵ニ接近スルニ至レハ所要ニ應シ行進路ノ近傍ニ斥候ヲ派遣シ又村落若クハ陰蔽地ニ在リテハ特ニ意ヲ用ヒテ搜索ヲナスモノトス【陣要百十五第二項】

二 尖兵長ノ位置ハ最先頭ニ行進スルカ又ハ其前方ニ斥候ヲ出シテ行進スル



ヤハ狀況ニ依ルモノトス此場合ニ於テ前方ニ斥候ヲ出シタルハ敵ニ近ク市街内ヲ通過スルカ爲ナリ但我騎兵已ニ前方ニ在ルモ狀況ノ變遷測リ難キヲ以テナリ

問

D町西端ニ於ケル尖兵長ノ處置

答

尖兵ノ主力ニ駈歩ヲ命シD町東端ニ急行ス

說述

尖兵ハ行進路附近ノ敵情ヲ成ルヘク速ニ搜索シ以テ報告ヲ提供スルヲ任務トス之レカ爲ニハ一時後方部隊トノ距離延伸スルコトアルヘシ

此際D町東端ニ進出セハJ林附近ヲ展望スルヲ得ヘク且ツ更ニ搜索

尖兵敵ニ接近シタル場合ノ動作

ノ地歩ヲ進ムル區處ヲ定ムルヲ得ヘシ
故ニ此際先D町東端ニ急行スルヲ緊要トス

情況

前衛騎兵
ト歩兵尖
兵トノ協
同

- 一 尖兵長ハD町東端ニ至リ尖兵小隊ヲ敵ニ遮蔽シテ停止セシメ家屋上ニ登リ望遠鏡ヲ以テJ林ヲ視ルニ林縁ノ稍内方ニ一連ニ散兵ヲシキモノヲ見ル
- 二 右側斥候ハD町東南側ヲ東南方約五百米ノ林ニ向ヒ前進中ナリ
- 左側斥候ハF村ニ向ヒD町東北側ヲ行進中ナリ
- 三 此時騎兵中隊長ヨリ中隊ハH高地鞍部ニ在リテE林ニ在ル敵騎ト相對シアルノ通報ニ接シ又尖兵

長ハJ林ノ敵情等ヲ騎兵中隊長ニ通報ス同時右側衛小隊H高地鞍部ニ到著セルヲ知ル

問

尖兵長ノ處置

答

- 一 前兵長ニ敵情報ヲナス
- 二 尖兵小隊ヲ何時ニテモ散開シ得ヘキ姿勢ニ在ラシム

說述

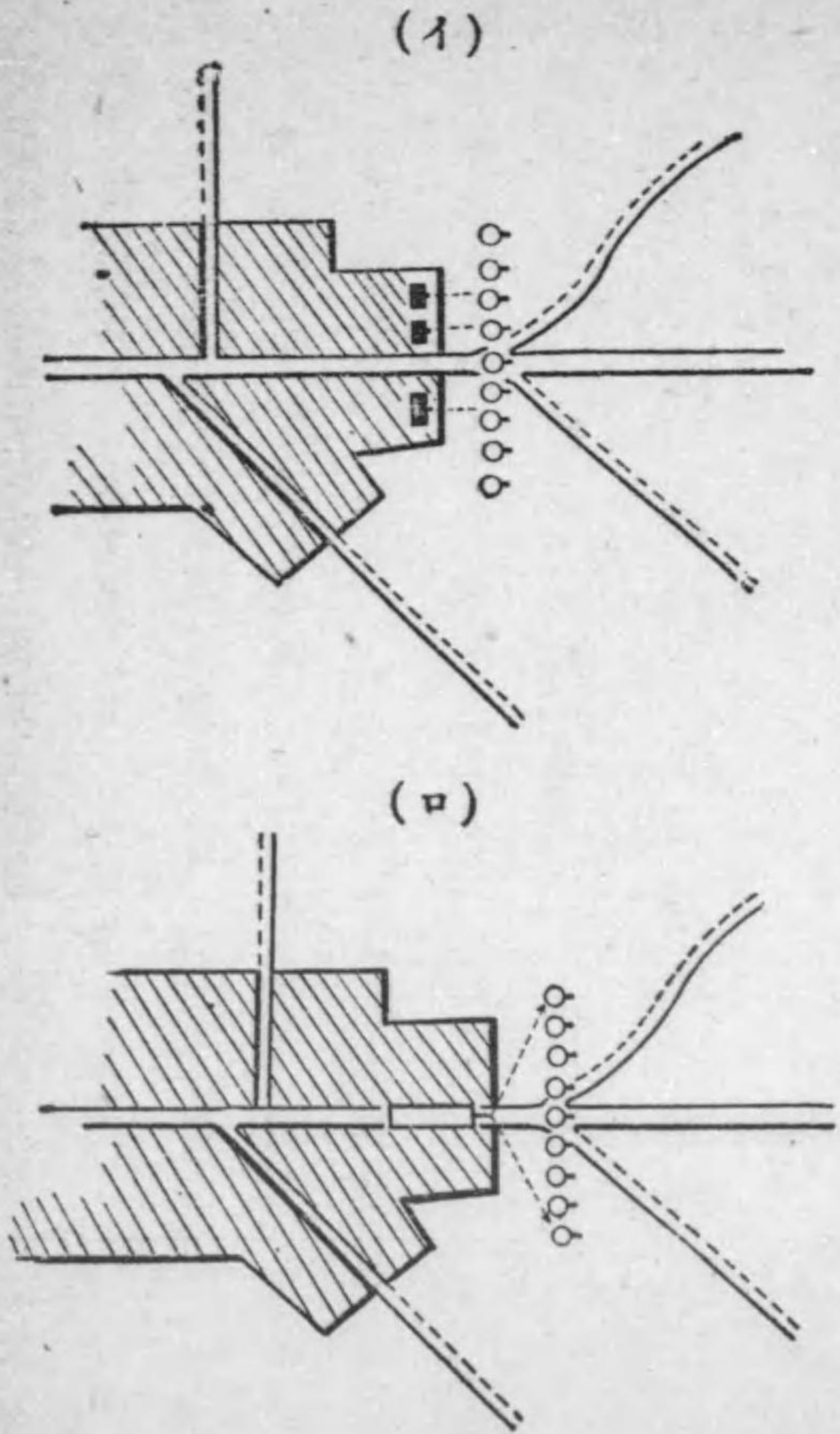
尖兵ノ對
敵動作

- 一 尖兵敵ニ出會セシ場合ニ於テ如何ナル行動ニ出ツヘキヤハ少シク研究スルノ價値アリ
- 直ニ散開射撃スルカ如キハ遭遇戰ニ於テ機先ヲ制スル爲メ或ハ敵

ニ先ンセラレ後方部隊ノ展開ヲ掩護スルノ必要アル時、或ハ微弱ナル敵ヲ驅逐シテ一意前進ヲ要スル時等ノ場合ニシテ狀況ノ如何ヲ顧ルコトナク猥リニ戦闘ヲ開始スヘカラス然ラサレハ無益ノ損害ヲ蒙ルノミナラス後方部隊ヲシテ計畫ナキ戦闘ヲ開始スルノ已ムナキニ至ラシムルコトアルヘシ蓋シ尖兵ノ任務ノ主トスル所ハ戰鬥ニ非スシテ搜索ニ在リ尖兵長タルモノハ深ク此點ニ留意セサルヘカラス但之カ爲常ニ消極的動作ニ陥ルハ斷シテ不可ナリ要ハ活眼ヲ以テ大局ヲ達觀シ瞬間ニ其舉止ヲ決スルニ在リ是ニ於テ尖兵長ノ任ハ重ク無限ノ名譽之ニ伴フ所以ナリ

本情況ノ如ク遮蔽シテ停止セル尖兵ハ如何ナル隊形ニアルヘキヤハ敵ノ遠近及地形等ニ依ルモノニシテ敵ニ近ク且遮蔽シテ散開シ在リ得ル地形ナレハ散開シアルモ可ナリ然ラサレハ何時ニテモ迅速ニ散開シ得ル準備ノ姿勢ニアルヘシ

例ヘハイ(イ)圖ノ如シ蓋シ小隊ノ如キハ急ニ應シ何時ニテモ即時ニ散開シ得ルヲ以テ假令遮蔽散開ヲ許ス場合モ勉メテ過早ノ散開ヲ避クヘシ殊ニ敵ノ行動測リ難キ場合ニ於テ然リ、而シテ敵ノ有効射撃



ヲ蒙ル距離ニ於テ(ロ)圖ノ如キ散開ヲナササル可ラサル姿勢ニ在ルハ勉メテ避クルヲ要ス

二 尖兵長ハ家屋上又ハ樹上等ニ自ラ登ルカ又ハ下士卒ヲ登ラシメ(要スレハ望遠鏡ヲ貸與ス)以テ敵情ヲ視察ス要スレハ斥候ヲ派遣シ又ハ自ラ若干兵ヲ伴ヒ更ニ敵情ヲ視察シ易キ位置ニ前進スルコトアルヘシ

※第四 前兵ノ敵ノ前進部隊攻撃

情況

前兵長ハ前兵ノ先頭ニ在リテD町内西部附近ヲ行進中前衛司令官來リ次ノ命令ヲ受ク

前衛司令官前兵ニ敵ノ前進部隊攻撃ノ命令

一 敵ハA町附近ニ陣地構成中ニシテ歩兵約一中

隊ハJ林附近ニ在リ

我騎兵ノ主力ハH高地ニ一部ハF村ニ在リテ敵ノ騎兵ト相對シアリ

二 前衛ハC村及同村北方高地線ヲ占領シ本隊ノ

D町東側ニ於ケル開進ヲ掩護セシトス

三 前兵ハ速ニJ林ノ敵ヲ驅逐シI高地附近ヲ占領スヘシ

步兵第三中隊(一小隊)欠ヲ増加シ工兵中隊ハ爾今予ノ直轄トス

問

前兵長ノ處置

答

尖兵長ノ
動作

- 一 前兵ノ先頭ハF神社前三叉路ニ至ラハ停止スヘク命ス
- 二 各隊長(歩兵第一、第二中隊長、機關銃小隊長及小行李長)ハD町東端ニ集合ヲ命ス
- 三 大隊副官ヲシテD町南北側ノ地形偵察ヲ命ス
- 四 工兵中隊ニ前衛本隊ニ復歸ヲ命ス
- 五 前兵長ハ急行D町東端ニ至ル

情況

- 一 前兵長ハ南方H高地方向ニ稍盛ナル銃聲ヲ聞キツ、馬ヲ飛バシテD町東端ニ至ル

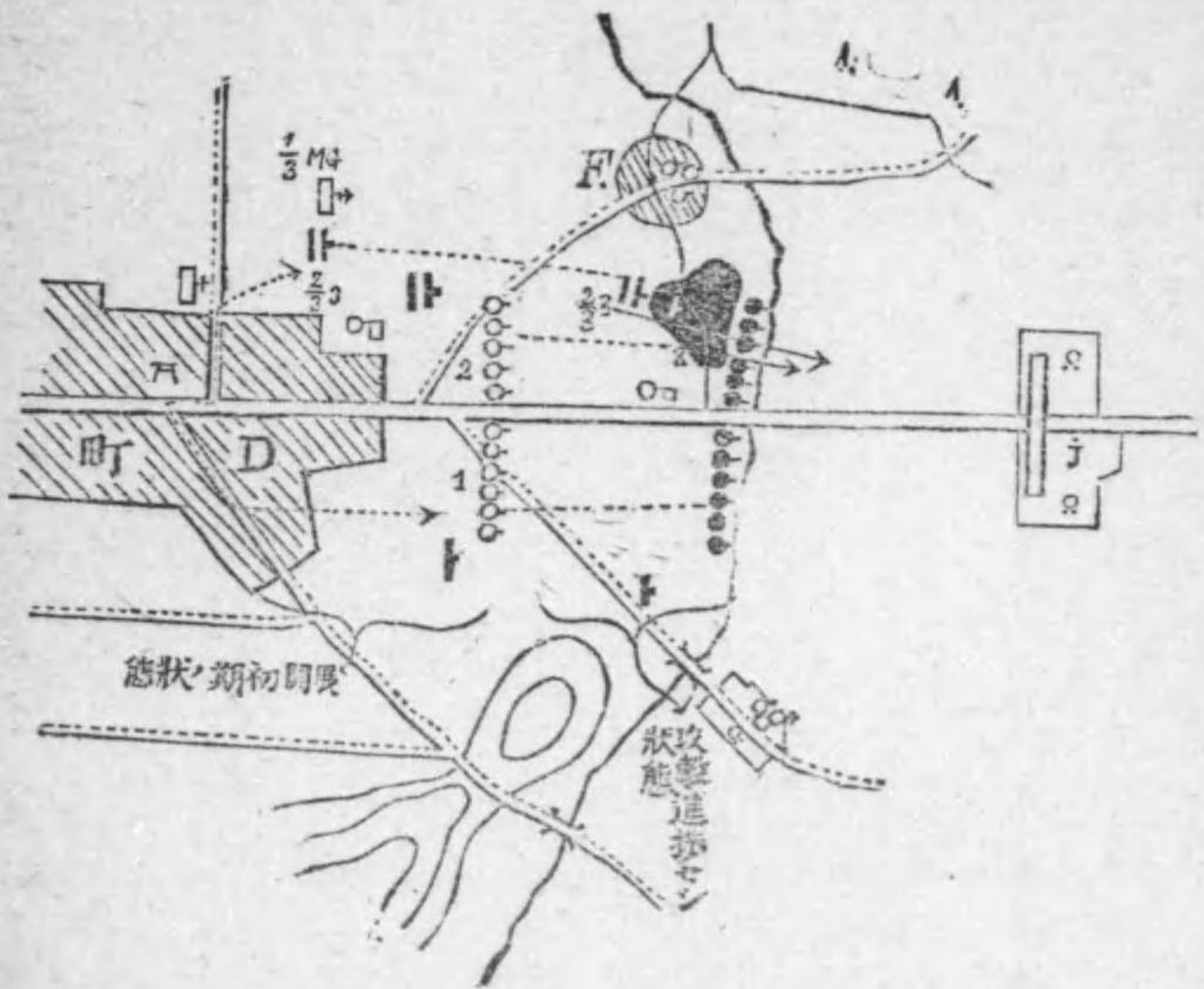
- 途中尖兵ヨリノ傳令ニ會シ敵情報ヲ受ケタリ
- 二 前兵長ハD町東端ニ於テ尖兵長ヨリ情況報告ヲ受ク且ツ親シク敵情地形ノ觀察ヲナス
- 三 間モナク大隊副官來リD町南北側ハ共ニ部隊ノ行動ニ支障ナキ報告ヲナス

問題

步兵第一大隊(一中隊ト一小隊缺)及機關銃一小隊攻撃展開要圖

答解

前兵敵ノ
前進部隊
攻撃部署



說 述

- 一 大隊ノ主力ヲ何レニ用フルヤ
地形上蔭蔽近接ノ利益ハ本道北側ニ在リ故ニ此方面ニ大隊ノ主力ヲ用ルヲ適當トス
- 二 縦長區分ヲ如何ニスルヤ
情況上可成迅速ニ當面ノ敵ヲ驅逐スルヲ要ス故ニ第一線ノ兵力ヲ大ニスルヲ可トス
- 三 豫備隊ノ位置如何

本道北側地區ニ主力ヲ用ヒ攻撃スルヲ目的成功上有利トスル勿論ニシテ且ツハ又右側面ニハ敵ノ騎兵ノ主力アリト雖モ我騎兵ノ主力及右側衛小隊アリ故ニ左側面ニ比シ比較的危險ノ顧慮少シ且J林ノ敵以外ニ敵兵顯出ノ顧慮ハC村方面ヨリハL高地方面ノ方大ナリ加之豫備隊ハ第一線ニ増加スルニハF村方面ニ用フルヲ有利

ナリトス故ニ左側後ニ行進セシムルヲ適當トス

- 四 第一線中隊ノ散開ハ最初ハ可成節約スルヲ要ス然レトモ戰況之ヲ要スレハ最初ヨリ十分ノ兵力ヲ散開シ優勢ナル火力ヲ以テ敵ヲ制壓スルヲ必要トス故ニ第一中隊ハ最初ヨリ二小隊ヲ散開ス

【歩操一ノ百十二】

援隊ノ位置ハ兩中隊共外翼後ナルヲ要ス是レ側面ノ掩護及散兵ノ外翼ニ延伸増加ヲ企圖スレハナリ【歩操一ノ百五十六】

情 況

- 一 歩兵第一大隊長ハ叙上ノ如キ攻撃部署ヲ取ルヘクD町東端ニ於テ決定セリ
- 第三中隊(一小隊欠)ハ前兵ニ追及セシコトヲ知ル
- 二 招致セラレタル各隊長ハ大隊長ノ下ニ集合セリ

依テ直ニ攻撃ノ爲命令ヲ下ス

問

大隊ノ攻撃命令

答

命 令

大隊長ノ
攻撃命令

- 一 敵ハA町附近ニ工事中ニシテ約一中隊ノ敵ノ歩兵ハ彼ノJ林ノ林縁ヲ占領シアリ
- E林及G林ニハ敵ノ騎兵部隊アリ
- 前衛ハC村L高地線ヲ占領シ本隊ノD町東側ニ於ケル開進ヲ掩護ス

- 二 大隊(第四中隊及第三中隊ノ一小隊欠)ハ今ヨリJ

林ノ敵ヲ攻撃シI高地附近ヲ占領セントス

三 第一第二中隊第一線

第三中隊(一小隊欠)機關銃小隊豫備隊

第一中隊ハ本道南側ヲ第二中隊ハ本道北側ヲ豫備隊ハ左翼後ヲ前進

四 小行李ハF神社北側ニ停止シアルヘシ

五 各中隊ハ補助擔架卒ヲ軍醫ノ下ニ差出シ軍醫ハ隊繙帶所ヲD町東北端附近ニ開設ノ準備ニ在ルヘシ

六 大隊旗ハ豫備隊ノ位置ニアレ【歩操一ノ百八十】

說 述

小行李隊
繙帶所及
大隊旗

一 小行李ヲ停止セシメタルハ此攻撃戰闘中ニ彈藥補充ノ必要ヲ豫期セサルヲ以テ徒ニ無益ノ損害ヲ蒙ラシメンヨリハ一時停止シ置クヲ可トスルヲ以テナリ

二 隊繙帶所ノ位置ヲD町東端トセス東北端トセシハ本道ニヨリD町内ヲ傷者ノ運搬ヲナスハ後方部隊殊ニ砲兵ノ行動ヲ妨害センコトヲ恐ルD町北側地區ヨリ運搬スル時ハ此虞ナキヲ以テナリ

三 各中隊ノ補助擔架卒ヲ出スコト及隊繙帶所開設ノ件ハ必ス揭示セサルヘカラス殊ニ補助擔架卒集合ノ件ノ如キ大隊長ノ命令ナキモ中隊長ハ差出ス考ヘテ必要トスルモ實戰ニ於テ中隊長ハ唯戰闘センコトニ熱中シ實行困難ナルヲ以テ大隊長ハ隊繙帶所ノ設置ヲ要スル時ハ必ス差出方ヲ命スルヲ可トス

此情況ニ於テハ敵ハ頑強ニ抵抗センコトハ恐ラクナカルヘキモ若干ノ損害ヲ生スルヤモ測ラレス依テ開設ノ準備ハナスノ必要アリ

四 大隊旗ノ件ハ大ナル問題ニ在ラサルモ操典ノ規定ニヨリ必ス指示スヘシ【歩操一ノ百六十九第三項】

往々説ヲナスモノアリ「大隊旗手ハ下士ナリ兵卒ニアラス命セサルモ豫備隊ノ位置ニ至ルヘシ」ト然ラス演習ニ於テサヘ屢々實行セラレサルコトアルヲ見ル況ンヤ實戰ニ於テオヤ

五 大隊長ノ位置ハ殊ニ要スル場合ノ外示ササルモ可ナリ

※第五 騎兵中隊ノ徒歩攻撃

情況

前衛騎兵ノ動作

一 是レヨリ先キ前衛騎兵中隊ハ略同等ノ敵騎トD町西側地區ニ於テ衝突セシカ勇敢ナル襲撃ニ依リ敵騎ヲ撃退シ之ヲ追撃シテ半小隊ヲ以テF村ニ主

力(三小隊)ヲ以テH高地鞍部ニ至ルヤ敵ノ歩兵約一中隊ハJ林ニ顯出シ又退却セシ敵騎ノ主力ハE林西北端林縁ニ一部ハG林南端附近ニ徒歩戦ヲナシ我前進ヲ拒止シ騎兵中隊ハ遂ニ前進ノ途ナキニ至リ高地上ニ散開シテ射撃中ナリシカ中隊長ハ午前十時六、七分頃我前衛歩兵ノ先頭D町東端ニ達シタルヲ知り情況ノ通報ヲナス
同時我右側衛小隊(歩兵第三中隊ノ一小隊)同鞍部ニ來レリ

問

騎兵中隊長ノ處置

答

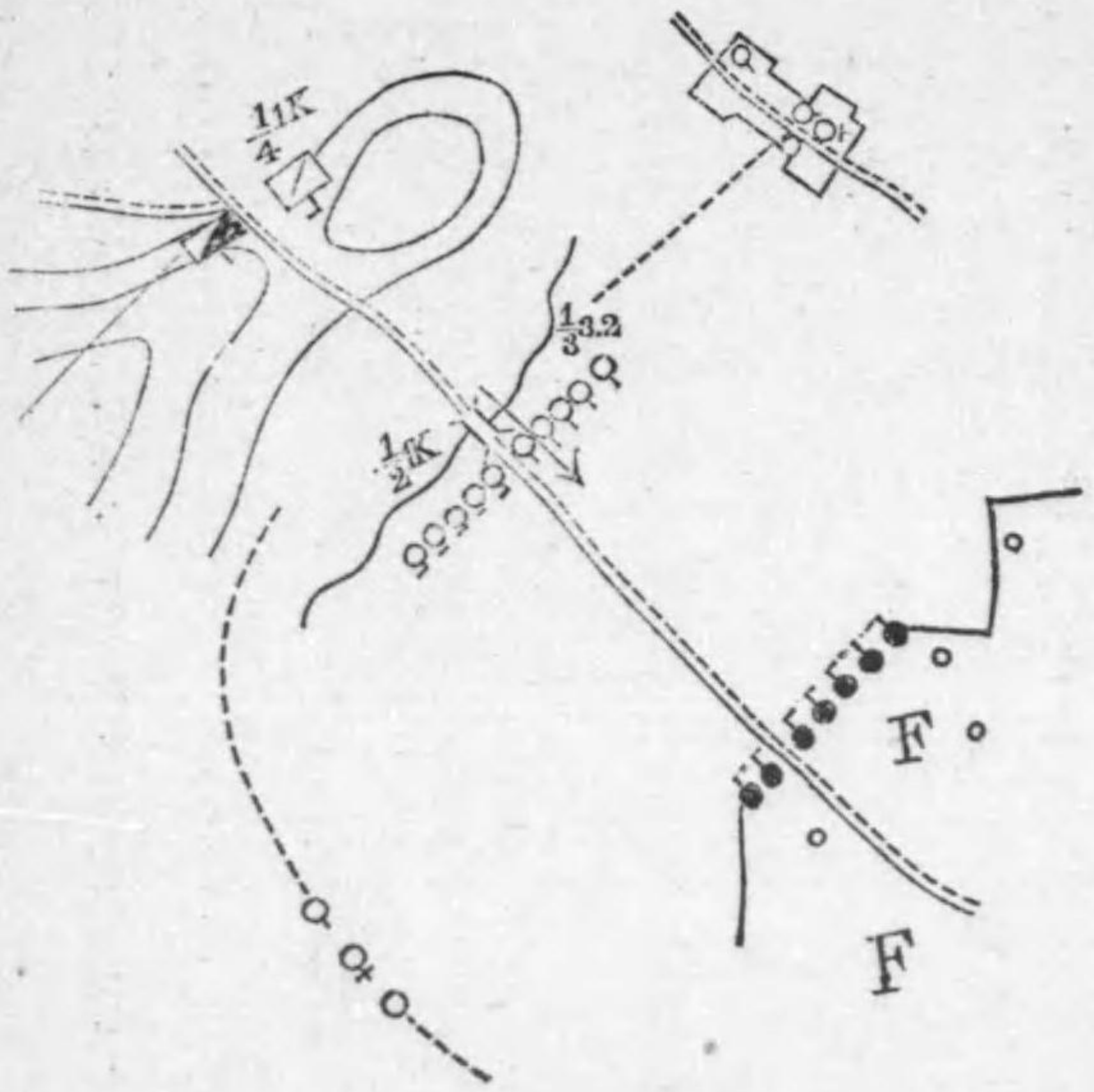
中隊ハ歩兵小隊ノ協力ヲ求メ徒歩攻撃ヲナス

問題

騎兵中隊及歩兵小隊攻撃區署ノ要圖

答解

騎兵中隊
ノ徒歩
攻撃



説述

三八

下馬人員
ノ決定

一 敵ノ騎兵ハ略我レト同等ナリ故ニ騎兵中隊ノミニテ攻撃センニハ假令ヘ全部下馬ヲ行ヒ攻撃スルモ奏効頗ル困難ナリ然ルニ歩兵一小隊ノ協力ヲ受クルヲ以テ騎兵中隊ハ全部下馬ヲ要セサルヘシ故ニ一小隊ヲ乘馬豫備隊トセリ是レ敵騎退却ニ際シ先ツ此一小隊ヲ以テ迅速ニ追撃ニ任セシメンカ爲メナリ而シテ徒歩部隊即チ半中隊ハ四分ノ三ヲ下馬セシム如何トナレハ徒歩攻撃中敵騎退却セハ乘馬豫備隊ハ迅速ニ追撃ヲ行フモ徒歩部隊モ亦可成速ニ乘馬シ追撃ニ轉センカ爲ニハ手馬ノ行動迅速ナルヲ要ス即チ一騎ニテ他ノ三馬ヲ保持スルモ行動迅速ニシテ徒歩部隊ノ位置ニ適宜乘馬ヲ移動セシムルヲ得レハナリ要スルニ一小隊ノ乘馬豫備隊ヲ控置シタルト半中隊ヲ四分ノ三下馬トシタルハ攻撃奏効後ノ追撃ヲ迅速猛烈ニ實施シ以テ敵ヲシテ潰亂ニ陥ラシメ

以テ再ヒF森林東方ノ小林又ハM村等ニ停止抵抗スルノ餘裕ヲ與ヘサラシカ爲メニシテ爾後ノ偵察ヲ容易ニセンカ爲ナリ

【騎操二ノ四十五】

蓋シ全部下馬ヲナシ攻撃ヲナスニアラサレハ奏効困難ナリトスレハ追撃ノ爲一小隊ヲ乘馬豫備トシテ控置スル勿論不可ナリ

二 歩兵小隊ヲ道路ノ東側ニ用ヒタルハ左側面ニハ敵ノ歩兵部隊アルヲ以テ全ク危険ナシトセス故ニ戰鬥力大ナル歩兵ヲ此方面ニ用ヒタルニ過キス而シテH高地東北方林ニハ既ニ歩兵斥候アルヲ知ルモ人員三名ニ過キス依テ特ニ歩兵小隊ヨリ一斥候ヲ派遣セリ

情況

歩兵小隊ハ直ニ騎兵ノ左翼ニ散開増加シテ射撃ヲ開始ス

三九

次テ前進ヲ起シ細流ノ線ヲ越ユル頃敵ハ林内ニ隱匿シタルヲ以テ乘馬豫備隊ハ前進ヲ起セリ

【騎操二ノ五十四第一項】

騎兵中隊
徒歩戰奏
効後ノ追
撃

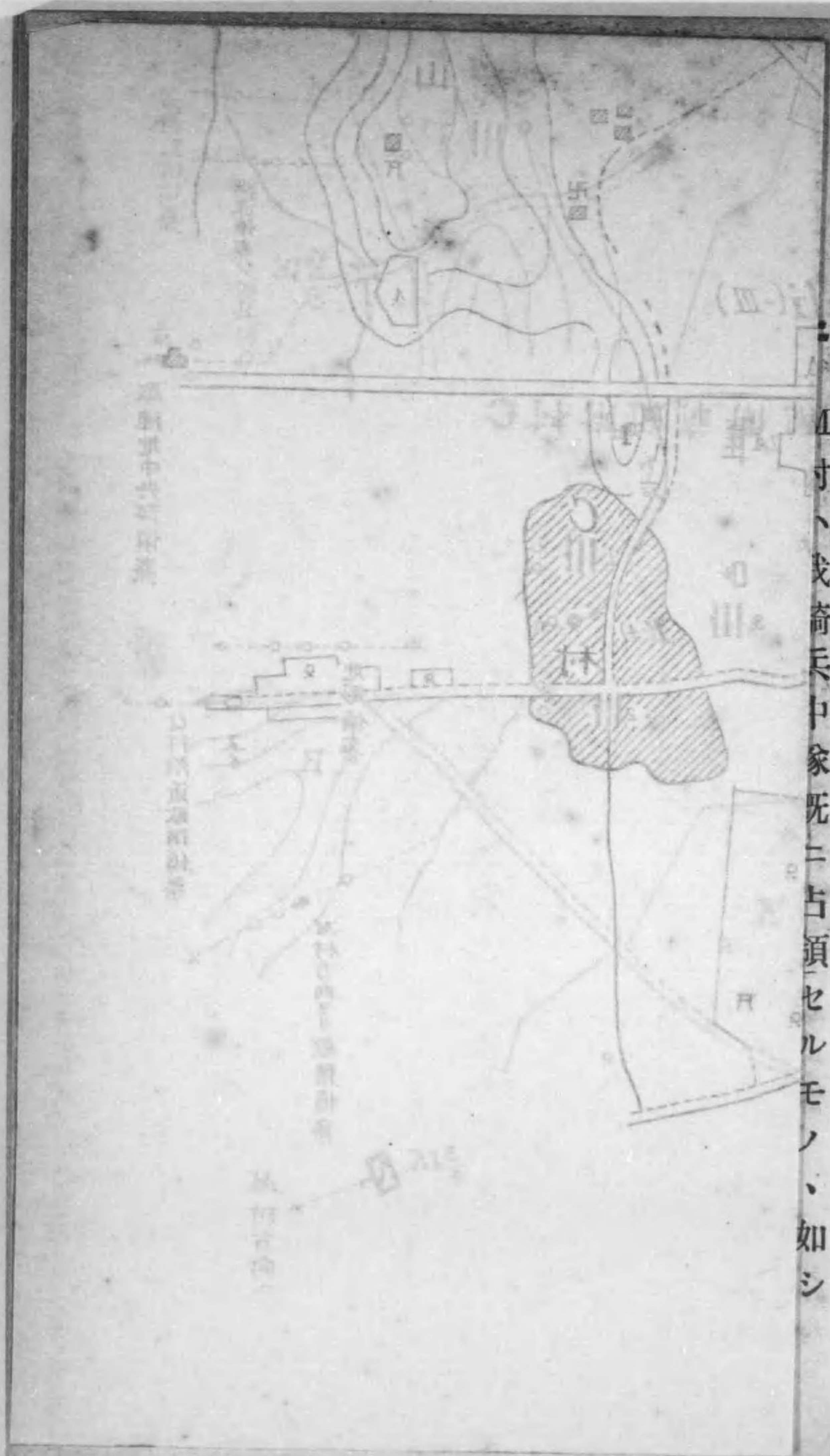
中隊長ハ直ニ手馬ヲ招致シ散兵ヲ乘馬セシメテ急進ス騎兵中隊ノ進撃頗ル迅速猛烈ニシテ敵騎M村ニ停止再ヒ下馬セントセシカ中隊ハ時機ヲ失セス襲撃ヲナシ遂ニN林方向ニ潰走セシメタリ
此時N林ニ若干ノ敵ノ歩兵アリ射撃ヲナセシヲ以テ中隊ハM村ニ停止セリ

※第六 前衛ノ本隊開進掩護

情況

- 一 前衛司令官ハ所要ノ區署ヲ終リD町東端ニ於テ前兵ノ攻撃動作ヲ觀察中ナリシカ前兵敵前五、六百米突ニ達スル頃敵兵急ニ退却ヲ始メ前兵ノJ林ニ向ヒ突進スルヲ視ルヤ直ニ前衛本隊ノ各部隊ニJ林西側ニ向ヒ前進ヲ歩兵第一大隊ノ小行李及衛生部員ニ大隊ニ追及ヲ命シテ自ラ砲工兵中隊長ト共ニI高地ニ向ヒ前進ス
- 二 是レヨリ先キ前衛司令官ハD町東端ニアリシ時前衛騎兵ノ主力ハE林方向ニ一部ハI高地鞍部方向ニ敵騎ヲ追撃中ナルコトヲ知り得タリ
- 三 前衛司令官ハI高地ニ至リ次ノコトヲ知ル

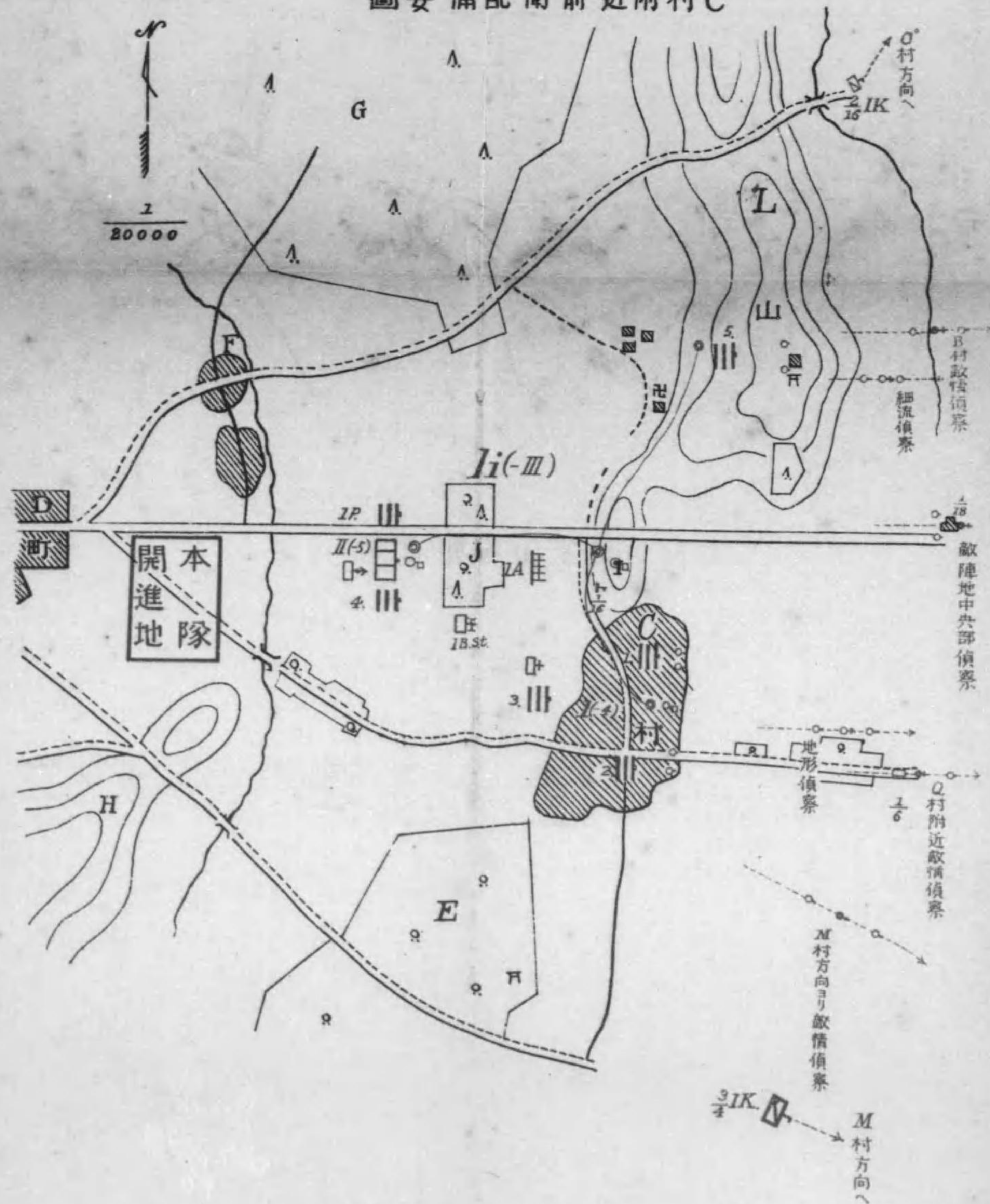
前衛司令
官ノ敵情
觀察



如シ

- (イ) Q村南端附近ヨリP林西北端本道附近ニ亘リ
又B村南端ヨリ同村西北端ニ亘ル線ニ散兵壕ヲ
シキモノアリテ處々ニ監視兵ヲシキモノアルヲ
見ル
又W高地ニハ砲兵掩體ヲシキモノアリ尙時々將
校ノ刀光ヲシキモノヲ見ル
- (ロ) J林ヨリ退却セシ敵ハ遙ニ本道兩側ヲ散亂シ
テ退走中ナルヲ見ル
- (ハ) 土人ノ言ニ依レハ敵ノ陣地トノ中間ヲ流ル、
細流ハ水殆ントナク歩兵ノ通過容易ナルモO村
西側ノ水田ハ跋涉困難ナルカ如シ

圖要備配衛前近附村C



(二) M村ハ我騎兵中隊既ニ占領セルモノ、如シ右側衛小隊ハ敵騎擊攘ノ目的ヲ達シ所屬中隊ニ復歸セリ

問題

I 高地附近前衛配備要圖
(注意J林ハ散兵ノ外密集部隊ノ通過ヲ許サス)

答 解

又B村南端ヨリ同村西北端ニ亘ル線ニ散兵壕ラシキモノアリテ處々ニ監視兵ラシキモノアルヲ見ル

又W高地ニハ砲兵掩體ラシキモノアリ尙時々將校ノ刀光ラシキモノヲ見ル

(口) J林ヨリ退却セシ敵ハ遙ニ本道兩側ヲ散亂シテ退走中ナルヲ見ル

(ハ) 土人ノ言ニ依レハ敵ノ陣地トノ中間ヲ流ル、細流ハ水殆ントナク歩兵ノ通過容易ナルモO村西側ノ水田ハ跋涉困難ナルカ如シ



說 述

四四

占領面ノ
決定

一 前衛ハ何レヨリ何レ迄ヲ占領スルヲ要スルヤ
敵ハ概ネQ村南端附近ヨリB村西北端附近ニ亘ル線ヲ占領シアル
モノ、如シ之ニ對シ我本隊ハD町東側地區ニ開進ス
此二者ノ關係上前衛ハC村東南端附近ヨリL山無名祠附近ニ亘ル
線ヲ占領(必スシモ部隊ヲ配置スルヲ要セス何時ニテモ確實ニ占領
シ得ヘキ姿勢ニアレハ可ナリ)スルニアラサレハ敵ノ攻勢移轉ニ對
シ本隊開進掩護ノ任務ヲ盡ス能ハス【歩操二ノ四十九】

兵力部署

二 前衛ハ如何ニ兵力ノ部署ヲナスヘキヤ
如何ニ兵力ヲ部署スルヤハ主トシテ敵情地形及時間ニ關ス依テ兵
力ノ部署ヲ決スルニハ敵若シ攻勢ニ轉スルモノトセハ何レノ方面
ヨリ主力ヲ以テ攻撃シ來ルヤヲ判斷スルヲ要ス即チ我前衛陣地ノ
地形及彼我中間地形ノ狀態ヨリ考フルニ敵ハ主力ヲ以テX街道南

側地區ヨリ我右翼ニ向ヒ攻撃シ來ルナラン次ニ我前衛陣地ハX街
道北側地區ハ南側地區ニ比シ地形堅固ナルヲ以テ寡小ノ兵力ヲ以
テ優勢ノ敵ヲ防止スルヲ得ヘシ【歩操二ノ九十二、五十九】
以上ノ理由ニ依リX街道南側地區ニ比較的多クノ配兵ヲ要ス
而シテ前衛ノ戰鬥ハ持久防禦ノ原則ニ依ルヘシト雖モ其配兵ハ爾
後ノ展開ヲ顧慮シ可成分散ヲ避ケ集結シ置キ情況ノ變化ニ際シ機
ヲ失セス陣地ニツキ得ル準備ノ姿勢ニアルヲ可トス
此集結ノ程度ハ敵情(敵ノ企圖彼我距離ノ遠近等)及地形(彼我中間地
區ノ地形我陣地ノ堅否陣地内ノ交通便否等)ニ依ルヘキモ成ルヘク
砲兵ヲ有利ニ使用シテ敵ヲ遠距離ニ拒止シ步兵部隊ヲ集結シ置ク
ヲ良トス【歩操二ノ五十六ノ第一項九十一】
然レト狀況ニ依リテハ前衛ハ充分ナル歩兵ヲ配備シ且工事ヲ施シ
萬一ニ備フルヲ要スルコトアリ

四五

三 歩兵第一大隊(第四中隊缺)ノ姿勢

此大隊ハC村ノ西側ニ集結シ置キ唯監視兵ヲ村落ノ東端ニ配置スルモ可ナリ

但シ展開シタルハ次ノ理由ニ依ル即チC村ハ東西三、四百米ノ幅ヲ有スル一ノ障碍ナリC村西側ニ集結セラレアル大隊C村ノ東端ノ線ニ進出センコトハ頗ル困難ナリ故ニ展開シ置クヲ可トス
要スルニ展開シ置キタリトテ小地域内ナレハ大ナル分散ノ害アリト謂フニアラス本隊ノ展開ニ際シ要スレハ直ニ集結シ他ニ移動シ得ヘキヲ以テナリ

四 前衛ノ敵情搜索

前衛ノ敵情搜索ハ其主要ナル任務ニ屬ス然ルニ前衛ノ前方即チ敵ノ陣地前ニハ敵ノ斥候又ハ小部隊停止シ我情況ヲ搜索スルト共ニ我偵察動作ノ妨害ヲナスナルヘシ故ニ前衛ハ此等ノ敵ヲ驅逐シ我

五 砲兵陣地ノ撰定

偵察動作ヲ容易ナラシメンカ爲メ前方ニ有力ナル斥候又ハ小部隊ヲ以テ適當ナル搜索ノ據點ヲ占ムルノ要アリ此狀況ニ於テハZ家屋附近M村及Z家屋北方本道北側獨立家屋ハ此要求ニ適スル地點ナリトス此搜索ニ關シテハ後段猶詳述スル所アルヘシ

陣地ヲ撰定スルニハ主トシテ敵ノ主力ノ出撃豫想方面ヲ可成廣遠ニ射撃シ得ルヲ第一要件トス然レトモ敵ハ我豫想セサル方面ヨリ主力ヲ以テ攻勢ニ轉スルヤモ謀ラレス故ニ彼我ノ中間地帯ハ可成廣ク且ツ永ク射撃シ得ル如ク顧慮セサルヘカラス【歩操二ノ六十第二項】
又優勢ナル敵砲兵ニ對シ持久センニハ遮蔽陣地ヲ良トスルハ勿論ナリ然ルトキハ我企圖ヲモ秘匿スルヲ得ヘシ
以上ノ要求ニ適スル位置ハI高地西側トス

六 建制保持上ノ注意

高地上一中隊ハ步兵第二大隊ノ中隊ヲ用ヒタリ是レ爾後増加ノ必要ニ際シ建制ノモノヲ使用シ得ルヲ以テナリ

七 豫備隊ノ位置

豫備隊位
置擬定ノ
要領

持久防禦ニ於ケル一般原則トシテ敵ノ主攻撃ヲ受クル豫想地區ニ増援容易ナル位置ニアルヲ主トシ且何レノ地區ニモ増援シ得サルヘカラス故ニ此狀況ニ在リテハJ林附近ヲ可トスJ林東側ハ砲兵陣地ニ近キヲ以テ徒ラニ混雜ノ不利アルト無益ノ損害ヲ蒙ルノ虞アルノミナラス第一線ヲ距ル近キニ過キ翼側地區ニ應援困難ナルヘシ

初學者ハ一般ニ最初ヨリ豫備隊ヲ第一線ニ近接シ過ルノ弊アリ注意スヘキコト、ス蓋シ豫備隊ハ終始一地ニアラシムヘキモノニアラス情況ノ推移ニ應シ適時適處ニ第一線ニ近接セシメ時機ヲ失セス迅速ニ第一線ニ使用スヘキモノトス次ニJ林西側ニ置クモノト

スレハ林縁ノ後方幾何ノ距離ニ位置セシムルヤ少シク説述ノ要アリ森林若クハ村落ハ其性質ニ依リ部隊ノ通過ヲ許サ、ル時ハ一種ノ障碍ナリ此等ノ障碍ノ直後ニ接近シテ位置スル時ハ爾後ノ使用困難ナルヤ明カナリ故ニ適宜離隔シテ位置セシメサルヘカラス演習等ニ於テ攻撃部隊ニ豫備隊爾後ノ前進ヲ度外ニシ徒ニ遮蔽ヲ專一トシ殆ント通過スヘカラサル村落等ニ直接シテ停止セシムルハ往々ニシテ見ル所ナリ注意スヘキコトニ屬ス

情況

前衛司令官ハI高地ニ於テ前述ノ配備ヲ採ルコトニ決シ陣地占領ノ命令ヲ下サントス

問

前衛司令官ハ如何ニシテ命令ヲ下達スルヤ

答

前衛命令
下達法

I 高地上ニ步兵第一、第二大隊長、步兵第五中隊長、砲工兵中隊長、機關銃隊長及通信係將校ヲ集メ現地ヲ指示シツ、口達ス

注意

(イ) 命令ヲ下達スル時迄ニ豫メ各隊長ヲ招致シ置クヲ要ス然ラサレハ無益ノ時間ヲ徒費スヘシ

此ノ如キハ副官等ノ心得置クヘキコトナリ

(ロ) 命令ヲ下達スル時ハ敵ニ遮蔽スルコト緊

要ナリ然ラサレハ我企圖ヲ曝露スルノ不利アルノミナラス不慮ノ危害ヲ蒙ルコト

アルヘシ平時演習ニ於テ之ヲ度外視スルノ風アルハ遺憾トスル所ナリ

問題

前衛命令

前衛ノ陣
地占領命
令

答 解

前衛命令

三月十日午前十時四十分
於C村北側高地

一 敵ハQ村南端附近ヨリ同村北側林縁ヲ經テB村西北端附近ニ亘リ陣地ヲ占領シ其砲兵ハB村東方高地南端附近ニ在ルモノ、如シ

二 前衛ハC村ヨリL高地ノ線ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護セントス

三 步兵第一大隊(第四中隊欠)ハX街道以南ノ地區ニ對シC村ヲ占領スヘシ

四 步兵第五中隊ハL高地無名祠附近ヲ占領スヘシ

五 野砲兵中隊ハ主トシテX街道以南ノ地區ヲ射擊シ得ル如ク此高地ノ西側ニ放列ヲ布置スヘシ

六 爾餘ノ諸隊ハ豫備トナリJ林西側ニ位置スヘシ

七 電話班ハ聯隊長ト步兵第一大隊長第五中隊及豫備隊トノ間ニ電話ヲ架設スヘシ

八 予ハ現在ノ位置ニ在リ

情況

一 前衛各隊ハ前衛命令ニ依リ各其任務ノ位置ニ行

動シツ、アリ

二 此時旅團長ハ馬ヲ驅テ前衛司令官ノ許ニ來ル

問

前衛司令官ハ此際旅團長ニ如何ナル事項ヲ報告スルヤ

答

(イ) 自己ノ知得セル敵情就中敵陣地ノ狀態

(ロ) 攻撃ニ關係ヲ有スル地形ノ説明

(ハ) 自己ノ採リタル部署

等

問

此情況ニ於テ前衛司令官トシテ具體的ニ報告ヲナス

前衛司令官
旅團長
ニ狀況報告

ヘシ

答

報告

- 一 彼ノ高地ハV、Vノ東南側即本道ノ延線上ニ見ユルカA町Vノ西側カB村其南カQ村
- 二 Q村南側附近ヨリ同村北側森林ノ左ノ端ニ至ル線及B村ノ右端ヨリ左端ニ至ル線ニ殆ント一連ノ工事ヲ見ル
- 三 B村東側高地南端附近ニ砲兵陣地アルカ如シ砲兵掩體ラシキ工事及時々刀ノ光リヲ見ル
- 四 前方ニ流ル、細流ハ未タ偵察ヲ遂ケサルモ土人

ノ言ニ依レハ歩兵ノ通過自在ナルモ彼ノO村西側ノ深田ハ歩兵ノ通過困難ナルカ如シ

- 五 我騎兵ノ主力ハ彼M村一部ハO村方向ニ前進シアリ

歩兵三中隊ヲ以テ此O村ヲ歩兵一中隊ヲ以テ彼ノL高地神社附近ヲ占領シ砲兵中隊ハ此高地後方ニ放列ヲ布置ス

爾餘ハJ林西側ニ位置ス

猶旅團トシテ如何ニ攻撃スルヲ適當トスルヤノ考案ヲ有セハ意見上申スルヲ可トス

情況

前衛ノ各部隊ハ各其任務ノ位置ニ就キ終レリ

問

第一線各隊長ハ爾後主トシテ何ヲナスヤ

答

敵情及地形ノ偵察ニ極力從事ス

説述

前衛ノ敵情地形偵ノ必要及手段

一 前衛司令官及前衛各隊長ノ敵情地形ノ偵察ハ殊ニ緊要ニシテ速ニ實施シ迅速ニ適切ナル報告ヲ旅團長ニ呈セサルヘカラス而シテ此偵察ノ著眼ハ總テ旅團ノ攻撃ヲ基礎トスヘシ故ニ此偵察及報告ノ不充分ナルトキハ旅團ノ攻撃實施ヲ遲緩シ且不結果ニ了ラシム注意セサルヘカラス【歩操二ノ一ノ第一項】

二 偵察手段ハ自ラ精良ナル望遠鏡ヲ以テ視察シ或ハ慧眼ナル將校

ヲ高所ニ登ラシメ以テ展望セシムルハ勿論ナリ然レトモ敵陣地ノ狀況ヲ詳細ニ偵知センカ爲ニハ步兵將校斥候又ハ小部隊(要スレハ砲工兵將校斥候)ヲ敵陣地ニ近接セシメサルヘカラス【陣要九十六】然ルトキハ多少ノ犠牲ヲ生スルハ豫シメ期セサルヘカラス然レトモ攻撃實行ニ貢獻スルノ多大ナルヘキハ言ヲ要セス此偵察勤務ハ然カク重要ニシテ且ツ危険ナリト雖モ之ニ伴フ名譽モ亦偉大ナルヲ以テ青年將校タルモノ奮然トシテ此難局ニ當ラサルヘカラス

然ルニ敵ノ銃口ノ直前ニ於テ巧ミニ地形ヲ利用シテ敵ノ射彈ヲ避ケ一瞬ノ視察能ク全局ヲ判斷シ以テ適切有益ナル報告ヲ機ヲ失セス上官ニ呈センコトハ實ニ至難ノ業ニシテ戰術上ノ才力ニ富ミ勇敢機敏ノ性ヲ要スルハ勿論ナリト雖モ猶熟練ト經驗トニ俟タサルヘカラス

三 敵情ノ偵察ト共ニ地形ノ偵察ヲ要ス而シテ此兩者ヲ一斥候ニ兼任セシムルカ如キハ多クハ過重ノ任タリ又此等ノ斥候ハ必スシモ將校タルヲ要セス任務ノ繁簡輕重ニ依リ材能アル下士ヲ以テ任スルモ可ナリ

但敵情ノ偵察ニ在リテモ常ニ地形ニ關スル報告ヲ等閑ニ附ス可ラサル事陣中要務令ノ揭示スル所ナルニ注意スヘシ【陣要二十一】

※第七 前衛砲兵ノ陣地占領【砲操中隊陣地進入參照】

一 砲兵中隊長ハ前衛歩兵ノ先頭D町西端ニ達セシ頃中隊ノ引卒ヲ古參小隊長ニ委シ曹長給養係下士及喇叭卒二名ヲ從ヘテ前衛司令官ト共ニ前衛本隊ノ先頭ニ行進中ナリ【砲操二ノ十五ノ第二項】

前衛砲兵
放列布置
ノ順序

二 同時頃中隊長ハ敵兵A町附近ニ陣地構成中ニシテ其一部J林附近ニアルノ情報ニ接シタリ
前衛司令官ハJ林ノ敵ヲ驅逐シC村及其北方高地線ヲ占領シテ本隊ノ開進ヲ掩護スルニ決シ砲兵中隊長ニ前兵ノ攻撃進抄セハI高地附近ニ陣地偵察ヲ命セリ

三 中隊長ハ隨員ヲ具シD町東端ニ至リ前兵ノ攻撃進抄ヲ待ツ
當時砲兵大隊長ヨリ敵情及地形偵察ノ目的ヲ以テ派遣シアリシ砲兵斥候ハ進ム能ハスシテD町東端ニ停止シアルニ會ス

四 中隊長ハ前兵ノ丁林ノ敵ヲ驅逐スルヤ直ニ駈歩ニテI高地ニ向フ而シテ偵察ノ結果I高地西側ハ前衛砲兵ノ目的ニ適スルヲ知り前衛司令官ニ報告ス

五 中隊長ハ前衛命令ニ依リ該地附近ニ放列布置ノ命ヲ受クルヤ傳令ヲ速ニ中隊ノ位置ニ遣シ又街道ヲ速歩ニテ丁林東端ニ向ヒ前進ヲ命シ下士ヲシテI高地上ニ在リテ敵情ヲ監視セシメ自身ハ放列線ヲ踏査シ放列ノ位置ヲ決定シ中隊長ノ位置、進入法、目標ノ指示法等射撃開始ニ至ル迄ノ諸準備ヲナシ曹長ヲ補助トシ中隊放列ノ位置ヲ偵察シ記號ヲ以

テ中隊ニ前進ヲ命シ放列ニ備フ次ニ小隊長ヲ高地上ニ集メ敵情ヲ示シ要スレハ直ニ高地上ニ暴露陣地ニ進出シ射撃シ得ル如ク準備ヲナス

戰砲隊ノ車馬及彈藥小隊ノ三、四番ハ曹長ヲシテ中隊段列ノ位置ニ合セシム

六 中隊長ハ諸準備ヲ完了シ前衛司令官ニ報告ス

七 中隊段列長ハ段列位置ノ命ヲ受ケ更ニ現地ニ就テ詳細ナル偵察ヲナシ戰砲隊ニ屬スル車馬トノ關係位置ヲ適當ナラシメ中隊長ニ報告シ之ト連絡ヲ取ル

八 前衛砲兵隊長ハ成シ得レハ本隊砲兵ノ爲メニ陣地偵察ヲナスヘキモノトス

※第八 本隊ノ開進

情況

- 一 曩キニ旅團長ハ本隊ヲD町東側地區ニ開進スル
- 二 決スルヤ中尉副官ニ命シ開進地ノ偵察ヲナサシム
- 二 副官ハ直ニ急行シテ偵察ニ從事ス

問

副官ハ如何ナル點ニ著眼シテ開進地ノ偵察ヲナスヤ

答

開進地偵察ノ着眼

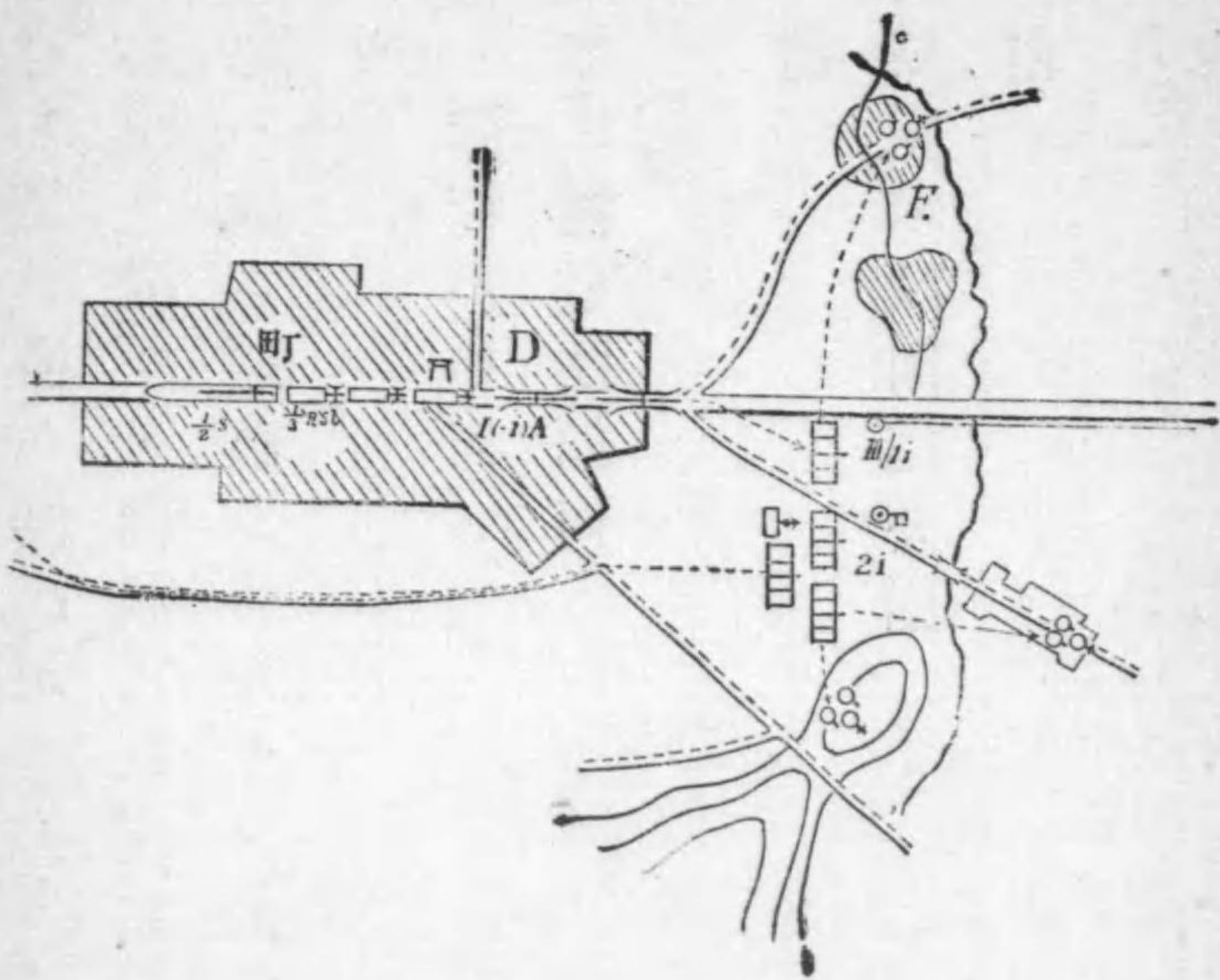
- 一 歩兵ハ本道ヲ避ケ開進地ニ至リ得ルヤ
- 二 F村東側ヲ流ル、細流ノ景況如何
- 三 開進地ハ敵ニ遮蔽シ得ルヤ又適當ナル幅員ヲ有スルヤ
- 四 開進ノ隊形ハ如何
- 五 開進地ノ警戒法如何

等

問題

D町東側旅團本隊開進要圖

答解



説述

開進地ニ於ケル隊形、進入及警戒

一 開進地ニ於ケル隊形ハ地形及開進シアル時間等ニ關ス

此情況ノ如キ計畫攻撃ニ於テハ密集横廣ノ隊形ヲ撰用スルヲ可トス
故ニ步兵第一聯隊第三大隊ト步兵第二聯隊トハ並列シ後者ハ縦隊
横隊ノ二線ヲ採用セリ

此ノ隊形ノ幅員ハ幅約五百米突、深サ約百米突ナルヲ以テX街道ノ
南側ノミニ於テ充分ノ地幅ヲ有ス野砲兵第一大隊(第一中隊欠)ハ爾
後更ニ道路ニ依リ前進スルヲ可トス開進地東側ヲ流ル、細流ハ砲
兵ノ爲ニハ障碍タリ故ニD町東端道路集合點ヲ先頭トシ砲車縦隊
ノ儘停止セシメ置クヲ至當トス【砲操二ノ十六第一項】

衛生隊ハ本隊ノ後尾ニ在リ而シテ車輛編成ナリ故ニ本道上ヨリ砲
兵ヲ超過スルコトモD町南側ヨリ前進モ共ニ困難ニシテ好ンテ砲
兵ノ前方ニ開進スルノ要ナシ故ニ行軍縦隊ノ儘途中ニ停止シアラ

シムルヲ適當トス

二 行軍路ヨリ開進地ニ進入

行軍序列ハ歩兵第一聯隊第三大隊ハ本隊ノ先頭ニ在ルヲ以テD町東端ヨリ開進地ニ進入スルヲ得ヘシ然ルニ歩兵第二聯隊ハ砲兵大隊ノ後方ニ行進中ナルヲ以テD町ノ南側ヨリ進入スルヲ可トス蓋シ大ナル部隊ニアリテハ假令前方ニ砲兵ナクトモ可成數道ヲ採リ開進地ニ進入スルヲ可トス

三 開進地ノ警戒

前衛ニ依リ確實ニ掩護セラレアル方面ハ警戒ヲ要セサルモ然ラサル側面等ハ敵騎ノ活動ニ備フル爲斥候ヲ派遣シ或ハ展望哨ヲ配置シ要スレハ一部隊ヲ派遣シテ警備セシムルコトアリ此情況ニ於テハ大ナル警戒ヲ要セサルモ三個ノ小斥候ヲ配置セハ安全タルヲ得ヘキナリ

情況

開進地偵察ノ順序

一 旅團中尉副官ハ旅團長ヨリ開進地偵察ノ命ヲ受

ケ急進シテD町西端附近ヨリD町ノ南側ヲ通過シD町東南端ニ至ルヤ當時前兵J林ノ敵ニ對シ展開中ナルニ會ス依テ暫時其攻撃進捗ヲ待チ次テ開進地ノ偵察ヲナシ更ニD町北側ノ地形ヲ偵察シテ旅團長ノ下ニ至リ報告ヲナシ更ニ旅團長ノ命令ニ依リ之ヲ歩兵第二聯隊長ニ通告ス

二 歩兵第二聯隊長ハ旅團副官ノ告知ニ基キ各隊長

ニ命シ逐次開進地ニ進入セシム
午前十一時半頃諸隊開進ヲ終ル

※第九 旅團長ノ展開指導

情況

旅團長ノ
敵情視察

旅團長ハI高地ニ至ルヤ前衛司令官ヨリ情況報告ヲ受ケ且ツ親シク敵情地形ヲ觀察ス
同時騎兵ヨリ次ノ要旨ノ報告ヲ受ク

1 敵ノ陣地ノ左翼ハQ村南端ナルカ如クS林ニハ工事ヲ認メス

敵ノ散兵壕前ニハ障碍物ノ設置ナキカ如シ
2 O村西側深田ハ歩兵ト雖モ跋涉困難ナリ
G林E林ハ歩兵側面縱隊ノ運動ヲ許ス

問題

地形判斷

旅團攻撃ノ目的ヲ以テ地形判斷

答 解

判 決

旅團ハ一部ヲ以テX街道北側ヨリB村ノ敵ニ向ヒ主力ヲ以テ同道南側ヨリ敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃スルヲ要ス

理 由

一 敵ノ陣地ノ右翼B村附近ハ左翼Q村附近ニ比シ比較的堅固ナリ如何トナレハ敵トシテハ射界良好ナルヲ以テナリ且縱令我レB村ヲ略取シ得ルモ更ニ其背後高地ニ於テ敵ノ抵抗ヲ受ケサルヲ得ス之ニ反シ敵陣地ノ左翼Q村附近ハ射界比較的不良ニ

シテ稍突角ヲ成形ス即チ陣地ノ弱點ナリ

二 X街道北側ハ南地ニ比シ深田ノ爲メ展開正面ノ制限ヲ受ケ一翼包圍ノ利益ヲ享有スル能ハス【歩操二ノ二十七】

然レトモ南側ニ比シ攻撃前進ノ距離短少ナル利アルモ亦L山高地ノ敵方斜面ヲ降下スルノ不利アリ

三 X街南側地區ハ北側地區ニ比シ比較的蔭蔽近接ト包圍動作容易ナル利益アルノミナラス又歩砲協同ノ便多シ

問題

旅團長ノ攻撃計畫

答 解

旅團長ノ
攻撃計畫

一 歩兵第二聯隊(第三大隊欠)ハL高地ニ展開X街道北側地區ヨリB村ノ敵ニ向ヒ攻撃セシム

二 歩兵第一聯隊ハE林C村ノ線ニ展開X街道以南ノ地區ヨリQ村P林ノ敵ニ向ヒ攻撃セシム

三 野砲兵第一大隊ハL高地西南部附近ニ放列ヲ布置セシメ主トシテ敵ノ左翼ニ向ヒ射撃セシム

四 騎兵中隊ハ主力ヲ以テ右翼一部ヲ以テ左翼ノ警戒ニ任セシム

五 衛生隊ハC村ニ繃帶所ノ開設ヲナサシム

六 歩兵第二聯隊第三大隊ハ豫備隊右側後ニ行進セ

七 野戰病院ハD町東端歩砲彈藥各半縱列ハD町西端附近ニ位置セシム

説述

一 高級指揮官ハ諸偵察ノ結果ニ依リ地形判斷ヲナシ攻撃計畫ヲ確定ス【歩操二ノ四十八第一項】
 此計畫ノ基礎ハ攻撃點及砲兵陣地ノ撰定並ニ攻撃準備位置ノ撰定ヲ以テ主眼トス
 此際攻撃點ヲ何レニ撰定スルヲ有利トスヘキヤハ既ニ地形判斷ニ依テ研究セシ如ク敵ノ陣地ノ左翼Q村西南端附近ニ向ツテスルヲ至當トス
 此攻撃點ニ向ヒ砲兵ヲ尤モ有効ニ使用センカ爲ニハL高地無名祠

附近ヲ最良トス

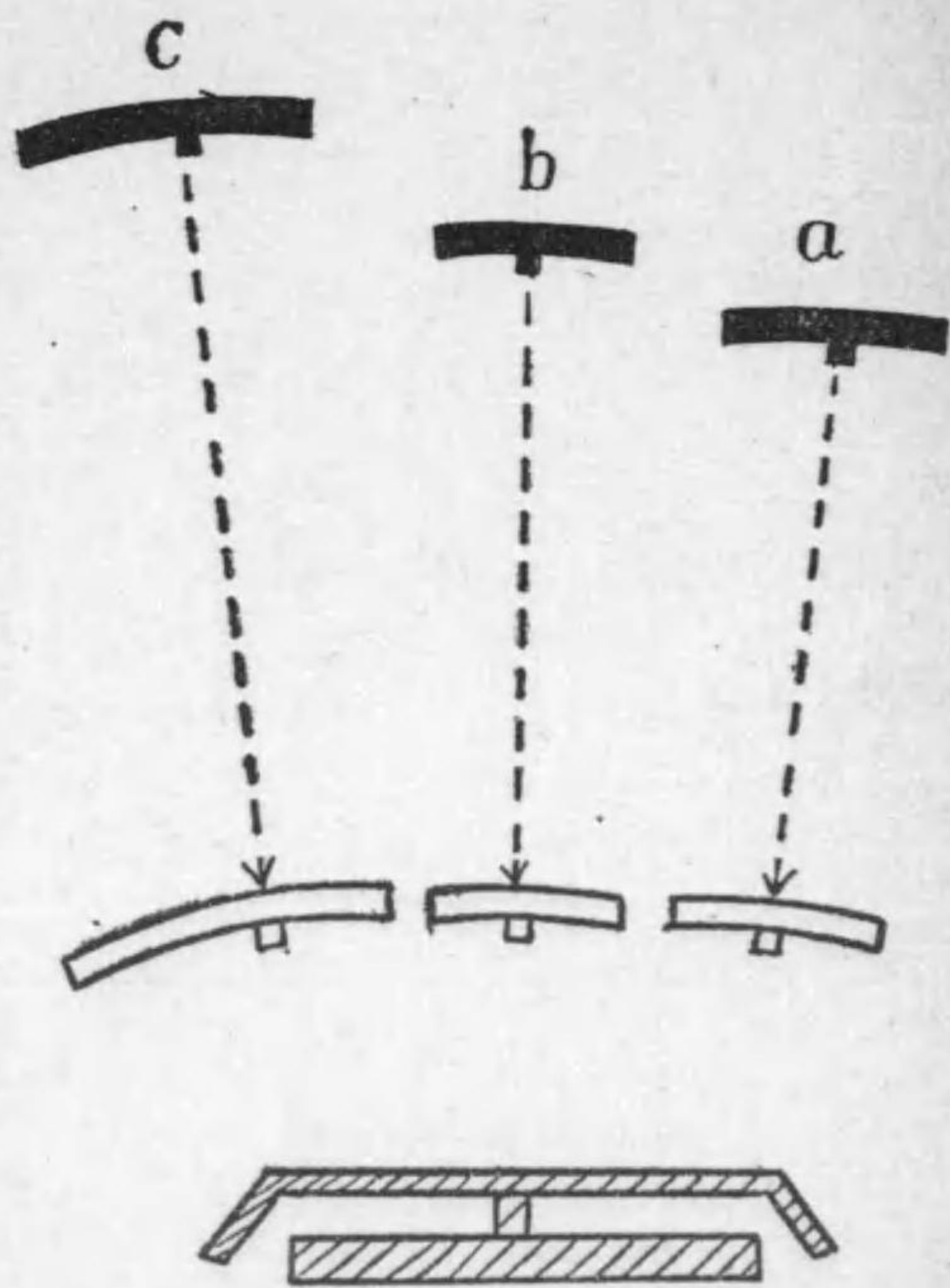
I 高地附近ハ攻撃點ニ對シ有效ナル射撃ヲ施シ得ルモL高地ニ比シ比較的制高ノ利ナク且又敵兵本道北側地區ヨリ攻勢ニ轉スルコトアラハ砲兵ノ大部ハ充分ナル射撃ヲナシ能ハサルノ不利アリ

攻撃計畫ノ基礎

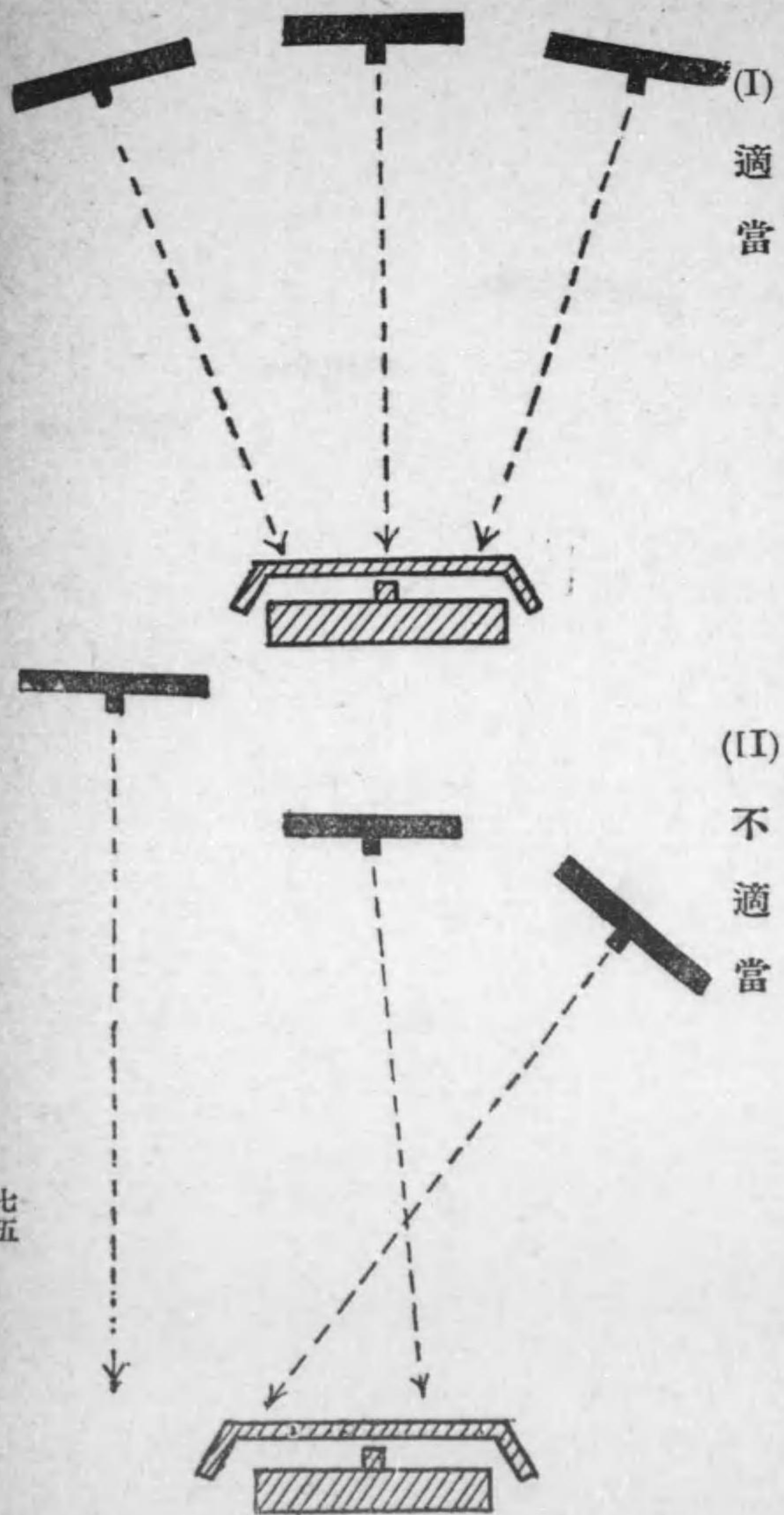
二 攻撃準備ノ線ハ敵砲火ノ危害ヲ避ケ得ル程度ニ近接スルヲ可トス【歩操二ノ五十第一項】

損害ヲ受クルノ度ハ地形ニ依リ一樣ナラス故ニ爾後ノ前進ニ際シ連繫ヲ害セサル限リ一線タルヲ要セス各部隊毎ニ多少前後スルハ自然ナリ蓋シ連繫トハ必スシモ横ニ一線ニ頭ヲ揃ユル謂ニアラス左圖ノ如クa、b、c隊ハ攻撃準備ノ位置ニ於テハ多少前後シアルモ敵ニ近接スルニ從ヒ連繫ヲ保チ得ルニ至ルヘシ是レ比較的敵ニ近接シアルa、b隊ハ敵ノ銃砲彈ニ支阻セラレ前進澁滯スルヲ以テナリ

然レト平時演習ニ於テ敵火ノ效力ヲ無視シ行動スルトキハ却テ連
 繫ナキ戰團ニ終ルノ狀ヲ呈スルコトアルヘシ
 而シテ攻撃準備一般ノ線ハ普通ノ平坦地ニ於テ敵ヨリ約三千米突
 若クハ之レ以外ニ求ムルニアラサレハ危險ナリ天候又ハ地形ノ掩
 護ヲ受クルヲ得ハ更ニ若干前進シ得ヘシト雖モ敵ノ攻勢移轉ヲ顧



慮シ著シク近接スルハ甚シキ危險ノ伴フコトヲ忘ルヘカラス
 更ニ緊要ナルハ攻撃準備ニ於ケル全般ノ姿勢ハ敵陣地ニ向ヒ集中
 的配備ニアルコト並ニ其姿勢既ニ敵陣地ヲ威壓スルコト是レナリ



(I)ハ姿勢堂々既ニ敵ヲ呑ムノ状態ニアルモ(II)ノ如キハ敵ヲ壓スルノ威嚴ヲ缺クノミナラス攻撃前進ニ方リ攻撃方向ヲ偏移シ易キ害ヲ來スノ虞アリ

又我砲兵最初ヨリ有效射撃ヲナシ得ル陣地ニ就キ得レハ好都合ナリ、之カ爲ニハ成ルヘク近キヲ可トス

此情況ニ於テ攻撃準備ノ線ヲE林C村及L高地線ニ撰フトキハE林トQ村約三千米突C村トP林約二千六百米突L高地トB村約二千二百米突ニシテ多少前後シアリト雖地形上又已ムヲ得サルヘシ

軍隊使用
上ノ注意

三

歩兵第一聯隊ヲX街道南側地區ヨリ攻撃セシムルハ前衛ノ大部既ニ同方面ニアルヲ以テ展開ノ便宜上ヨリナシタリ

即チ上級指揮官トシテ此ノ如キ注意ヲ要スルモ下級指揮官トシテハ何レノ方面ニ使用セラル、モ支障ナキ如ク常ニ成ルヘク集結シアルノ注意ヲ必要トスルハ既ニ述ヘタルカ如シ

情況

旅團長ハ以上ノ如ク攻撃計畫ヲ決定セリ故ニ此計畫ヲ實行センカ爲展開命令ヲ下サントス

問

旅團長ハ如何ニシテ命令ヲ下スヘキヤ

答

旅團長ハ現在地(I高地)ニ歩兵兩聯隊長歩兵第二聯隊第三大隊長、砲兵大隊長、工兵中隊長及衛生隊長ヲ集メ現地ヲ指示シツ、口達ス【歩操二ノ五十第一項】

但シ騎兵中隊長及O村方向ニ在ル騎兵小隊長ニハ筆記シテ傳騎送達ス

攻撃命令
ノ下達法

説述

命令下達ヲナストキハ筆記送達ヲナス所要ノ分以外ニ附近ニ現在スル將校及能筆ノ下士ヲシテ餘分ニ筆記セシメ置クトキハ爾後便利ナルコト多シ副官等ノ注意スヘキコト、ス

問題

混成旅團命令

答解

攻撃命令

混成旅團命令 三月十日午前十一時二十分
於C村北側高地

【歩操二ノ二十八】

- 一 歩兵三、四千ヨリナル諸兵連合ノ敵ハQ村南端附近ヨリ同村北側森林西北端附近ノ線及B村南端附近ヨリ同村西北端附近ノ線ニ陣地ヲ占領シ其砲兵ハB村東側高地南端附近ニ在ルモノ、如シ

- 二 旅團ハ此敵ヲ攻撃セントス

- 三 歩兵第一聯隊ハX街道以南ノ敵ヲ攻撃スル如クE林無名祠附近ヨリC村北端附近ノ間ニ展開スヘシ

傳騎三騎ヲ附ス

- 四 歩兵第二聯隊(第三大隊欠)ハB村ノ敵ヲ攻撃スル如クL高地南端附近ヨリ同高地鞍部附近ノ間ニ展開スヘシ

傳騎四騎ヲ附ス

- 五 野砲兵第一大隊ハL高地西南端附近ニ於テ一部ヲ以テB村主力ヲ以テQ村方面ノ敵ヲ射撃シ得ル

如ク放列ヲ布置スヘシ

六 攻撃前進及砲兵ノ射撃開始ノ時機ハ追テ命ス

七 騎兵第一中隊ハ主力ヲ以テ旅團ノ右側ヲ一部ヲ

以テ左側ヲ警戒スヘシ

八 爾餘ノ諸隊ハ豫備トナリE林西側ニ位置シ前進

ニ際シテハ步兵第一聯隊ノ右翼後ヲ行進スヘシ

但シ工兵第一中隊ハ砲兵ノ陣地進入ヲ援助シタ

ル後豫備隊ニ合スヘシ

九 衛生隊半部ハC村西端附近ニ繙帶所ヲ開設スヘ

シ

十 野戰病院一個ハD町東端附近ニ開設シ歩砲彈藥

各半縱列ハD町西端附近ニ在ルヘシ

十一 予ハ暫ク現在地ニ在リ後C村—Q村道ヲ行進

ス

混成旅團長 某少將

第一聯隊
展開順序

※第十 步兵第二聯隊(第三大隊欠)ノ展開

情況

聯隊長ハI高地ニ於テ旅團命令ヲ受ケタリ

問

聯隊長ノ處置

答

電話使用
上ノ注意

- 一 電話ヲ以テ古參大隊長ニ命シ聯隊(第三大隊欠)ヲ
I高地西側三軒屋附近ニ引卒シ到著後兩大隊長機
關銃隊長及通信係將校ハ直ニI高地ニ集合セシム
- 二 直ニI高地ニ急行敵情地形ノ偵察ヲナス

說 述

電話架設
上ノ注意

- 一 電話命令ハ副官自ラI高地ノ通信所ニ至リ開進地ナル古參大隊
長又ハ同副官ヲ通信所ニ呼出シ直接通話スルヲ要ス通信手ヲ介シ
テ傳達スルハ誤達多カルヘシ
又重複ヲ顧ミス目下I高地ニ集合シアル第三大隊長ニモ傳達ヲ依
托スルトキハ尤モ確實ナリトス
- 二 I高地ト開進地トノ電話線ハ何レノ聯隊ノ電話班架設セシヤ旅
團長ハ既ニ早クヨリI高地ニ來リアリ故ニ開進地ニアル歩兵第二

聯隊ヨリ旅團長ト連絡ヲ保持スル爲架設セサルヘカラス斯ク開進
地ト旅團長ノ位置トノ間ニ迅速ニ電話ヲ架設センカ爲ニハ本隊ノ
行軍序列ニ於テ歩兵第二聯隊ノ電話班ハ勉メテ前方ニ行進セシメ
サルヘカラス

情 況

聯隊長ノ
敵情地形
ノ視察

- 一 歩兵第二聯隊長ハI高地無名祠附近ニ至リ歩兵
第五中隊長ヨリ狀況ヲ聽取シ更ニ北方鞍部附近ニ
至ル間ノ地形ヲ踏査シ終リ再ヒ無名祠附近ニ歸來
シ敵陣地ノ景況攻撃地帯ノ地形ノ詳細ヲ觀察ス
- 二 此時聯隊ハ三軒屋西側ニ到著シタリ聯隊長ハ歩
兵第五中隊ニ所屬隊ニ復歸スヘク告ク副官ハ帽ヲ
振ツテ聯隊長ノ所在ヲ知ラシムルヤ各隊長ハ駈歩

ニテ聯隊長ノ下ニ集合セリ

三 聯隊長ハ破顔一笑其勞ヲ謝シ次ニ現地ヲ指示シ
ツ、懇切ニ狀況ヲ示シ最後ニ儼然タル態度ニ移リ
展開命令ヲ下ス【歩操一ノ百九十九乃至二百二】

問

狀況ニハ如何ナルコトヲ示スヤ

答

一 敵ハQ村南端附近ヨリP林西北端附近B村南端
附近ヨリ同村西北端附近ノ間ニ陣地ヲ占領シ其砲
兵ハB村東側高地南端附近ニ在ルモノ、如シ
其工事ハ未タ堅固ナラス

聯隊長狀
況ノ指示

二 旅團ハ一部ヲ以テB村ニ向ヒ主力ニ以テQ村附
近敵ノ左翼ニ向ヒ攻撃ス

三 歩兵第一聯隊ハE林、C村ノ線ニ展開シP林以南
ノ敵ニ向ヒ攻撃

砲兵大隊ハ此高地西南端附近ニ放列布置

歩兵第二聯隊第三大隊及工兵中隊ハ豫備トシテ右
翼後

騎兵中隊ノ主力ハ旅團ノ右翼一部ハ左翼警戒

衛生隊半部ハC村西端附近ニ開設

野戰病院一個ハD町東端附近ニ歩砲彈藥各半縱列
ハD町西端附近ニ來ル

四 敵ノ陣地トノ中間二三條ノ細流アルモ通過ヲ妨ケス
但シO村西側ノ深田ハ跋涉ヲ許サス
等

問

聯隊展開命令

答

命令

聯隊長ノ展開命令
一 聯隊(第三大隊欠)ハX街道以北ノ地區ヨリB村南端附近ヨリ同村西北端ニ亘ル間ノ敵ヲ攻撃セントス

機關銃ノ一部ヲ第一線大隊ニ附屬スルノ例

- 二 歩兵第一大隊(第四中隊欠)ハ此神社ヨリ右ニ展開スヘシ
- 機關銃一小隊ヲ附ス
- 三 歩兵第二大隊(第八中隊欠)ハ此神社ヨリ左ニ北方鞍部ノ間ニ展開スヘシ
- 四 戰鬪地域ノ境界ハ此神社及東方約千二百米獨立丘阜ヲ連結スルノ線トス
- 五 歩兵第四、第八中隊及機關銃隊(一小隊欠)ハ豫備隊三軒屋北側ニ位置シ前進ニ方リ第二大隊ノ後方ヲ行進スヘシ
- 六 攻撃前進ハ追テ示ス

七 予ハ現在地ニ在リ前進ニ方リテハ豫備隊ニ在リ

説述

- 一 聯隊長等ノ展開命令ヲ下スニ必スシモ狀況ト命令詞ト各別ニ示スノ必要ナシ狀況簡單ナレハ命令詞中ニ加フルヲ便トス
- 二 電話架設ハ既ニ特別命令ニ依リ目下架設中ニアルヲ以テ必スシモ合同命令ニ加フルヲ要セサルヘシ

※第十一 歩兵第一聯隊ノ展開

情況

一 聯隊長ハI高地ニ於テ旅團命令ヲ受ケタリ

問

聯隊長ノ處置

答

J 林西側ニ在ル前衛豫備タル第四中隊第二大隊(第五中隊欠)機關銃隊I山ニ在ル第五中隊及本隊開進地ニ在ル第三大隊ニC村西南側ニ集合ヲ命シ各隊長ヲC村東南端ニ招致ス

二 聯隊長E林東北端ニ至リ次ニC村東南端ニ至リ第一大隊長ヨリ情況報告ヲ受ケ各隊長ノ集合スルヤ狀況ヲ示シ命令ヲ下ス

三 其時迄ニハZ家屋方向ニ派遣セシ將校斥候等ヨリ又詳細ナル報告ヲ受ク

四 聯隊長ハ第二聯隊長ト略同要領ニ依リ聯隊展開

セリ其ノ部署ノ要領左ノ如シ

第一大隊 C 端東隊附近

第三大隊 E 林東北端附近

右第一線兩大隊ノ戰鬪地域ノ境界 C 村—Q 村道

步兵第二大隊

機關銃隊 豫備隊 E 林西北側附近

說 述

軍隊使用
上ノ注意

一 步兵第一大隊ヲ C 村ニ配置シタルハ既ニ同大隊ノ大部該地ニ現在スルヲ以テ戰鬪準備ヲ速ニ整ヘンカ爲メナルト該地方面ノ狀況ニ通シアルヲ以テナリ

右翼第一線ニ第二大隊ヲ用ヒス第三大隊ヲ用ヒタルハ第五中隊 L 山ニ分離シアルヲ以テ第三大隊ヲ用フル方準備迅速ナルヲ得ヘキ

機關銃用
法ノ注意

ヲ以テナリ

豫備隊ヲ右翼後ニ用フルハ當聯隊ハ右第一線聯隊ナルヲ以テ第一線ノ右ニ増加スルノ公算多ク且ツ右側面ノ情況ノ變化ニ應センカ爲メナリ

二 聯隊長ノ機關銃ノ適當ナル使用ハ突撃ニ至大ノ良結果ヲ呈スヘシ適當ナル時機ニ適當ナル地點ニ用ヒンカ爲メニハ成ルヘク速ニ使用スヘキ豫想方面ヲ機關銃隊長ニ示シ置クヲ可トス然ル時ハ該隊長ハ絶ヘス使用方面ニ關スル敵情地形ヲ偵察シアルヲ以テ戰鬪加入ノ命ヲ受クルヤ機ヲ失スルコトナク適當ナル陣地ニ進入シ適切ナル射撃ヲ開始スルヲ得テ聯隊長ノ意圖ヲ満足スヘキ織滅的効力射撃ヲ施行スルヲ得ヘシ

此狀況ニ於テハ第一第三大隊ノ中間方面ニ使用シ Q 村西端附近ヲ

本隊砲兵
放列布置
ノ順序

※第十二 本隊砲兵ノ陣地占領

- 一 之レヨリ先キ旅團長ハ砲兵大隊長(副官、通信長、將校斥候一組及書記以下ヲ伴フ)ヲ伴ヒI高地ニ來リ砲兵大隊長ニI高地北方高地附近ニ陣地偵察ヲ命ス
- 但シ大隊長ハ將校斥候ノ報告ニ基キ同高地ハ砲兵陣地ニ適スルコトヲ略承知シ居レリ
- 二 大隊長ハ命ニ依リ直ニ無名寺東側附近ハ適當ナル陣地ナルコトヲ確メ旅團長ニ報告ス(砲操二ノ十七、四十)
- 三 大隊長ハ旅團長ヨリ展開命令ヲ受ケD町東端ヲ

先頭トシ停止シアル大隊及聯隊段列三分一ニJ林西端迄前進中隊長ハ大隊ノ先頭ニ在ルコトヲ命シテ更ニ細部ノ偵察ニ移ル

次テ偵察終ル頃陣地ニ達スル如ク兩中隊長ヲ招致ス

大隊長ハ陣地偵察中副官又ハ通信長ヲシテ敵情ヲ監視セシメ同行シタル將校斥候ヲ東南方B家屋附近ニ派遣シ敵情地形ノ偵察ニ任シ且ツ射撃開始後ノ彈著觀測ニ任ス(砲操二ノ二十五第二項)

第二、第三中隊長ハ到著セリ、大隊長ハ敵情、兩中隊ノ位置(間隔ヲ百步トシ兩中隊ノ内翼ヲ示ス)射界(通常

首線ヲ示ス)大隊ノ基點(P 森北端ノ抽出樹)遮蔽ノ度(B 村東側高地ニ對シ遮蔽)進入路(I 高地西麓ノ道路ニ依リ)進入ノ時機(即時)段列ノ位置、大隊長ノ位置ヲ示シ通信長ニ命シ大隊長ト旅團長第一中隊及乙家屋斥候ノ位置トノ間ニ電話架設ヲナサシム

聯隊段列ニハ其位置ヲ考定シテ中隊段列長ニ通報ス第一中隊ニハ殊ニ乙家屋附近ニ陣地變換ヲ要スル場合ノ爲陣地偵察ヲ致シ置カシメ要スレハ其前進路ノ修理ヲ工兵中隊長ニ要求ス【砲操二ノ三十七】

四 旅團長ヨリ砲兵彈藥縱列到著時刻ノ通報ヲ受ケタル時之ヲ聯隊段列長ニ示ス

五 スクシテ大隊ハ陣地ニ進入セリ爾後大隊長ハ專ラ敵情ヲ觀察ス

六 午後十二時三十分ニ至リ旅團長ヨリ射擊開始ノ命至ル

我第一線歩兵ハ前進ヲ開始セリ敵ノ砲兵ハ豫想ノ如クB 村東南方高地ヨリ我歩兵ニ向ヒ射擊ス大隊長ハ各中隊ニ命シ敵ノ砲兵ニ向ヒ射擊セシム

【砲操二ノ四十二、四十三第一項】

※第十三 第一線歩兵大隊ノ攻撃準備ノ隊形及動作

情況

第一線トナルヘキ兩聯隊ノ各大隊長ハ其聯隊長ヨリ展開命令ヲ受クルヤ大隊ヲ其任務ノ位置ニ就カシム之レカ爲ニハ聯隊長ノ動作ニ準シ部下古參中隊長ニ命シ展開地ノ後方適宜ノ位置ニ引卒セシメ自ラ急行シテ地形偵察ヲナシ以テ部下大隊ノ至ルヲ待ツ

問

步兵第一聯隊第三大隊ノ攻撃準備位置ニ於ケル隊形

攻撃準備
位置ニ於
ケル大隊
ノ隊形
(正規隊
形)

答

縱隊橫隊

理由

敵陣地トノ距離三千米突以上ナリ未タ大隊ノ展開ヲ

要スル時機ニアラス且敵陣地ノ景況通視スル能ハサルヲ以テ敵情不明瞭ナリ即チ縱長區分ヲ決定スヘキ資料ニ缺クル所アリ
又攻撃地帯ノ地形ハ敵眼ニ遮蔽シテ前進スルヲ得故ニ敵砲火ヲ蒙ルノ顧慮少ナシ故ニ正規隊形ナル縱隊橫隊ニテ前進ヲ起スヲ適當トス【歩操二ノ五十末尾、一ノ百七十八】

問

步兵第一聯隊第一大隊攻撃準備位置ニ於ケル隊形

答

間隔ヲ開キタル縱隊橫隊

理由

右同(應用隊形)

一 彼我ノ距離尙二千六百米突トス然レトモ前進地帯ハ平坦開濶ニシテC村ヲ進出スルヤ敵ノ有効ナル砲火ヲ蒙ルコト想像スルニ難カラス故ニ損害減少ノ手段ヲ講スルヲ要ス即チ距離間隔ヲ開クヲ可トスサレト原則トシテ密集隊形ノ中ニテモ成ルハク正規隊形ヲ以テ前進シ正規隊形ヲ許サ、ル場合ハ成ルヘク正規隊形ニ近キ隊形ヲ撰フヲ適當ト考フ依テ縦隊横隊ノ單ニ間隔ヲ開キタルノミニ止メントス

然ラハ幾何間隔トスルヤ現今ノ一砲彈ニ對シ並列セル二隊同一被彈面ヲ蒙ラサランカ爲ニハ少ナク

モ六十米ノ間隔ヲ必要ト考フ然レトモ六十米ノ間隔ヲトルトキハ正面約三百米トナリ大隊長ノ指揮掌握容易ナラス故ニ予ハ此場合各中隊ノ間隔ヲ三十米トセシハ成ルヘク損害ヲモ減少シ且指揮ノ確實ヲモ求メンカ爲メノミ

彼ノ指揮ノ困難ヲモ顧ミス損害減少ニ傾キテ廣キ距離間隔ニ開キ或ハ損害ノ如何ヲモ顧ミス指揮掌握ノ確實ニ傾キ定間隔ノ密集隊形ヲ以テ前進シ損害ヲ蒙リ已ムヲ得サルニ至リ初メテ距離間隔ヲ開ク共ニ極端ニ屬スト謂フヘシ

若シ此情況ニ於テ尙大ナル間隔ヲトラント欲セハ

一中隊ヲ後方ニ梯隊トスルハ確ニ一案ナリト信ス

【步操二ノ五十ノ末尾、同一ノ百七十八】

問

右(展開)步兵第二聯隊ノ第一線大隊ノ攻撃準備位置ニ於ケル隊形

答

展開シアリ

理由

彼我ノ距離約二千二、三百米突トス故ニ前進ヲ起セハ間モナク散開準備ノ爲展開ヲ要スヘシ抑々敵ノ砲彈下ノ展開ハ困難ニシテ且種々ノ害ヲ伴フ故ニ多少ノ

距離ハ顧ミルコトナク遮蔽シテ展開シ次ニ前進ヲ行フチ有利トス況ンヤ此地形ニ於テハ山ノ敵方斜面ヲ降下スル時敵ニ好目標ヲ呈スルニ於テオヤ故ニ此際此兩大隊ハ展開シアルヲ適當ト考フ

【步操二ノ五十末尾、同一ノ百七十八末尾】

説述

第一線大隊展開時機ノ研究
抑々攻撃ニ於テ第一線大隊ハ敵陣地ヨリ幾何距離ニ於テ展開スヘキヤ主トシテ敵情、地形ニ關スルヲ以テ數字の標準ヲ定メンコトハ得テ望ムヘカラス然レトモ茲ニ初學者ノ爲ニ少シク説述シ以テ研究ノ參考ニ資セントス

平坦開濶地展開

一 平坦開濶地ニ於ケル攻撃ニ於テハ既ニ敵前約千米突ニ近接セハ若干ノ射撃效力ヲ期シ得ヘク且射撃スルニアラサレハ前進困難ナ

ル情況多カルヘシ然ルニ散開ノ目的ハ射撃ヲ行フヲ主眼トシ展開ノ目的ハ散開スルニアリ

右ノ着眼ヨリ推考セハ約幾何距離ニ於テ展開ヲ開始スヘキヤノ問題ハ自然的解決ヲ求ムルヲ得ヘキナリ勿論漠然タル解決タルノ譏リハ免ル、能ハス

而シテ射撃開始ト散開完了時 散開開始ト展開完了時トノ間ニハ多少ノ餘裕ヲ中隊長ニ與フルヲ良トス謀急ナル展開散開射撃開始ハ實施確實ナル能ハサルノミナラス射撃精度ヲ害シ精神上ノ不安ヲ招キ志氣上ニモ惡影響ヲ來スヘシ
今此等ノ經過ヲ圖示スレハ左ノ如シ



依テ假リニ千米ニ於テ射撃開始ヲ要ストセハ二千米内外ニ於テ展開ヲ開始スルヲ要スヘシ
但シ展開ニ要スル距離ハ開始時ニ於ケル隊形及地形等ニ關スルヤ論ヲ俟タサルナリ

二 地形ヲ利用シ得ル場合ノ展開開始ノ時機ハ地形ト大ナル關係ヲ有ス原則上遮蔽近接ヲ許ス限り成ルヘク永ク密集隊形ヲ以テ敵ニ近接シ次ニ展開スルヲ可トス【歩操一ノ百七十八】

地形ヲ利
用シテ展
開

然シテ展開ハ又行進中敵砲火ノ下ニ於テ行フヨリハ地形之ヲ許セ
ハ一時停止シテ展開シ次ニ前進スルヲ確實容易ナリトス故ニ地形
ニ依リテハ多少ノ距離ハ論スルコトナク稍遠キ感アルモ適當ナル
遮蔽物ヲ利用シテ停止展開シタル後前進ヲ起スヲ有利トスル場合
アルヘシ

三

敵情ノ明否モ亦展開時機ノ遲速ヲ生スヘシ即チ大隊ヲ展開スル
ニハ第一線ニ幾何中隊ヲ出スヘキヤ豫備トシテ幾何中隊ヲ控置ス
ヘキヤヲ決セサルヘカラス此縦長區分ノ決定ハ敵情ニモ關係ス而
シテ敵情ヲ明知センコトハ頗ル困難ナリト雖縦長區分ヲ定メ得ヘ
キ相應ノ資料ヲ得サレハ適當ナル展開得テ望ムヘカラサルヘシ
此ノ如ク第一線大隊ノ展開ノ時機ハ敵情地形及任務ニ關シ差異ヲ生
スヘキヲ以テ一定ノ標準ヲ定ムル能ハサルコトヲ知ラサルヘカラ
ス

情 況

歩兵第二聯隊第一大隊長ハL高地無名祠附近ニ於テ
聯隊命令ヲ受クルヤ各中隊長及機關銃小隊長小行李
長(彈藥補充ノ爲現在シアラサレハ此限りニアラス)及
軍醫ヲ集メ狀況ヲ示シ展開命令ヲ下ス
(但シ狀況指示ノ要領ハ聯隊長ニ準スルヲ以テ茲ニ之ヲ研究セス)

問

展開命令

答

一 聯隊ノ攻撃目標ハB村南端ヨリ同村西北端ニ互
リ占領シアル敵

停止間大
隊ノ展開
法

二 當大隊(第四中隊欠)及機關銃一小隊ハ右翼第一線トナリX街道ト前方約千二百米丘阜トノ中間地區ヨリ敵ヲ攻撃セントス

第二大隊(第八中隊欠)ハ左翼第一線トナリ同丘阜以北ノ地區ヨリ攻撃ス

爾餘ノ諸隊ハ豫備トシテ第二大隊ノ後方ニ行進ス

三 第一第二中隊 第一線 第三中隊機關銃小隊ハ

豫備 第一中隊ハ右方松林第二中隊ハ神社ノ西南側 豫備隊ハI高地トノ鞍部ニ至リ前進準備

四 攻撃前進ノ時機ハ追テ示ス

五 小行李ハ豫備隊ノ後方ニ續行

衛生部員ハ中央後ヲ行進シ適宜隊繙帶所ヲ開設ス
ヘシ

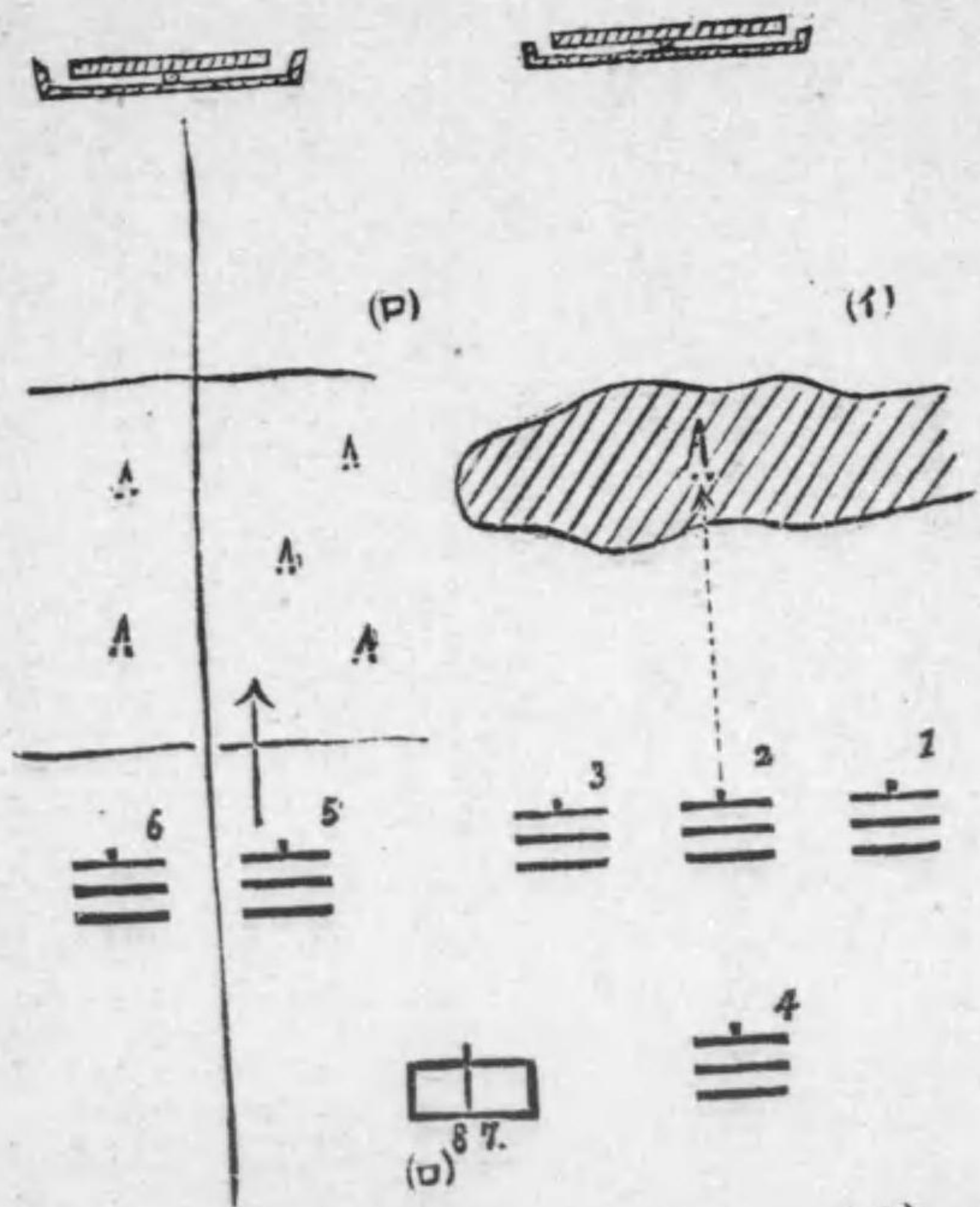
説述

展開セル
大隊ノ運
動ノ規定
法

一 展開セル大隊ノ運動ノ規正法【歩操一ノ百八十】

大隊ノ攻撃目標ヲ示シ得ルトキハ之ヲ示シ各中隊ハ大隊ノ攻撃目標ノ線中ニ適宜行進目標ヲ定メ前進ス

若シ大隊長大隊ノ攻撃目標ヲ示シ能ハサル時ハ共同ノ行進目標ヲ示スカ又ハ基準中隊ヲ定メ此中隊ニ目標ヲ示シテ前進ス
之ヲ圖示スレハ左ノ如シ

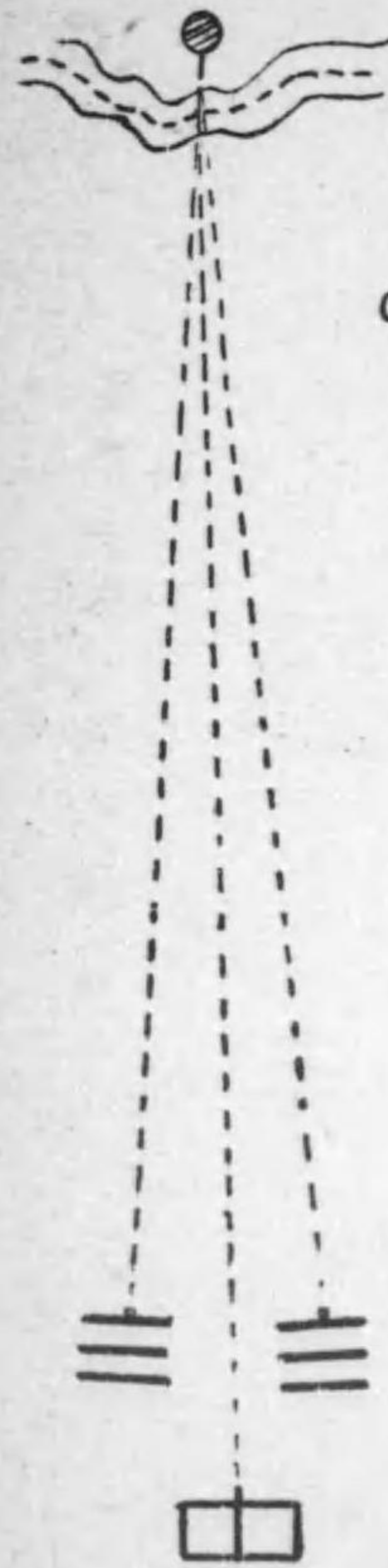


(三) 基準中隊ニ依ル法

基準中隊ノ前進路ニ沿フテ

(1) 基準目標村落内ノ一本

標目撃攻



(二)

(二) 共同目標ニ依ル法



(一) 攻撃目標ニ依ル法

二

抑々旅團長ハ衛生隊ニハC村西端附近ニ綑帶所開設ヲ命シタリ
是レ旅團戰線ノ中央後I高地附近ニハ砲兵陣地アリ、サリトテJ林
ヨリ西方ニ開設スレハ距離遠キニ失シ傷者ノ收容困難ナリ故ニ止
ムヲ得ス旅團ノ主力方面ノ後方C村ニ設置セシ所以ニシテ第二聯
隊方面ノ傷者ハ收容スル能ハス故ニ同聯隊方面ノ傷者ハ其後方L
高地附近ニ車輛置場ヲ設ケ車輛ニ依リ直接D町東端ナル野戰病院
ニ運搬スル計畫トス【陣要三百四十一第二項】

次ニ大隊長ハ隊附軍醫ニ對シ隊綑帶所ノ設置概略位置ヲ示スヲ可
トスレトモ此場合ニ於テハ大隊ハL山高地ヲ出レハ直ニ傷者續出
スルヤモ計ラレス故ニ位置ノ撰定ハ軍醫ニ一任シ爾後大隊ノ前進
ト共ニ逐次前方ニ位置ヲ進ムル如ク軍醫ノ活動ニ一任セシ所以ナ
リ蓋シ此方法ハ軍醫ヲ信賴シタル手段ニシテ若シ之ヲ一任スル時
ハ勇敢ニシテ適切ナル活動ノ得テ望ムヘカラスト考エナハ大隊長

ニ於テ開設ノ時機ト場所トヲ確實ニ命スルヲ要スルコト勿論ナリ

情 況

一 歩兵第二聯隊第二大隊ハ第一大隊ト同要領ニ依
リ展開セリ

二 歩兵第一聯隊ノ第一線大隊亦各其位置ニ就ケリ

問

第一線大
隊ノ攻撃
準備

攻撃準備ノ位置ニ就キタル各第一線大隊ハ攻撃前進
ノ命ヲ受クル迄何ヲナスヤ

答

一 敵情及地形ノ偵察ノ爲斥候派遣又ハ監視哨ノ配

置【歩操二ノ三十】

- 二 外翼大隊ハ要スレハ側方警戒
- 三 所屬隊長及隣隊トノ連絡ノ保持
- 四 其他諸種ノ前進準備
- 五 略準備ヲ終ラハ所屬隊長ニ報告

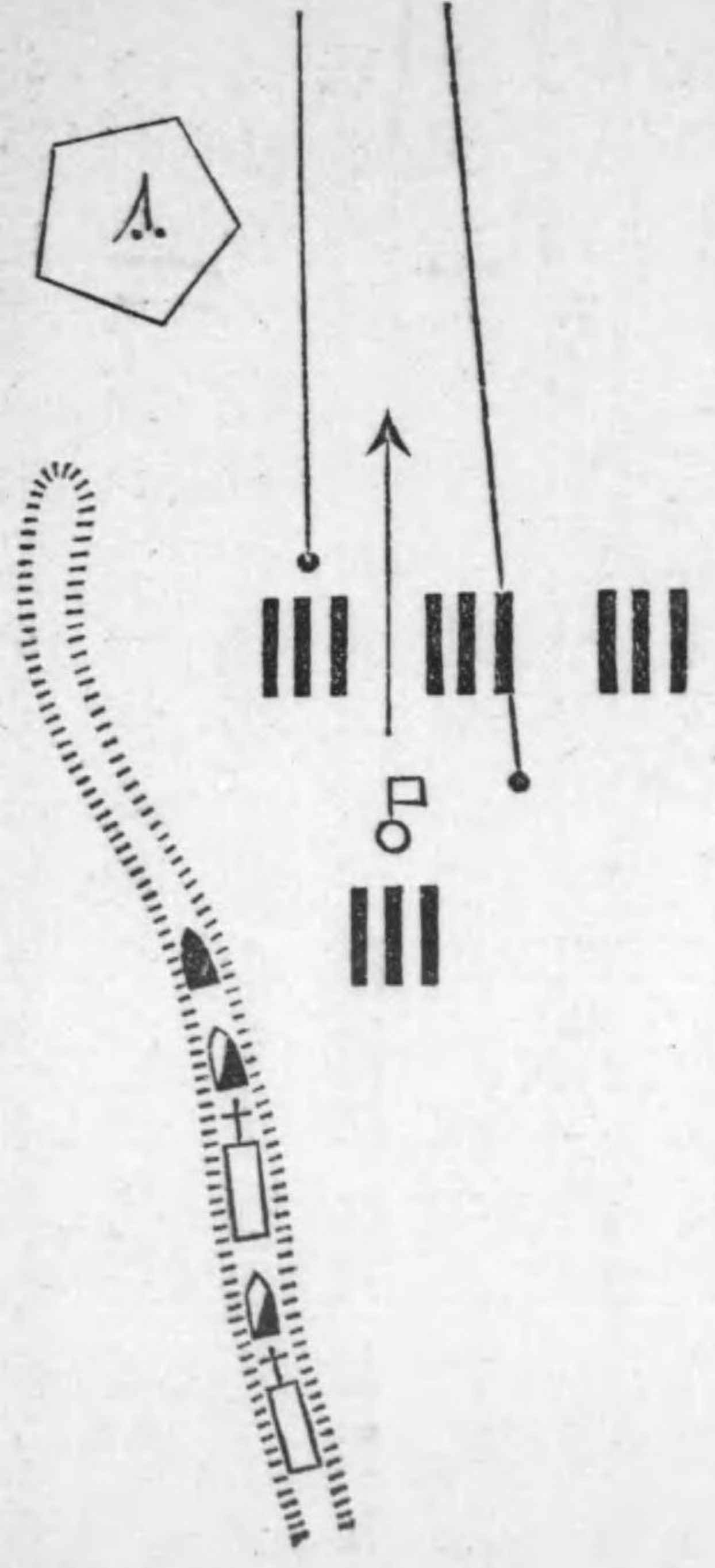
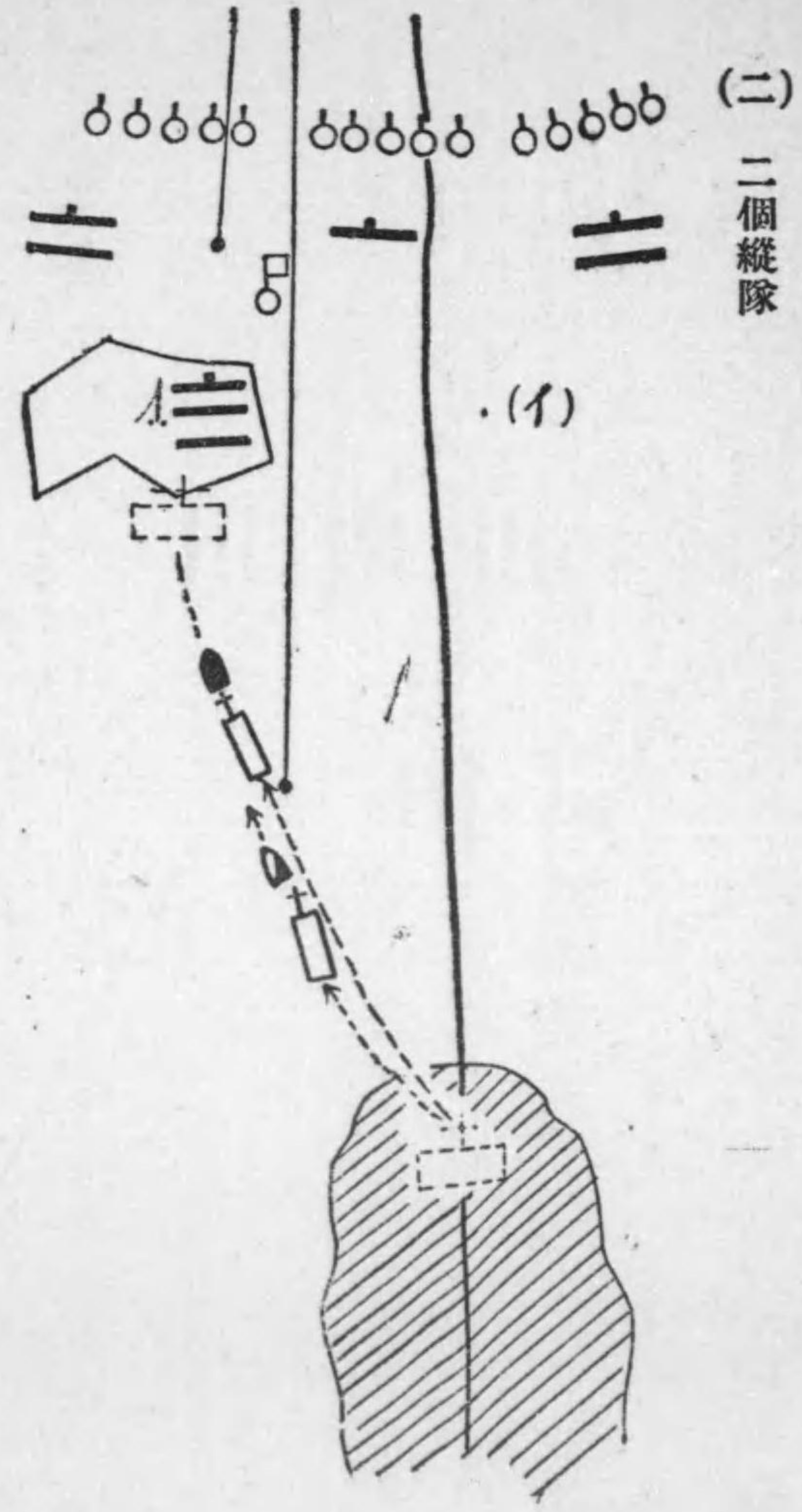
※第十四 小行李ノ敵火ノ下ニ於ケル行動

小行李敵
砲彈下ノ
行動

抑々小行李ハ戰場ニ於テ歩兵ノ直後ニ在ツテ敵火ヲ犯シ行動スヘキモノトス故ニ之カ研究ハ頗ル重要ナル事ニ屬ス然ルニ本科將校以外ニ於テハ殆ント度外視セラレアリ、頗ル遺憾トスル所ナリ依テ茲ニ其原則ヲ摘録シ參考ノ資ニ供セントス

稍遠キ場
合

- 一 歩兵大隊攻撃ノ爲展開スルニ方リテハ小行李ハ指揮運動ノ容易ナル隊形ヲ用ヒ大隊長ノ命令ニ基キ行動ス而シテ一伍縦隊ヲ以テ巧ニ地形ヲ利用スルトキハ敵火ノ損害ヲ減少シテ前進スルヲ得ヘシ若シ開濶セル地形ニ於テ敵砲兵火ニ暴露セサルヘカラサルトキハ通常二個ノ縦隊ニ分チ縦隊毎ニ逐次通過スルカ或ハ大ナル間隔ニ縦隊ヲ併列シタル隊形ト爲シテ前進スルヲ可トス而シテ二個ノ縦隊ニ區分セハ各縦隊ハ次級監視員ノ指揮下ニ在ラシムルモノトス【艦操二ノ十七】
- 小行李ハ以上ノ行動間過度ニ豫備隊ト離隔セサル



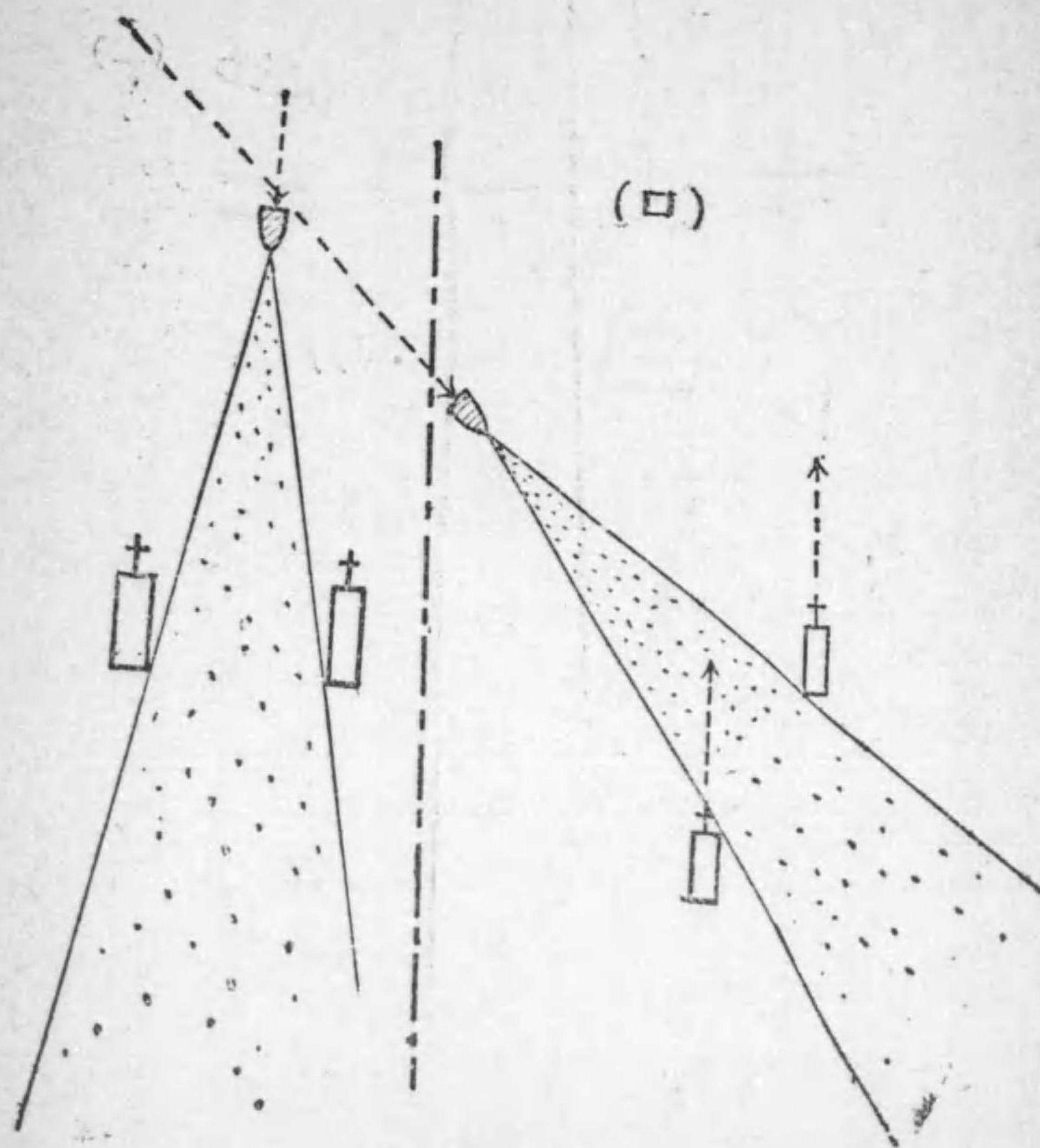
コト緊要ナリ
之レヲ圖示セハ左ノ如シ

攻撃進捗
時ノ場合

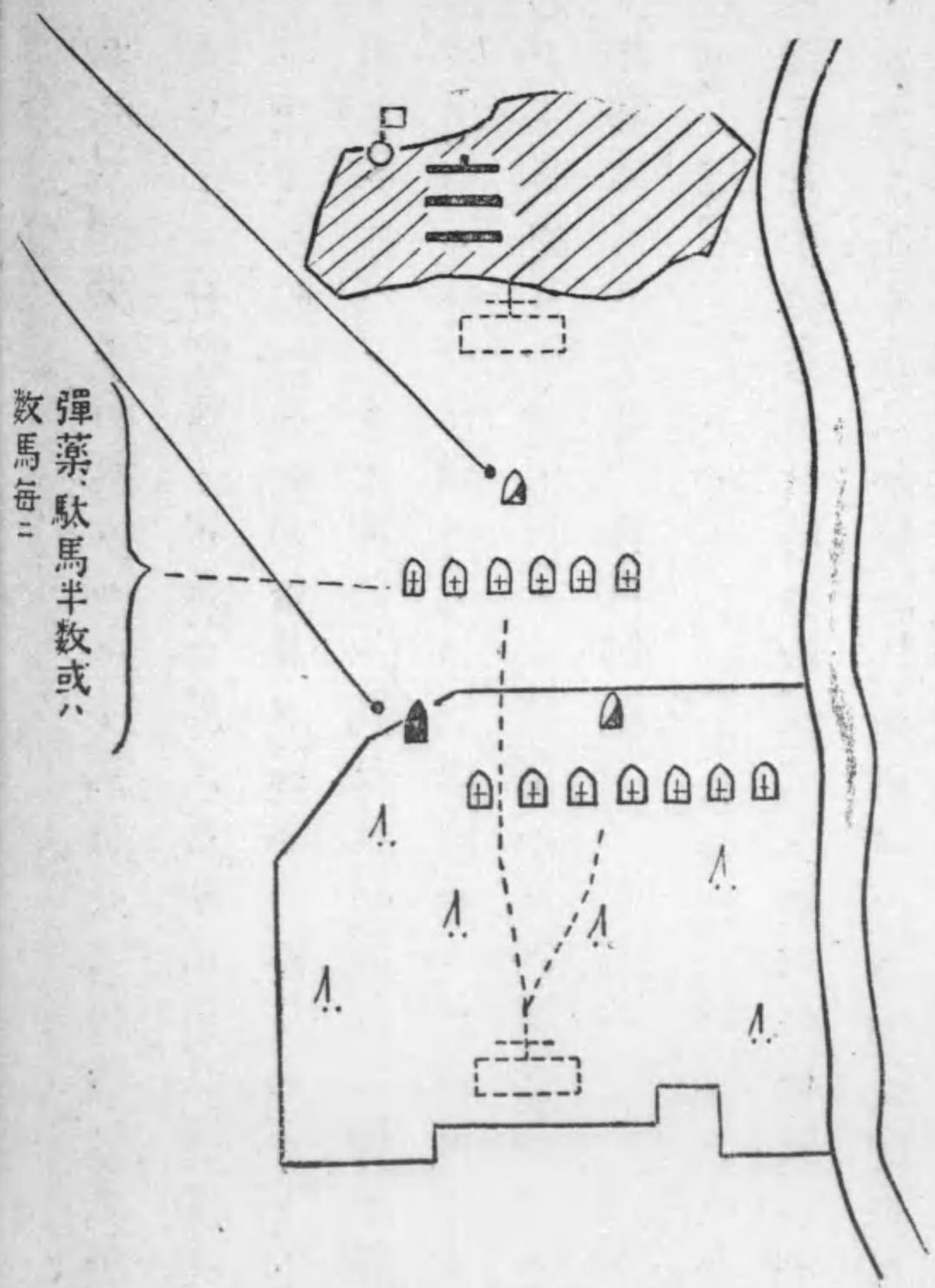
二

歩兵大隊ノ攻撃漸ク進捗スル時ハ小行李ハ戦線
ノ後方ニテ大隊長ヨリ指示セラレタル地點ニ遮蔽
シテ位置シ所要ニ應シ速ニ彈藥ヲ交付スルモノト
ス而シテ戦況之ヲ要スル時ハ高級監視員ハ彈藥駄
馬ヲ指揮シ地形ヲ利用シテ一層戦線ニ近接シ遮蔽
シタル地點ニ位置シ以テ彈藥ノ交付ヲ容易ナラシ
メサルヘカラス【輜操二ノ十八】

前項ノ場合ニ於テ敵火ノ掃射スル地區ヲ通過スル
ニハ損害ヲ減少スル爲彈藥駄馬ノ約半數毎ニ一列
ノ横隊トナリ又ハ數馬毎ニ速歩ヲ以テ逐次躍進ス
ルヲ可トス而シテ此際敵火ニ暴露シテ停止セサル



ヘカラサル時ハ成ルヘク兵卒ヲシテ低キ姿勢ヲ取
ラシメ馬ヲ敵方ニ向ケテ位置セシムルヲ可トス



散兵ニ彈
藥分配

三

散兵ニ彈藥ヲ分配スルハ步兵自ラ之ヲ行フヲ常
トス然レトモ非常ノ場合ニ於テ監視員之ヲ命セラ
レタルトキハ一名ニテ數馬ヲ保ツノ方法ニ依リ徒
手者ヲ集メ之ヲシテ彈藥ノ括包ヲ負條ニテ頸ニ懸
ケシメ自ラ之ヲ指揮シ成ルヘク遮蔽シテ火線ニ至
ルヘシ開豁地ニ在リテハ大間隔ニ散開シ通過スヘ
キ距離大ナルトキハ逐次躍進シテ火線ニ赴クヲ要
ス【輯操二ノ二十】

火線ニ彈藥到著スル時ハ散兵ノ志氣大ニ振興スル
モノナリ從テ之カ分配ノ任ニ當レル者ノ名譽亦大
ナルモノトス故ニ敵火ノ危険ヲ顧ミス勇往邁進火

線ニ到リ彈藥ヲ交付スヘシ而シテ火線ヨリ歸還スルニ方リ監視員ハ散兵ヲシテ誤解セシムルカ如キ言語例ヘハ「後ヘ」ノ號令等ヲ用フヘカラス之ヲ要スルニ開豁地ニ於ケル小行李ノ前進ハ頗ル困難ナリ然レトモ火線ニ對スル彈藥ノ補充ハ極メテ重要トス之ヲ以テ大隊長ハ之カ行動ヲ監視員ニ一任スルカ如キハ甚タ危險ノ件フヘキヲ銘セサルヘカラス

※第十五 豫備隊ノ隊形動作

情況

一 步兵第一聯隊長ノ豫備及旅團長ノ豫備隊ハ森林

豫備隊ノ隊形及長ノ動作

通過ノ關係上併立縱隊ノ縱隊橫隊ニアリ【歩操二ノ三十二】

說述

- 一 應用隊形ハ一時止ムヲ得ス採用スヘキ隊形ニシテ其目的ヲ達セハ狀況ノ許ス限り正規隊形ニ復スルヲ本則トス此際豫備隊ハ森林通過ノ目的上併立縱隊ノ縱隊橫隊ヲ採用セリ故ニ前進ニ方リ森林ヲ通過シ終ラハ直ニ縱隊橫隊ニ復スルヲ要ス且林東側ハ比較的敵ニ遮蔽シ前進ヲ許スヲ以テ正規隊形ニテ行進スルヲ得ヘシ
- 二 豫備隊長ハ前方地形ノ觀察側方ノ警戒又所屬隊長ト連絡保持等ノ處置ヲナシ以テ前進ノ命ヲ待ツ

※第十六 攻撃前進

情況

一 午後十二時三十分頃迄ニ旅團長ハI高地ニ於テ各隊長ヨリ攻撃準備完了ノ報告ヲ受ケ直ニ兩聯隊長及砲兵大隊長ニ電話ヲ以テ前進及射撃開始ノ命令ヲナス【歩操二ノ五十二】
各聯隊長ハ大隊長ニ大隊長ハ中隊長ニ順次遲滯ナク前進ヲ命セリ

二 彼我ノ砲戰ハ開カレタリ茲ニ天地ノ寂寞ハ破ラレ殷々轟々坤軸ヲ震撼スルノ感アリ
我第一線諸隊中C村—Q村道以北ノ部隊ハ盛ンニ敵ノ砲彈ヲ蒙ルモ整然トシテ一絲紊レス前進ヲ繼續ス訓練至リ軍規嚴肅ナル軍隊ニ於テ始メテ此ノ

如キヲ得ルナリ

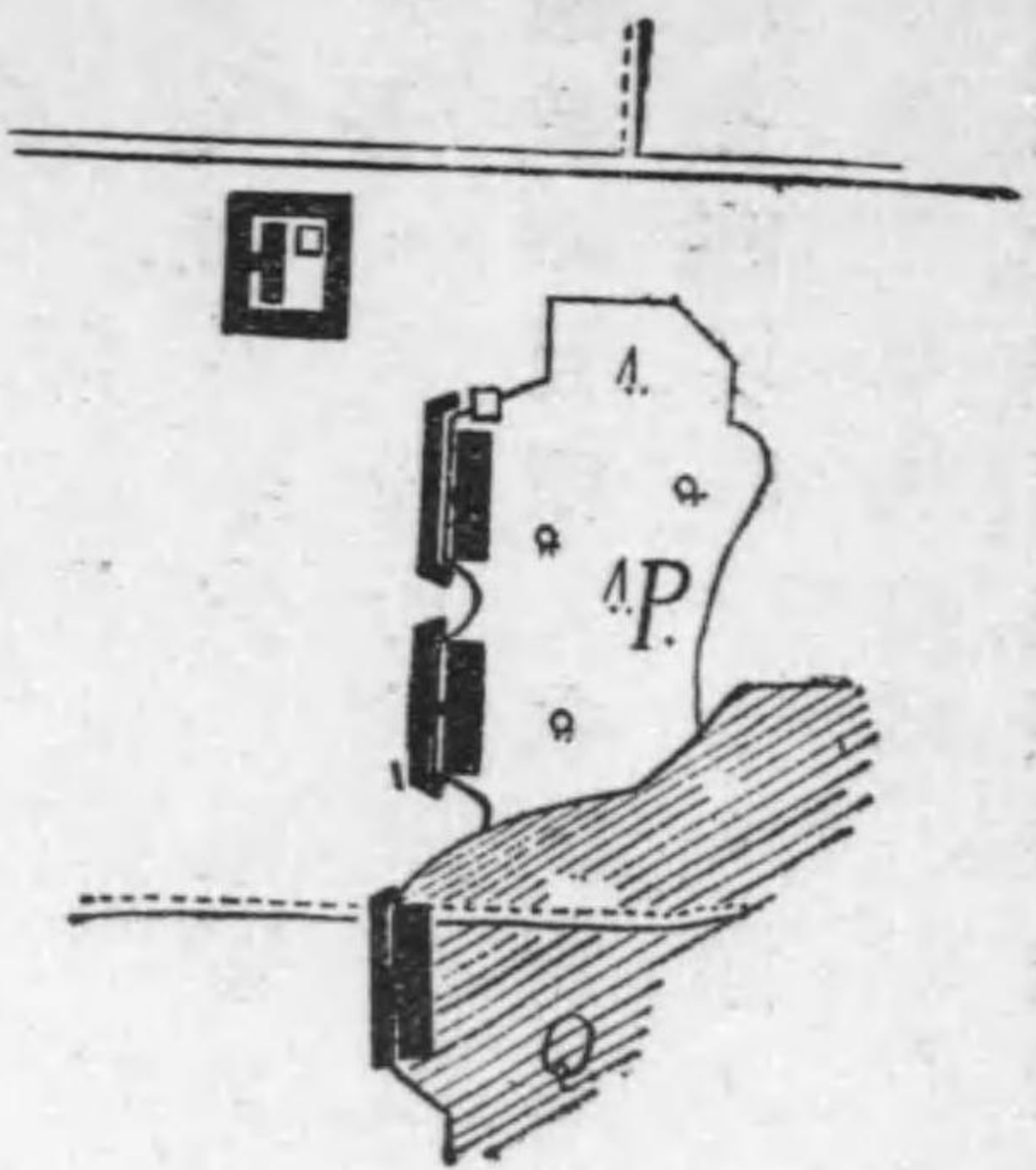
※第十七 步兵第一聯隊方面ノ戰況

第一大隊ノ動作

情況

一 大隊ハ多少ノ損害ヲ蒙リ兎ニ角最初ノ隊形ヲ以テ堂々タル行進ヲ繼續シ第一細流ノ線ニ達セリ大隊長ハ大隊ノ中央前ニ行進中ナリシカ敵陣地ノ形況モ略明瞭トナリ圖ノ如キ、配備ナルコトヲ知り得タリ

二 聯隊長ノ通報ニ依ルニ敵ノ左翼ハQ村南側橋梁



附近ニアリト

問

大隊長ノ處置

答

行進間
大隊ノ展
開法

大隊ヲ展開ス【歩操一ノ百七十八】

理由

敵ノ配備モ明瞭トナレリ又距離約二千米ニ近接シタ
リ最早大隊ハ展開シテ散開戦闘ノ準備ヲナスヲ要ス

問

展開命令

答

大隊攻撃目標 森ノ南端ヨリX街道南側學校ニ至ル
間ノ敵兵

第一、第三第四中隊 第一線

第一、第三中隊ハ林縁ノ敵兵第四中隊ハ學校ノ敵兵間

隔百五十米
 第四中隊 豫備 中央後三〇〇米
 第三中隊 基準 展開
 大隊旗ハ豫備隊ニアレ

注意 大隊カC林ヲ出發スル時小行李ハC村—Z
 家屋道ニ沿ヒ行進シ衛生部員ニハ大隊ノ後
 方ニ續行シテ適宜隊繃帶所ヲ設置スヘク命
 シアリ故ニ此際命スルコトナシ

說 述

- 展開ニ際シ各中隊ノ動作
- 一 大隊長ノ展開命令ニ基キ各中隊ノ動作左ノ如シ
 - (イ) 第三中隊ハ森ノ中央部附近ニ行進目標ヲ定メ直進ス
 - (ロ) 第一、第四中隊ハ駈歩ニテ右(左)斜行進ヲナシ第三中隊ヨリ所定

ノ間隔ヲトリタル後直行進ヲナス

- (ハ) 第二中隊ハ地形ヲ利用シテ一時停止シ所定ノ距離ヲ取リタル後前進ヲ起ス

大隊長攻撃目標ノ分割
 戦闘間ノ連絡法
 第一線中隊ノ決定

- 二 大隊長ハ大隊ノ攻撃目標ヲ定ムルヤ直ニ第三大隊ニ通報スルヲ要ス斯ノ如ク目標ヲ分チタル上ハ最早自己ノ攻撃目標以外ハ我不關焉ナリヤ決シテ然ラス、大隊長カ目標分割ハ射撃便宜上ノ分割ナリ聯隊ノ攻撃目標ニ對シ第一線各大隊協同シテ攻撃目的ノ達成ニ努力スヘキ聯隊戦闘ノ特性ヲ發揮スヘキハ決シテ忘却スヘカラス
- 三 大隊長ト聯隊長トノ間ニハ通常電話ヲ架設スルモ連絡ヲ確實ニスル爲中隊長ト大隊長間ノ如ク遞傳哨ヲ配置スルモノトス
- 四 第一線ニ最初ヨリ三中隊ヲ出セシハ大隊ノ攻撃目標タル敵ノ陣地正面幅ヨリ考フルモ約二中隊ヲ下ラサルカ如シ故ニ最初ヨリ優勢ナル火力ヲ以テ敵ヲ制壓センカ爲三中隊ヲ出ス

又中間大隊ナルヲ以テ正面ニ用ルノ外ナシ最初ヨリ第一線ニ多クノ中隊ヲ出シ得ル事ハ原則ニ示ス所ナリ【歩操一ノ百七十九第三項】

第三大隊ノ動作

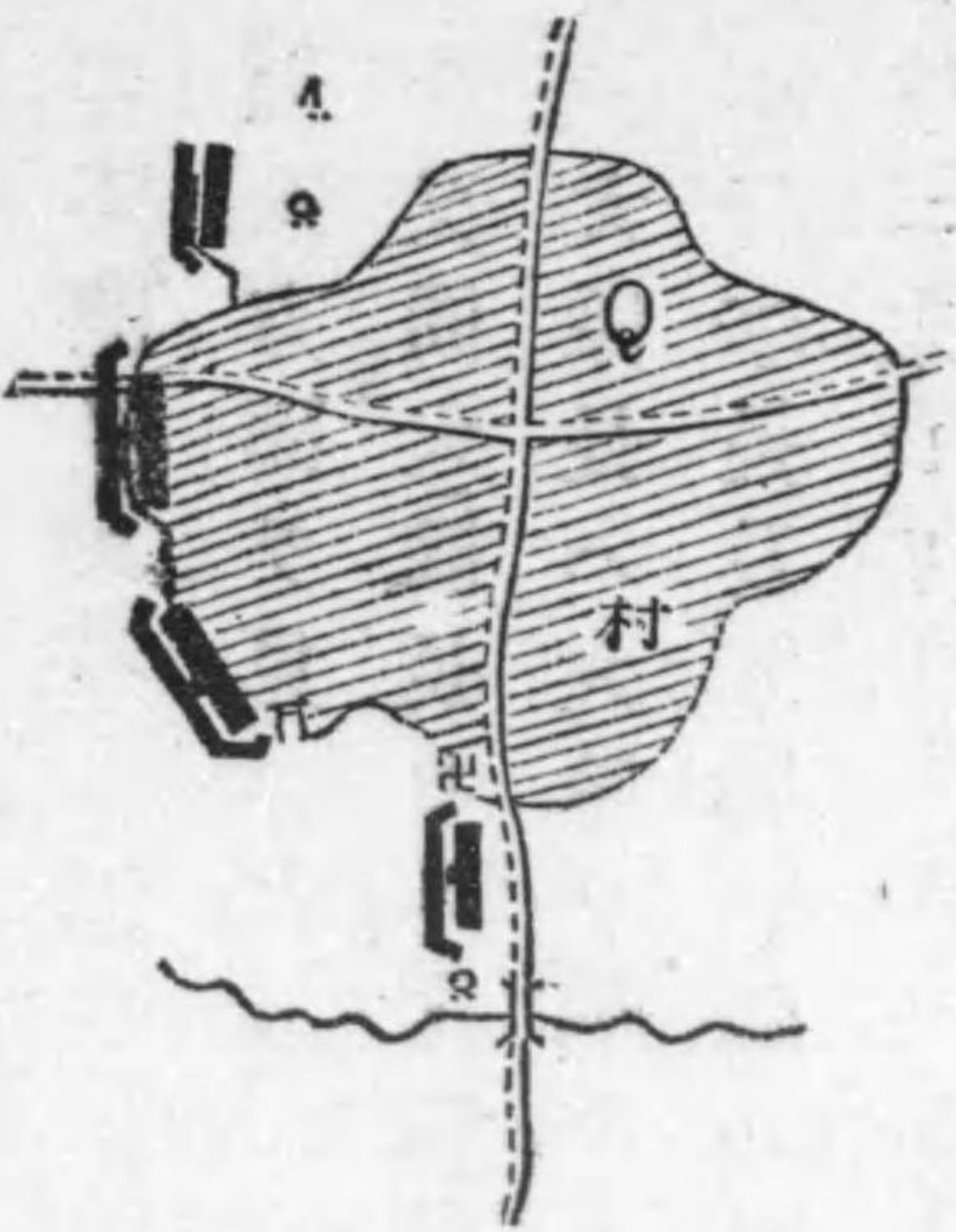
情況

一 大隊ノ行進地帯ハ敵ニ比較的遮蔽セラレアルヲ以テ殆ント砲火ヲ蒙ルコトナク縦隊横隊ニテ前進ス

但シZ家屋南方竹林ニハ既ニ將校斥候アリ又下士斥候ヲ右前方ニ派遣シ警戒シアリ

二 大隊長ハ大隊ヲ引卒シテE森ト竹林トノ約中間ニ達スルヤ古參中隊長ニ大隊ヲ竹林ノ後方ニ引卒

ヲ命シ自ラ馬ヲ飛ハシテ竹林ニ至リ敵情ヲ觀察シテ敵ノ陣地ハ圖ノ如キ形況ニアルコトヲ知り得タリ



三 此時聯隊長ヨリ第二大隊(一中隊欠)ヲ第三大隊ノ右ニ増加スヘキコト及隊繙帶所ハ兩大隊竹林南端附近ニ合同開設スヘキ通報ヲ受ク【陣要三百四十七】

又第一大隊方面ヲ見ルニZ家屋西北側ニ於テ展開中ニアリ又同大隊長ヨリP林ノ敵ヲ攻撃スヘキ通報ヲ受ク大隊長ハ大隊ヲ展開スルニ決ス此時各中隊長及小行李長及軍醫ハ曩キニ集合ヲ命セラレ大隊長ノ下ニ來レリ

問

展開命令

答

行進同一
時停止大
隊ノ展開

- 一 大隊ハQ村西南端神社ヨリ同村西端道路附近間ノ敵ヲ攻撃セントス
- 道路以北ノ敵ハ第一大隊神社以南ノ敵ハ第二大隊攻撃ス
- 第九、第十、第十二中隊第一線間隔二百步
- 第十一中隊豫備右翼後行進
- 第十中隊基準展開
- 基準中隊直ニ前進
- 次テ左ノ命令ヲ
- 一 大隊旗ハ豫備態ニアレ
- 二 軍醫ハ隊繙帶所ヲ第二大隊ト合同竹林南端附

近ニ開設スヘシ

三 小行李竹林ノ後方ニ停止スヘシ

説述

一 大隊展開開始ト同時ニ基準中隊ニ前進ヲ命シタルト大隊旗、隊縋帶所及小行李ノ件ヲ別命トシタル是レ右翼第一大隊トノ關係上攻撃前進ヲ急ク爲メニ外ナラス然ラサレハ全部合同命令トシ且ツ竹林ノ線ニ展開完了シタル後前進ヲ命スルモ可ナリ

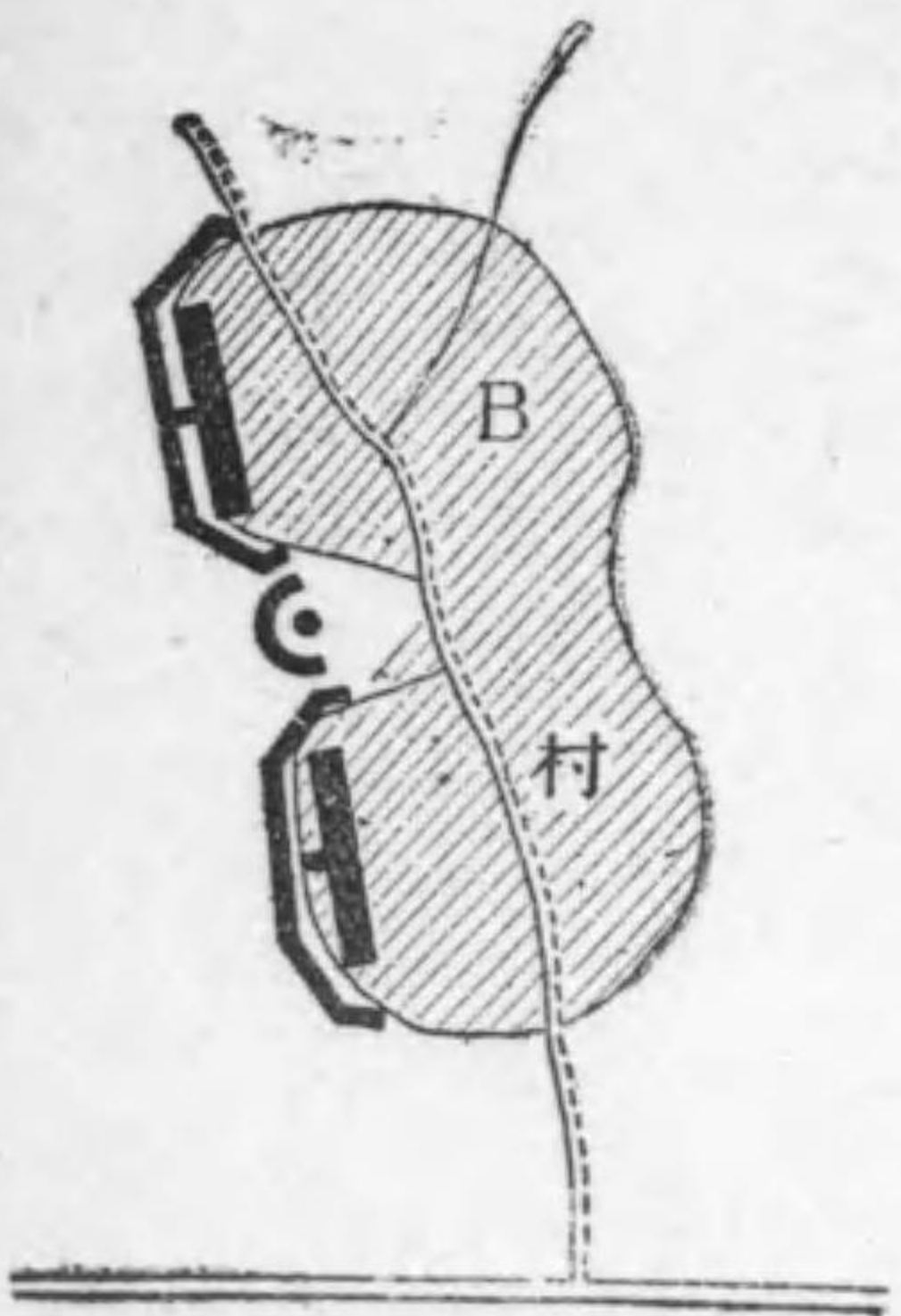
※第十八 歩兵第二聯隊方面ノ戰況

情況

一 歩兵第二聯隊方面ニ於テハ第一線中隊ハ高地ノ敵方斜面ニ出ツルヤ直ニ猛烈ナル敵ノ砲火ヲ蒙リ

多少ノ損害アリ各中隊ハ駈歩ヲ以テ斜面ヲ降下ス
二 各中隊ハ中隊縱隊ノ儘前進シ略第一細流ノ稍後方ニ達スル頃敵ノ歩兵ハ散兵壕ニ一連ニ頭部ヲ顯ハシ緩徐ナル射撃ヲ開始ス

三 敵線ノ形況ハ明瞭トナリタリ即チ圖ノ如シ



大隊長攻
撃目標ノ
指示

而シテ敵ノ射撃ハ命中頗ル確實ニシテ瞬時ノ間ニ
各中隊十數名ヲ斃サル兩大隊長ハ敵線中央部村落
ノ切目ヲ限界トシ攻撃目標ヲ定メ部下中隊ニ指示
シタリ【歩操一ノ百八十七】

問

第一線中隊長ハ如何ナル處置アリヤ

答

中隊ノ散
開 各中隊一小隊宛ヲ散開ス

理由

敵線ヨリ距離約千二百米突ナリ何時ニテモ射撃ヲ開
始シ得ル如ク散開スルヲ要ス然ルトキハ併セテ損害

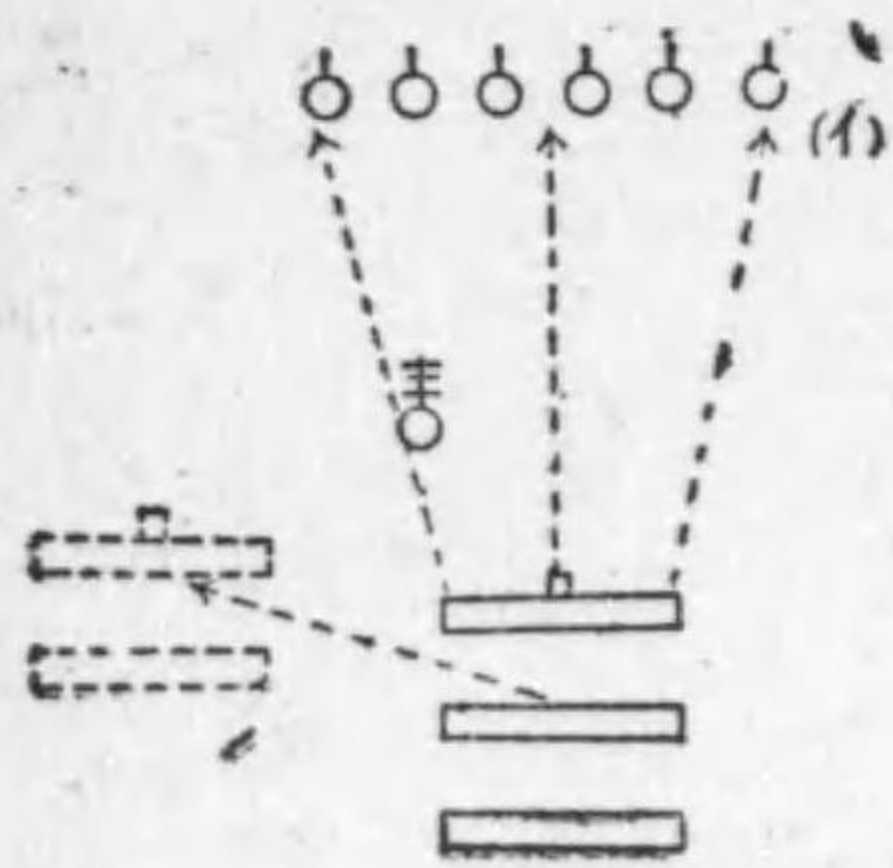
ヲ減少スルノ利益ヲモ享有スルヲ得ヘキナリ故ニ、散
開ス【歩操二ノ三十四】

説述

中隊散開
ノ例 一 中隊散開ノ例示

(1) 一小隊散開

【歩操一ノ百二十八】



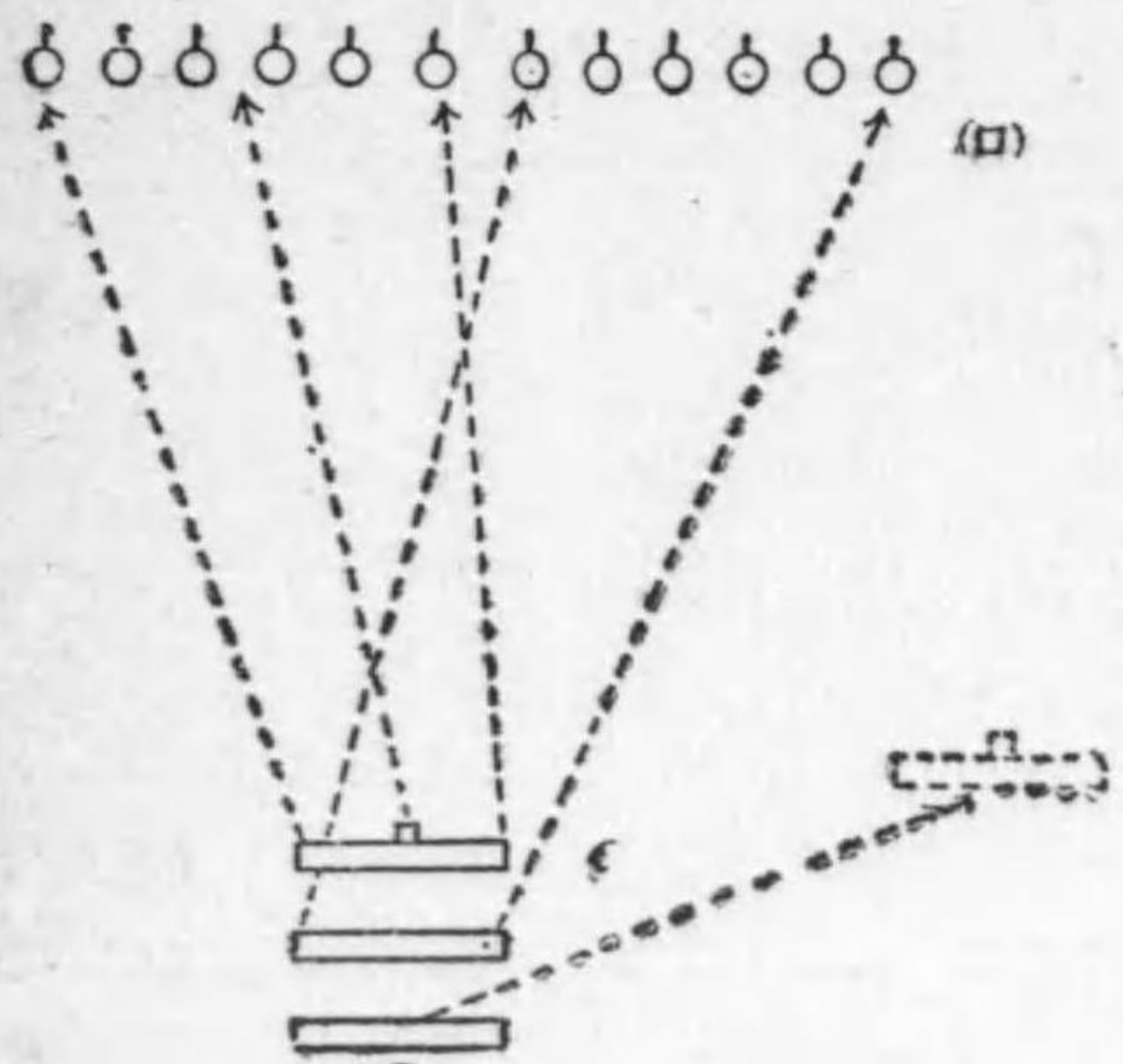
號令

先頭小隊 散兵
散れ(要スレハ何歩ニ散れ)

何番 基準
援隊 左(右(中央)後、二〇〇(要スレハ)

【歩操一ノ百二十八】

(口) 二小隊散開

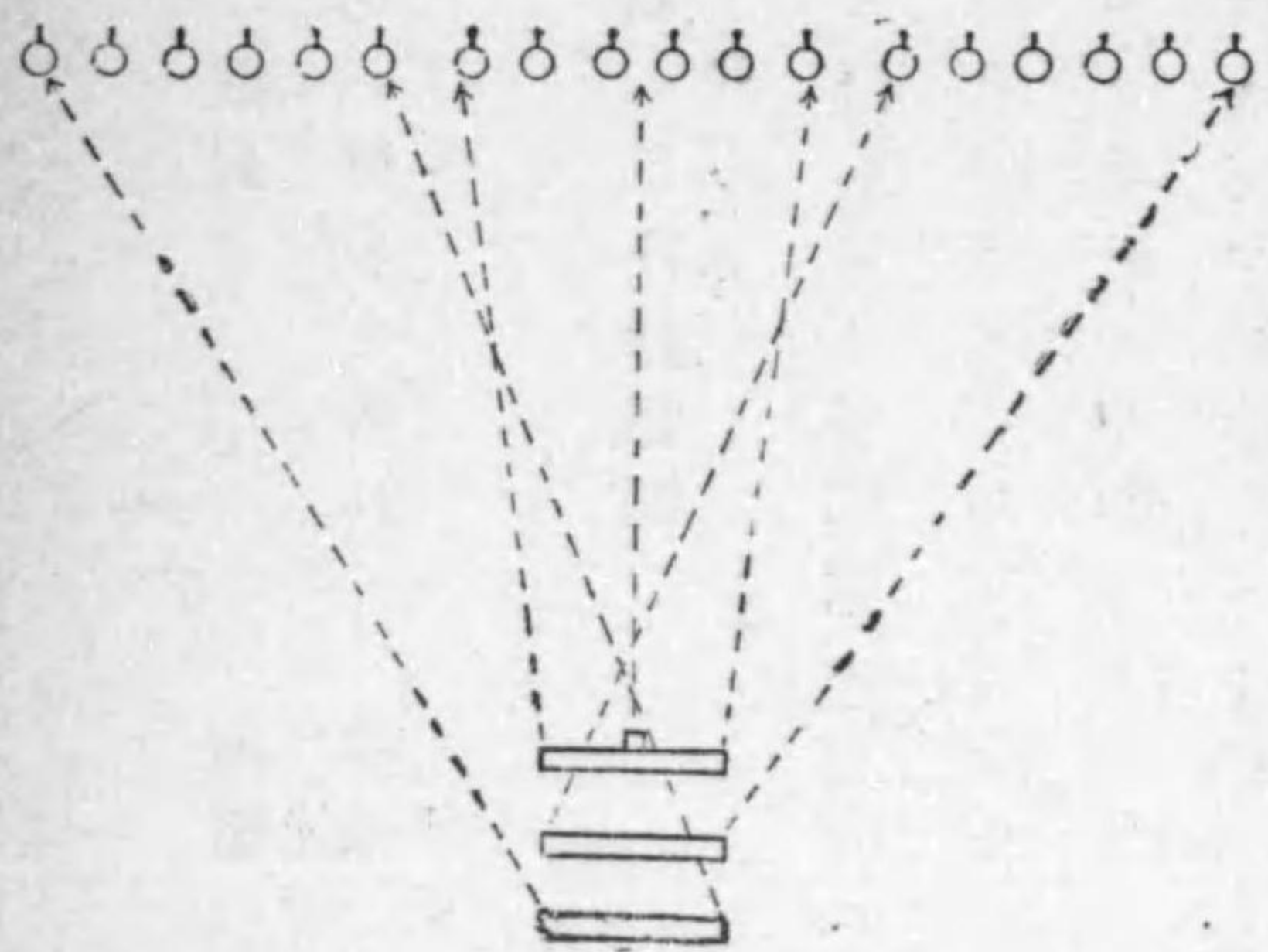


號令

先頭中央小隊 散兵
中央小隊 右へ
援隊 右翼後

先頭小隊 一番基準
散れ

(ハ) 三小隊散開



號令

全部 散兵

先頭小隊 何番基準

中央小隊 右へ

後尾小隊 左へ

散れ

散開時期ノ研究

二 散開時期【歩操二ノ三十四】

操典ニヨルニ「最前線ノ各部隊ハ成ルヘク永ク密集隊形ヲ以テ前進シ我射撃効力ヲ期シ得ヘキ稍前ニ於テ散開隊形ニ移ルモノトス是レ敵火ノ効力ヲ減殺センカ爲ニモ亦必要ナリ」ト此精神ハ散開ハ射撃開始ノ準備ニ行フヲ主眼トシ損害減少ハ其副産物タル利益ヲ有スルコトヲ示スモノトス

然レトモ目標ノ景況ハ未タ射撃効力ヲ豫期スル能ハサル場合ニ於テ自己ノ損害多大ナル時ハ已ムヲ得ス損害減少ノ目的ヲ以テ散開近接ノ策ヲトルヘキ特種ノ場合ナキニアラサルナリ勿論過早ノ散

開ハ指揮困難ノ不利アルモ損害減少ノ利益ヲ以テ償ヒ得ヘシト信セハ過遠ノ散開敢テ不利ナリト斷言スヘカラス

茲ニ此損害減少ノ目的上ノ散開ハ研究外トシ射撃準備目的上ノ散開ハ平坦開濶地、普通ニ目視シ得ヘキ目標ニ對シテ敵ヨリ幾何距離ニ於テ散開スヘキヤハ射撃開始ハ敵ヨリ幾何距離ニ於テ行フヤニ依テ定マル既ニ説述セシ如ク假リニ射撃開始ヲ遠クモ約千米突トセハ約千三百米(散開ニ要スル距離及散開終了後射撃開始迄ノ間ノ若干ノ餘裕距離ヲ合シテ約三百米突トセリ)ニ於テ散開開始ヲ要スルコト、ナルヘシ

散開兵力ノ決定

三 散開ノ兵力【歩操、一ノ百十一】

操典ニ曰ク「中隊既ニ散開スルニ至ルモ當初ハ成ルヘク兵力ヲ節約スルヲ可トス、何トナレハ最初ヨリ中隊ノ大部ヲ散開セハ十分ノ火力ヲ維持センカ爲終ニ他隊ノ援助ヲ要シ從ヒテ他中隊ト過早ノ混

滑ヲ免レサルヘカラサレハナリ然レトモ戰況之ヲ要スレハ最初ヨリ十分ノ兵力ヲ散開スルニ躊躇スヘカラスト又遮蔽シテ敵ニ接近シ得タルトキハ最初ヨリ直ニ多クノ散兵ヲ配布スルヲ可トシ之ニ反シ永ク敵火ニ曝露シテ前進セサルヘカラサル時ハ散兵線ノ兵力ヲ漸次ニ増加スルヲ利トスト【歩操二ノ三十四第二項】

此等ノ原則ニ依ルニ中隊ハ通常當初一小隊ヲ散開スヘキモノニシテ二或ハ三小隊ヲ最初ヨリ散開スルハ特別ノ情況地形ノ場合ト考フルヲ可トス

故ニ第二聯隊(第三大隊欠)方面ノ各中隊ハ最初先一小隊宛ヲ散開セシメタリ

然レトモ常ニ銘心セサルヘカラサルハ「戰鬪ヲ實行スルニ方リ所要ニ充タサル兵力ヲ逐次ニ戰線ニ増加スルハ大ナル過失ニ屬ス此ノ如クスル時ハ絶エス寡兵ヲ以テ衆敵ト戰ハサルヲ得スシテ自ラ先

援隊ノ隊形

制ノ利益ヲ放棄シ徒ニ損害ヲ招クノミナラス終ニ軍隊ノ志氣ヲ挫折スルニ至ルヘシナル原則ニアリ【歩操二ノ二十】

四 援隊ノ隊形【歩操一ノ百五十九】

操典ニ曰ク「援隊ノ隊形ハ地形ヲ利用シ密集隊形ヲ保チテ散兵線ノ運動ニ從フモノトス敵火ノ効力ヲ減スル爲要スレハ小隊或ハ分隊毎ニ分離シ又ハ一時散開隊形ヲ取ルコトアリ」ト

抑々輓近火器ノ威力増大ヲ極メ殊ニ防者ノ準備セル精確ナル射撃下ニ於テ散兵線ノ直後ニ援隊ヲ適當ニ誘導センコトハ極メテ困難ナルコトニ屬ス之カ爲ニハ巧ミナル地形ノ利用及適當ナル隊形ノ撰擇コソ實ニ重要ナリト言ハサルヘカラス而シテ原則ノ示セル如ク掌握ノ確實ヲ求メンカ爲ニハ可成密集隊形(地形ニヨリ中隊縱隊、横隊並立縱隊或ハ側面縱隊等何レニテモ可ナリ)ヲ可トスレトモ之ヲ要スレハ小隊、半小隊或ハ分隊毎ニ分離シ又ハ一時散開スルモ可

ナリ要スルニ敵火ノ景況地形ニ應シ一兵ニテモ損害ヲ減少スヘキ
最善ノ方法ヲ採ルニアリ
援隊ノ引卒法ハ然カク困難ニシテ且ツ重要ナルカ故ニ平時演習ニ
於テ殊ニ演練習熟ヲ謀ラサルヘカラス

情 況

各中隊ノ散兵線ハ多少ノ損害ヲ蒙リシモ之ニ應射ス
ルコトナク略第二細流ノ線ニ達セリ然ルニ死傷漸次
増加シ最早射撃シテ敵ヲ制壓スルニアラサレハ前進
ノ困難ヲ感ス且ツ目標ハ比較的明瞭ニシテ散兵壕ノ
線上ニ散兵ノ頭部ヲ羅列シアルヲ目撃シ得ルニ至レ
リ

問

射撃開始

中隊長ノ處置

答

射撃開始

說 述

射撃號令
ノ例

- 一 射撃號令ノ例示(第六中隊長)
目標 村落ノ左ノ端ヨリ右赤煉瓦家屋迄ノ散兵
一〇〇〇
各個ニ撃テ【步操一ノ八十二】

二 射撃開始時期

射撃開始
時期ノ研
究

原則ニ曰ク「射撃ノ開始ハ必ス十分ナル効果ヲ豫期シ得ヘキトキ若
クハ射撃スルニアラサレハ敵ニ接近スルニ多クノ犠牲ヲ供スヘキ
場合ニ於テスルモノトス【步操一ノ百四十九】

此原則ノ後段ハ敵ニ近接手段トシテ敵ヲ威壓ノ目的ヲ以テ射撃ヲ開始ス然レトモ十分ナル效力ヲ期スル能ハサルモ若干ノ效力ヲ呈セサレハ敵ヲ威壓スル事能ハサルノミナラス效力ナキ射撃ハ彈藥ヲ浪費シ前進遲滯シ且ツ却テ敵ノ志氣ヲ向上スヘキヲ知ラサルヘカラス

次ニ右原則ノ前段即チ十分ナル效果ハ敵ヨリ幾何距離ニ於テ豫期シ得ヘキヤ然ルニ所望ノ十分ナル效果(效果トハ相應ノ效力即チ損害ヲ加ヘテ敵ニ精神上ノ打撃ヲ與フルヲ謂フ)トハ程度不明ニシテ如何程損害ヲ與ヘナハ精神上ノ打撃ヲ與ヘ得ルヤハ斷案ヲ下シ得ヘキニアラサルモ予ハ茲ニ平時ノ射撃演習ニ於ケル成績ニ徴シ之カ探究ヲ試ミ以テ初學ノ者參考ニ資セントス

效力表

距離	500	600	700	800	900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600
頭	2.9	2.4	2.0	1.8	1.5	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
距離差	0.5	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
立	8.8	8.1	7.8	7.4	6.9	6.3	5.8	5.3	4.8	4.4	3.9	3.6
備考	三八式銃ヲ用ヒ中等射手ノ射撃成績トス 但シ的ハ散兵的トス											

此效力表中頭初ニ對スル效力ハ攻者ノ防者ニ對シ立的ニ對スル效力ハ防者ノ攻者ニ對スル效力ト見做シテ審査シ左ノ判斷ヲ下サントス

- 一 攻防兩者共ニ可成敵ニ近接又ハ近接セシメテ射撃スルヲ有利トス

二 攻者ハ防者ニ比シ約 $\frac{1}{6}$ ノ効力ヲ與ヘ得ルニ過キス從テ攻者ハ防者ヨリ射撃開始遅シ

三 攻者ハ頗ル遠距離ニ於テ頗ル大ナル損害ヲ蒙ルヲ以テ威壓射撃ヲ開始スルニアラサレハ近接困難ナル場合多カルヘシ

四 攻者ノ防者ニ與ヘ得ル効力變化ノ状態ヲ見ルニ
1000ト1100ニ於テ
其差ノ一階段ヲナスヲ見ル換言スレハ攻者ハ約1000ニ於テ始メテ

比較的良好ナル効力射撃ヲ行フヲ得ヘシ

右研究ニ基キ予ハ攻者ハ陣地ニ據レル敵ニ對シテハ遠クモ約千米突ヲ射撃開始ノ距離トナサントス是レ素ヨリ机上ノ空論ニ近ク要ハ狀況ノ許ス限リ近接シテ射撃ヲ開始スルヲ原則トス【歩操二ノ三十五】

情況

一 各中隊ハ逐次一進一止敵前六、七百突米ニ達スル

頃ニ至リ死傷續出セシヲ以テ之ヲ補充シ且ツ火力増大ノ必要上一小隊ノ援隊ヲ散兵線ニ増加シ以テ敵ヲ掃蕩センコトヲ謀レリ

援隊及豫備隊ノ増加

二 各中隊ハ更ニ前進ヲ繼續シ四、五百米ニ近接スルヤ各中隊共援隊ハ殆ント用ヒ盡サル

三 續テ第一大隊長ハ豫備タル第三中隊ヲ伍間ニ増加シ機關銃小隊ニ右翼ニ陣地進入ヲ命セリ

二小隊同時散開

第二大隊長ハ豫備第七中隊ヲ左翼ニ増加セシニ中隊長ハ二小隊ヲ同時ニ散開シ一小隊ヲ援隊トシテ左翼後近クニ控置セリ

四 聯隊長ハ豫備第八中隊ヲ第二大隊長ノ指揮ニ復

歸セシメ機關銃隊ニ命シ第一線ニ加入セシム
聯隊長ハ軍旗ト共ニ第四中隊ノ先頭ニ立ツテ第一
線ニ近接ス

五 敵ノ防戦頗ル頑強ニシテ更ニ一步モ退クノ状ヲ
見ス其將校ヲシキモノ敵線ノ後方左右ニ奔馳シ以
テ志氣ヲ鼓舞スルノ状顯然タリ殊ニ其二挺ノ機關
銃ハ威大ナル効力ヲ發揮シ爲メニ斃ル、モノ甚タ
多ク我前進頗ル澁滯ス

※第十九 歩兵第一聯隊方面ノ戦況

情 況

一 歩兵第一聯隊第三大隊ハ竹林後方ヨリ展開シツ
、竹林ヲ進ミ出テ殆ント第一大隊ト同線上ニアリ
テ前進シ續イテ第一線中隊ハ散開シ更ニ射撃ヲ開
始スルニ至レリ

二 之ヨリ先キ聯隊長ハ將校斥候ノ報告ニ依リ敵ノ
左翼ノ景況ヲ明カニシタリ即チQ村南端無名寺附
近ヨリ南方約二百米水車場ノ間ニ稍後退シタル一
陣地アルヲ知レリ依テ豫備タル歩兵第二大隊(第八
中隊欠)ヲシテ第三大隊ノ右ニ連繫シ此敵ニ對シ攻
撃セシム【歩操一ノ百九十九】

同大隊ハ直ニ竹林ノ南側ヨリ進出シ行進シツ、展

大隊ニ攻
撃目標分
割

開シテ第三大隊ノ右翼ニ展開シ且ツ散開スルニ至
レリ

三 第一線ハ概ネ右ハ墓地ノ丘阜ヨリ略細流ニ沿ヒ
X街道ニ亘ル線ニ達セシカ敵ノ射撃威力猛烈ニシ
テ前進頗ル困難ナリ聯隊長ハ機關銃隊ニ命シZ家
屋東方丘阜附近ニ進出シ第一線ノ前進ヲ援助セシ
ム

砲兵ノ一
部陣地變
換

四 當時砲兵大隊ハ一部ヲ以テB村主力ヲ以テQ村
ノ敵ヲ盛ンニ射撃中ナリシカ大隊長ハ獨斷ヲ以テ
砲兵第一中隊ニ命シZ家屋附近ニ陣地變換ヲナサ
シム【歩操二ノ三十六、砲操二ノ三十八四十四、四十五】

旅團長ハ豫備隊ト共ニ當時竹林東南方小林附近ニ
アリテ戰況ヲ觀察シツ、アリ

※第二十 騎兵中隊ノ襲撃

一 曩キニ騎兵中隊ハM村ニ於テ敵騎ヲ襲撃シテ之
ヲ潰走セシメタリシカ敵ハN林ニアリシ歩兵ニ收
容セラレ該林ニ停止セリ

二 爾後騎兵中隊ハM村ヲ占領シテ以テ敵情偵察ニ
従事セシカ午後十二時半頃ニ至ルヤ一發ノ砲聲ヲ
聽クト共ニC村E林附近ヨリ我歩兵ノ續々前進運
動ヲ開始セルヲ見ル

三 續テ中隊ハ我歩兵ノ第一線竹林附近ニ達スル頃
 歩兵斥候ノ援助ニ依リN林ノ敵騎ヲ驅逐セシニ敵
 ハS林西南端ニ停止徒歩戦ニ移レリ依テ中隊ハN
 林ニ徒歩戦ヲナシテ之ニ對シ專ラ旅團ノ側面警戒
 ニ任シアリ

四 戦況ハ漸ク發展セリ第一線歩兵ノ右翼ハ墓地附
 近ニ達シ戦闘激烈ヲ極ム此時敵ノ騎兵ハ殆ント全
 部林内ニ隠退セリ

問

騎兵中隊長ノ處置

答

全部乗馬

理由

敵騎ノ森林内ニ隠退セシハ何事カヲ企圖スル處アル
 カ爲メナリ此企圖ヲ妨碍シテ旅團ノ側面ヲ掩護セン
 カ爲メニハ行動自在ナル如ク乗馬シアラサルヘカラ
 ス

情況

騎兵ノ密
 集騎兵ニ
 對スル襲
 撃
 豫想ノ如ク敵ノ騎兵無名祠ノ傍ニ乗馬シテ顯出スル
 ヤ否ヤ直ニ我第一線歩兵ノ右翼ニ向ヒ襲撃ニ移レリ
 騎兵中隊長ハ之ヲ見ルヤ否ヤS林方面ヨリノ射撃ヲ
 犯シ敵騎ノ側面ニ向ヒ横隊ヲ以テ襲撃ス彼我ノ騎兵

勇敢ナル
騎兵隊長
ノ奮戦

忽チ衝突シ混戦亂闘ノ巷トハ化シヌ
勇敢ナル中隊長森岡大尉阿修羅ノ如ク猛リ狂ヒ忽チ
斬倒ス十數騎之ニ從フ部下ノ將卒奮戦勇闘餘力ヲ惜
シマス遂ニ敵ヲシテS森北側ニ向ヒ壓迫追躡ス

※第二十一 旅團長ノ戰鬪指揮

情況

旅團長ハ當時墓地西方地區ニアリ彼我騎兵ノ戰鬪ヲ
觀望シ次テ我騎兵ノ勝利ヲ目撃シ壯ト呼ヒ快ト叫ヒ
鞍ヲ撲テ雀躍ス

旅團長ノ
一喜一憂

然ルニ俄然S林方面ニ方リ稍盛ナル銃聲ヲ聞クト

共ニ我騎兵ノS林南側ヲ散亂シテ退走スルヲ見テ旅
團長稍不安ノ色アリ

既ニシテS林西端ニ歩兵ノ散開スルヲ見ル此時顔面
血ヲ潮セル傳騎馳走シテ來リ大聲叫ンテ曰ク「敵ノ歩
兵約二大隊S林東側ニ到著シツ、アリ」ト言終ルヤ否
ヤ落馬絶息ス「嗚呼忠節無類」

問

旅團長ノ決心及處置

答

決心

旅團ハ攻撃ヲ續行セントス

指揮官決
心ノ不動

處置

一 豫備隊タル歩兵第二聯隊第三大隊ヲシテS林ニ向ヒ攻撃セシメ砲兵第一中隊ヲシテ之ヲ援助セシム

工兵ノ直接戦闘加入

二 第一聯隊ニ前進ヲ督勵シ自ラ工兵中隊ヲ提ケ第一聯隊方面ニ急進ス

理由

情況ノ變化ハ戰場ノ常

第一線聯隊ノ戰況頗ル發展セリ決勝ノ期既ニ迫ル此際敵ニ有力ナル増援旅アルハ旅團ノ頗ル苦痛ヲ感スル處ナルモ此ノ如キ情況ノ變化ハ戰場ノ常ニシテ今更驚クヘキ事ニアラス從テ決心ニ變化アルヘキ理ナ

シ唯一考ヲ要スヘキハ此敵情ノ變化ニ對シ如何ニ處理シ以テ初志ヲ貫徹スヘキヤニ在リ之カ爲或ハ豫備隊ヲ以テ一時右側ニ於テ敵ノ増加隊ニ對シ守勢ヲ取ラシムルノ案モ亦一理ナキニアラサルカ如シ然レトモ地形ノ之ニ適スルモノナキノミナラス既ニ我第一線ノ右翼ハ直接敵ノ壓迫ヲ蒙ラントシツ、アルヲ以テ適當ナル處置ニアラサルハ明カナリ然ラハ第一線聯隊ヨリ一部ヲ裂キテ豫備隊ニ増加シ以テ敵ノ増加隊ニ對セシムレハ如何ト是レ戰況既ニ許サ、ルノミナラスタトヘ一部ヲ第一線ヨリ拔キ得ルトスルモ二兎ヲ追フモノハ遂ニ一兎ヲ獲サル悔ニ陥ラン

故ニ此際敵ノ増加隊ニ對シテハ一時持久ノ策トシテ豫備隊ノ歩兵大隊ヲ以テ斷然猛烈ナル攻撃ヲ實行セシメ此間ニ於テ主力方面ノ奏効ヲ謀ルヲ最善ノ策トス幸ニシテS林ニ達シタル新來ノ敵ハ尙縱長ノ隊形ニアルナルヘシ之ニ對シ豫備隊ハ有利ナル橫廣ノ隊形ニアリ加フルニ我砲兵ノ一部ハZ家屋附近ニ進出シ之ヲ援助スルニ極メテ有利ナル位置ニアリ故ニ倍數ノ敵ト雖モ或ハ積極的成效ヲ望ムヲ得ヘシ

※第二十二 歩兵第二聯隊第三大隊

(旅團總豫備)ノ戰鬪

情況

當時第一、第二聯隊方面ハ益々前進既ニ第一線ハ一、三百米突ニ近接シ戰鬪激烈ノ極ニ達シアリ旅團長ハ豫備隊タル歩兵第二聯隊第三大隊ニ命シS林ノ敵ニ對シ攻撃ヲ命シ砲兵第一中隊ニ之カ援助ヲ命シ第一聯隊ニハ敵情及自己ノトリタル處置ヲ通報シ突撃ヲ督促スルト共ニ自ラ工兵中隊ヲ提ケ此方面ニ急行ス【歩操二ノ十二】

旅團陣頭ニ立ツノ例

問

歩兵第二聯隊第三大隊長ノ展開命令

答

大隊全部第一線ノ例

攻撃目標 東方ノ森ノ敵兵
 全部 第一線
 第十二中隊 基準
 展開 基準中隊前進
 大隊旗ハ大隊長ノ下ニアレ

情況

大隊ハ墓地南方ニ直ニ展開ヲ終レリ此時敵ハS森神社兩側ニ續々展開中ニシテ既ニ二、三百ノ散兵アリ我ニ向ヒ射撃ヲ開始ス
 各中隊ハ直ニ全部散開ヲナシ次テ射撃ヲ開始ス
 砲兵第一中隊ハ既ニS林ノ敵ニ向ヒ射撃中ニシテ命

中隊全部散開

中確實敵兵混亂ノ狀ヲ見ル

説述

大隊總長區分ノ研究

一 原則ニ曰ク大隊獨立シテ戦闘スル場合ニ在リテハ側方ニ於ケル不時ノ事變ニ備ヘ又戦闘ノ進捗ニ應ジテ逐次ニ正面ヲ強大ナラシメンカ爲最初第一線ニ用フル兵力ハ成ルヘク節約セサルヘカラス

【歩操一ノ七十九】

大部隊内ニ在リテ戦闘スル時ハ側方ノ顧慮ヲ要セサルカ故ニ多クノ中隊ヲ第一線ニ展開スルコトヲ得ヘシ然レトモ大隊ノ戦闘任務ヲ遂行センカ爲最初ニハ少クモ一中隊ノ豫備ヲ控置スルヲ必要トスト今此原則ヨリ豫備隊ノ用途ヲ摘出スレハ豫備隊ハ第一線中隊ノ損害ヲ補充推進ヲナシ戦闘正面ヲ擴張シ又ハ側方ニ於ケル不時ノ事變ニ備ヘンカ爲メニ控置スヘキモノニ外ナラス然ルニ此情況ニ於テ歩兵第二聯隊第三大隊ハ果シテ此必要ヲ認ムルヤ否ヤ此戰

闘ハ俄然近距離ニ於テ衝突シタル遭遇戦ナリ隨テ戰鬪經過迅速ナルヲ以テ第一線ノ推進ヲ要スル必要少ク又狀況ハ逐次ノ正面擴張ヲ不利トシ且ツ側面ノ包圍ヲ受クル顧慮少ナキノミナラス、我騎兵中隊右側ニ存在スルヲ以テ殆ント豫備隊控置ノ必要ナシ寧ロ遭遇戦ノ性質上殊ニ我ヨリ優勢ナル敵ニ對シテハ此際一兵ト雖モ最初ヨリ第一線ニ多カラシメ以テ敵ヲ逐次各個ニ撃滅センコトヲ謀ルヲ有利トスルヤ炳焉トシテ火ヲ略ルヨリ明ラカナリ故ニ最初ヨリ四中隊ヲ第一線トス

次ニ各中隊全部散開セシモ概ネ此主旨ニ外ナラス然レトモ此ノ如キハ全ク特種ノ場合タルコトヲ忘ルヘカラス

二 各中隊ノ間隔ヲ二百五十米突トセシハ各中隊ヲシテ最初ヨリ充分ノ兵力ヲ散開スヘキ地域ヲ有セシメンカ爲ナリ
然レトモ此際各中隊ハ三小隊ヲ同時ニ散開ストセハ定規ノ間隔(空

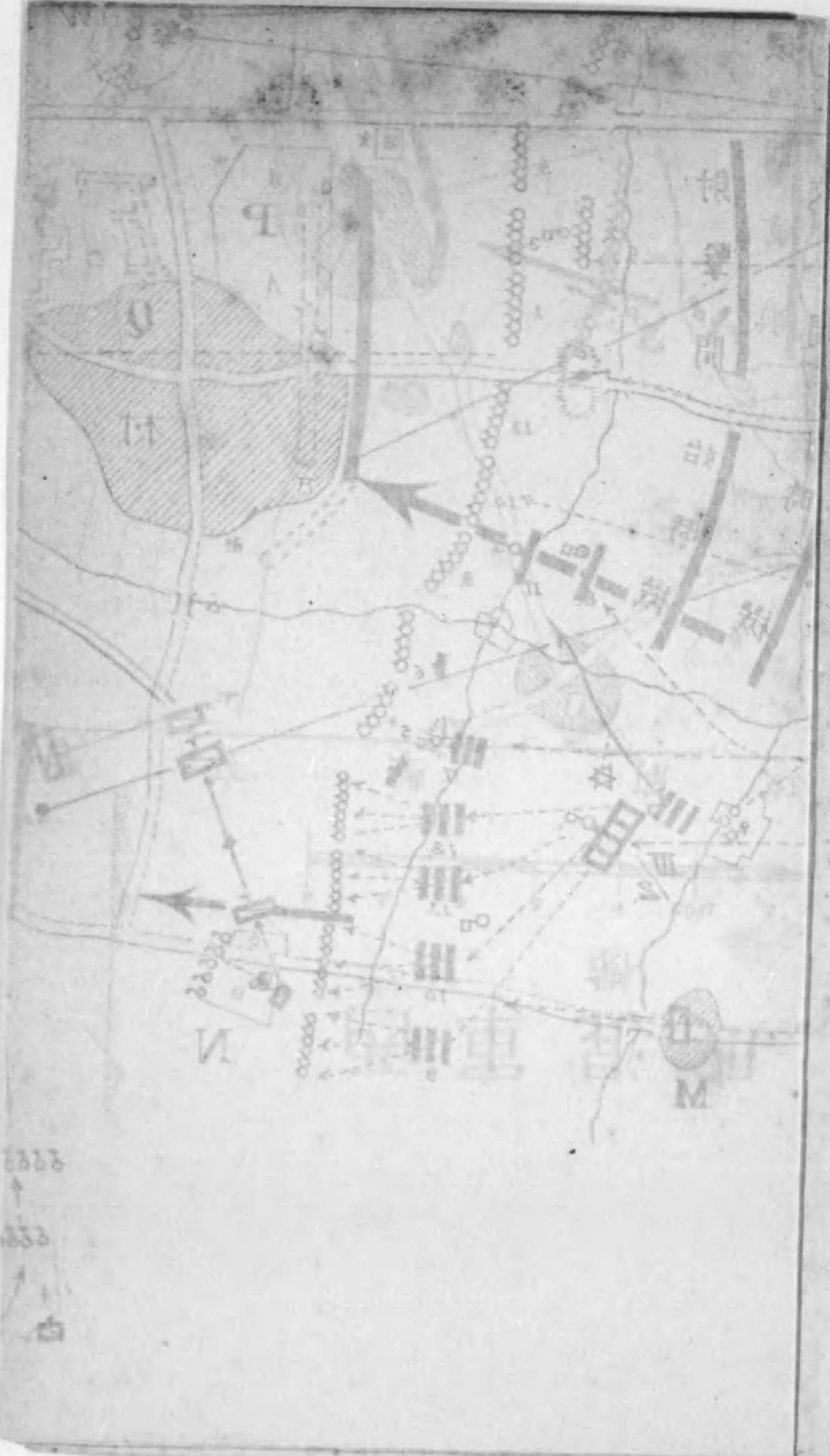
間二步)ヲ取ラシムヘカラス若シ然ルトキハ一中隊四百米突以上トナリ指揮困難且ツ濃密ヲ保ツ能ハサルヘシ

情況

騎兵ノ歩
兵ニ對ス
ル散開戰

一 我散兵線ハ略N森ノ線ニ達セリ敵ハ益々増加ス
此時R森ニアリテ徒步シテ敵ノ左翼ニ向ヒ射擊中
ナリシ騎兵中隊ハ俄ニ乘馬シ疾風ノ勢ヲ以テ散開
襲撃ヲ行ヒ敵ノ歩兵ノ一部ヲ蹂躪シ一時其前進ヲ
澁滞セシメタリ【騎操二ノ三十八、第二項三、十九】

然ルニ敵ハ間モナク一齊ニ前進ヲ起セリ我ノ損害
續出シ死屍累々血河混々慘狀言語ニ絶ス然レトモ
勇敢ナル我將士ハ士氣益々壯烈斃レシ戰友ヲ踏ミ



超へ乗り越へ躍進スルノ光景眞ニ悲絶愴絶
 然リト雖敵線ノ光景ハ一層ノ悲惨ヲ極メ殊ニ我砲
 彈爆裂ノ狀眞ニ壯絶ヲ極メ爆煙濛々敵線ヲ被フ
 嗚呼勝利ハ最後ノ五分間ニアリ

二 此時突撃ハ先B村方面ヨリ起リテQ村方面ニ及
 フ殷々タル銃聲轟々タル砲聲ハ頓ニ百雷ノ一時ニ
 落下スルカ如ク咄喊ノ聲ト相和シ次テ阿鼻叫喚ノ
 幕トハ化シ又嗚呼A町城頭既ニ焰々裂々タル火煙
 ノ裡ニアリ

勝利ハ最
 後五分間
 ノ忍耐

突撃

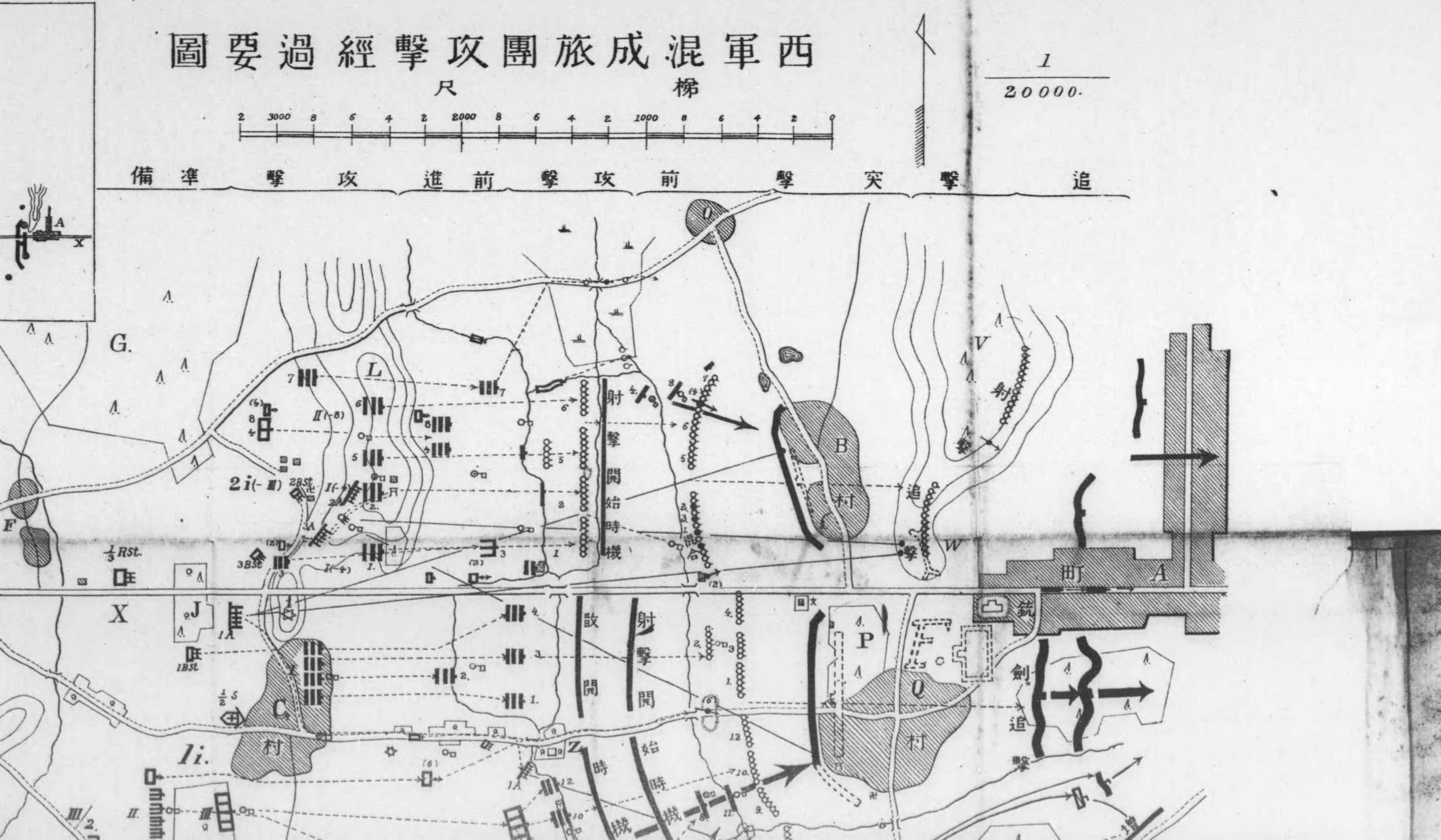
西軍混成旅團攻擊經過要圖

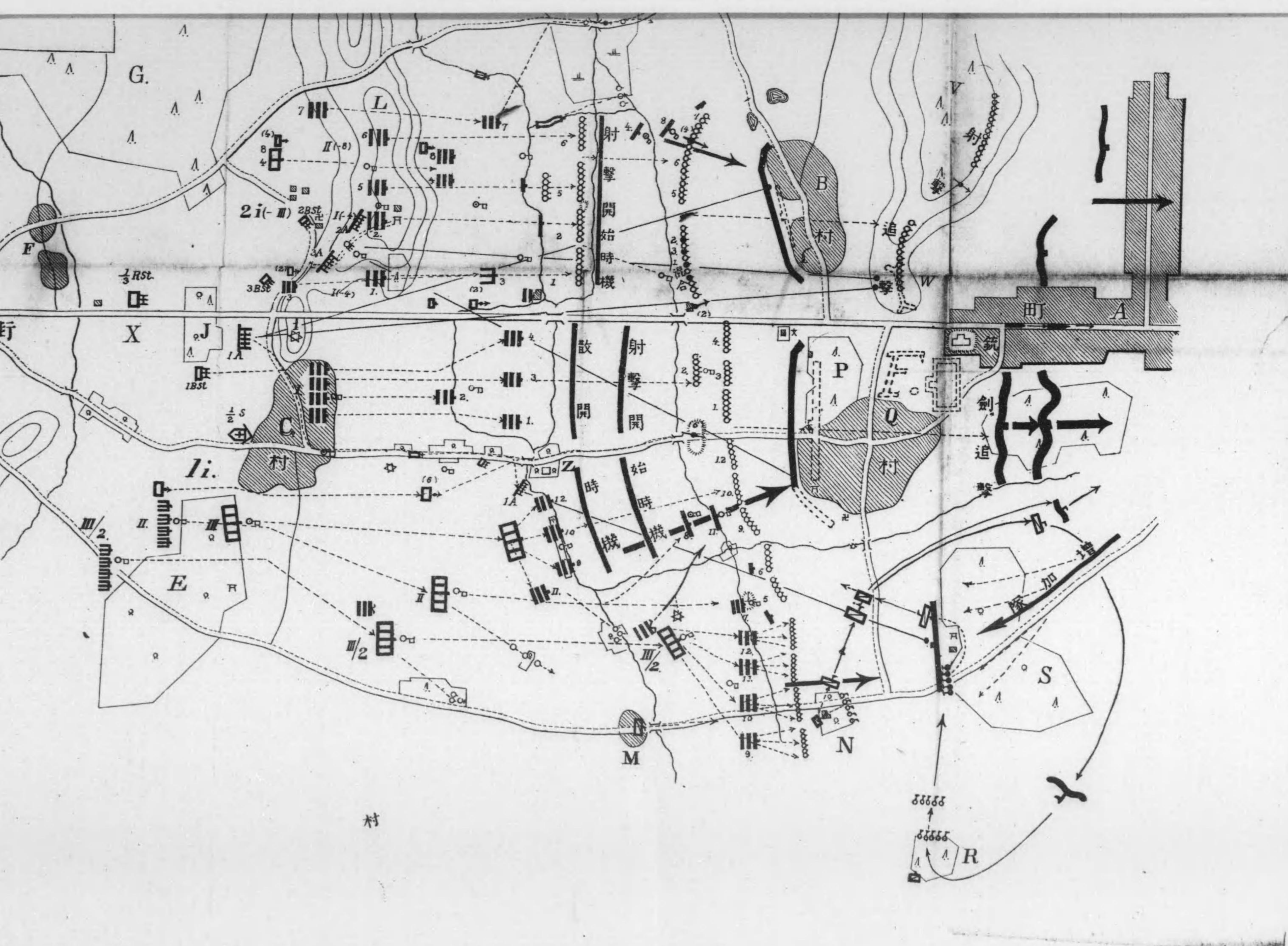
尺 梯

1
20000.



備 準 擊 攻 進 前 擊 攻 前 擊 突 擊 追



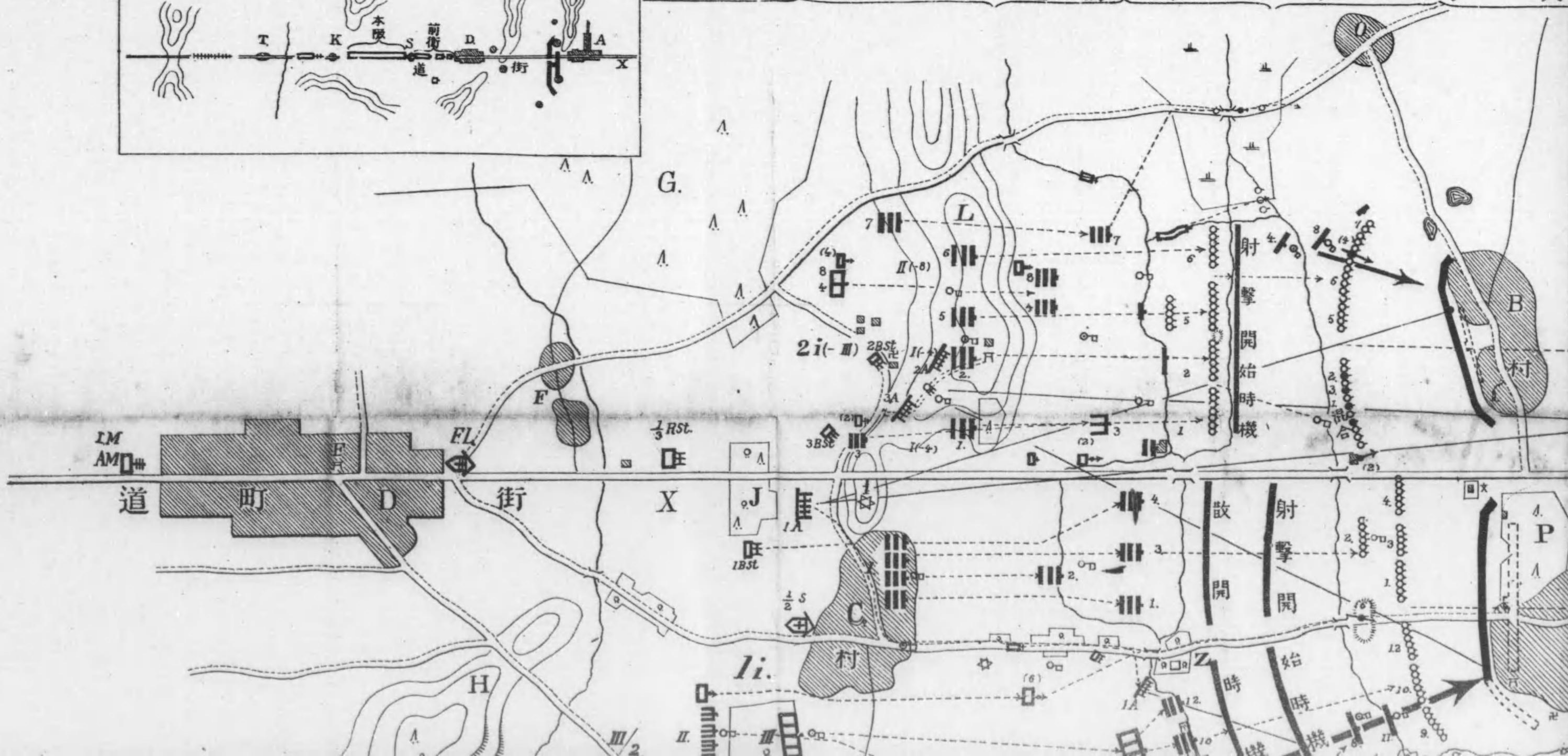
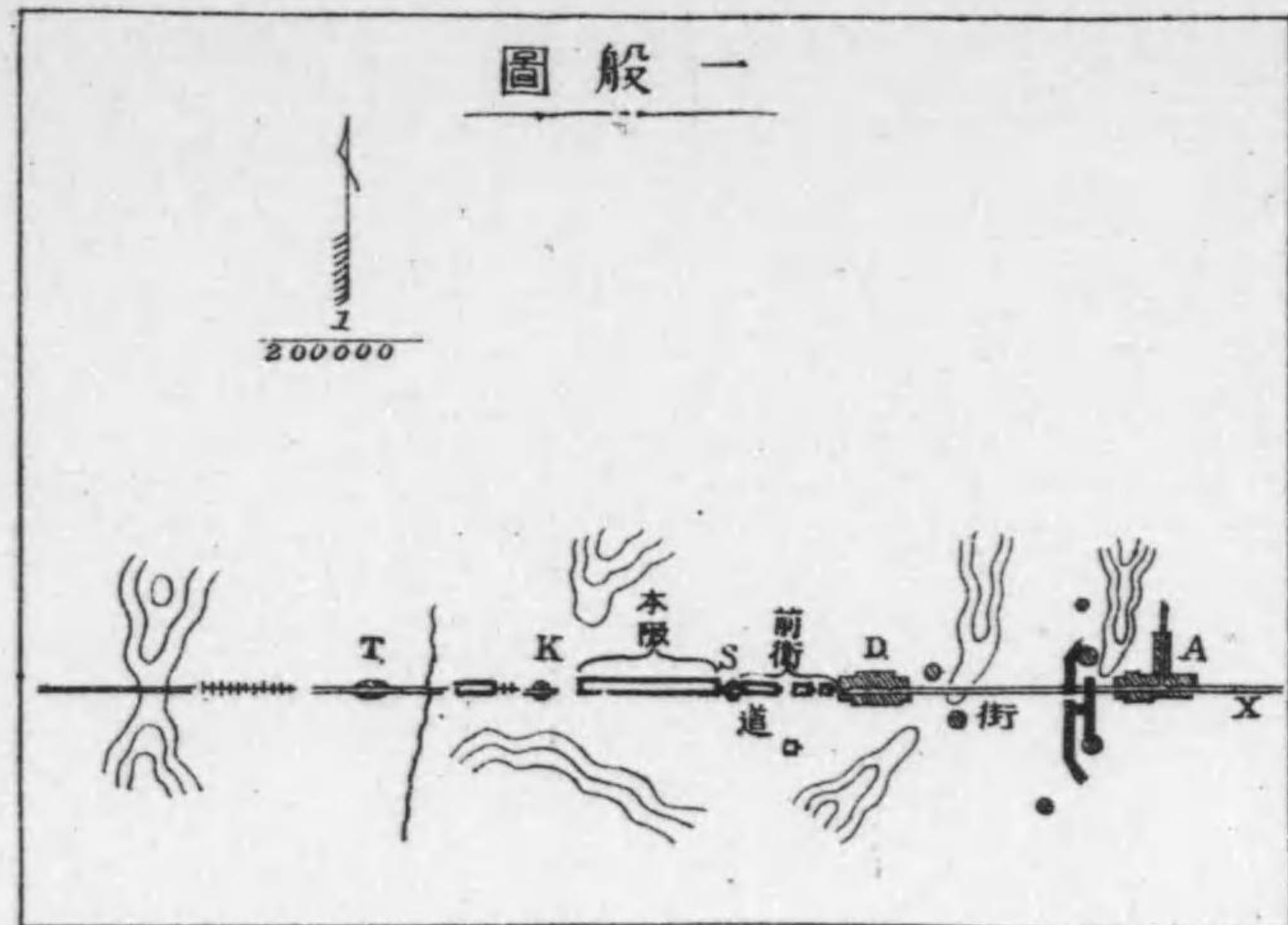


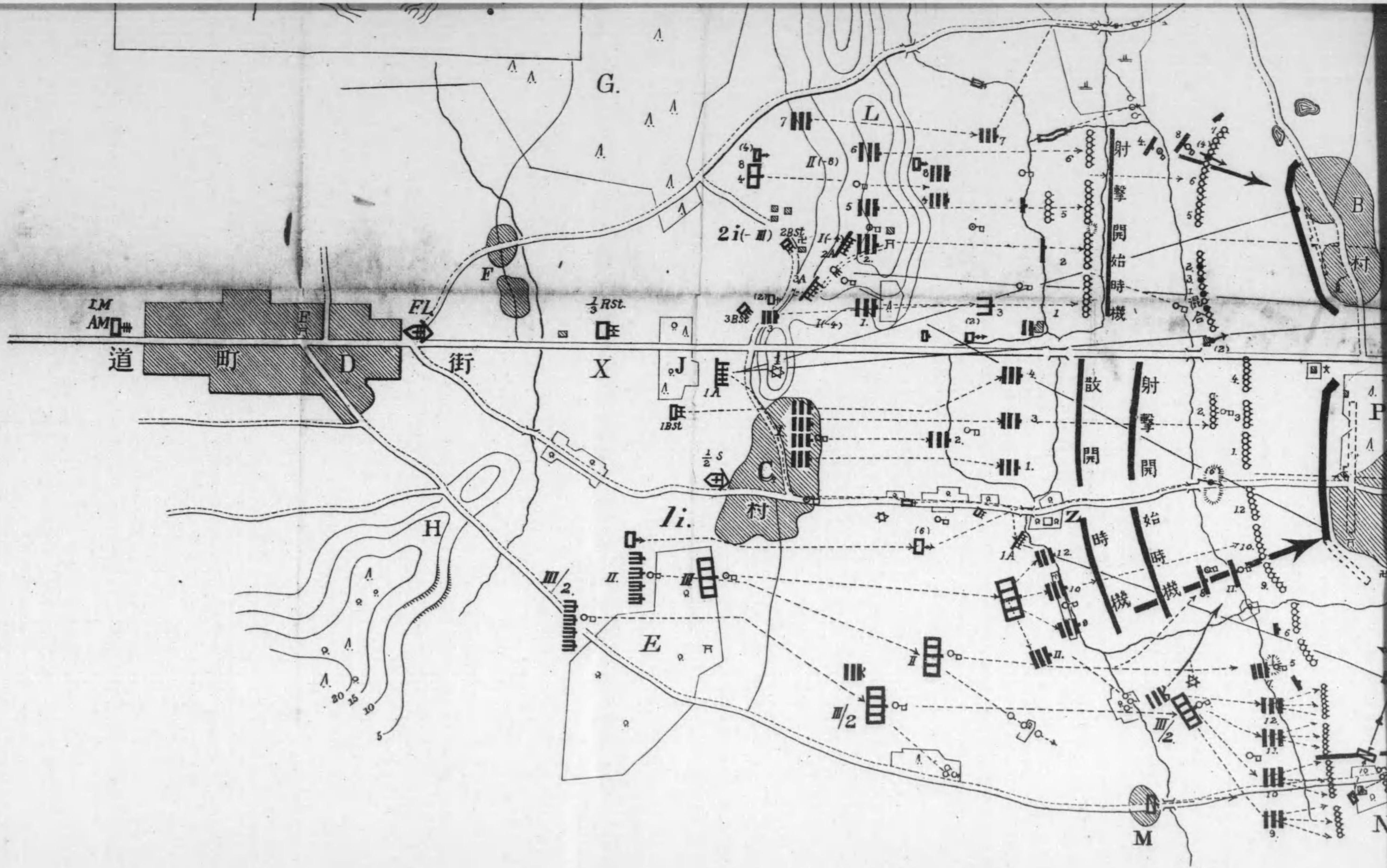
西軍混成旅團攻擊經過要圖

尺 梯



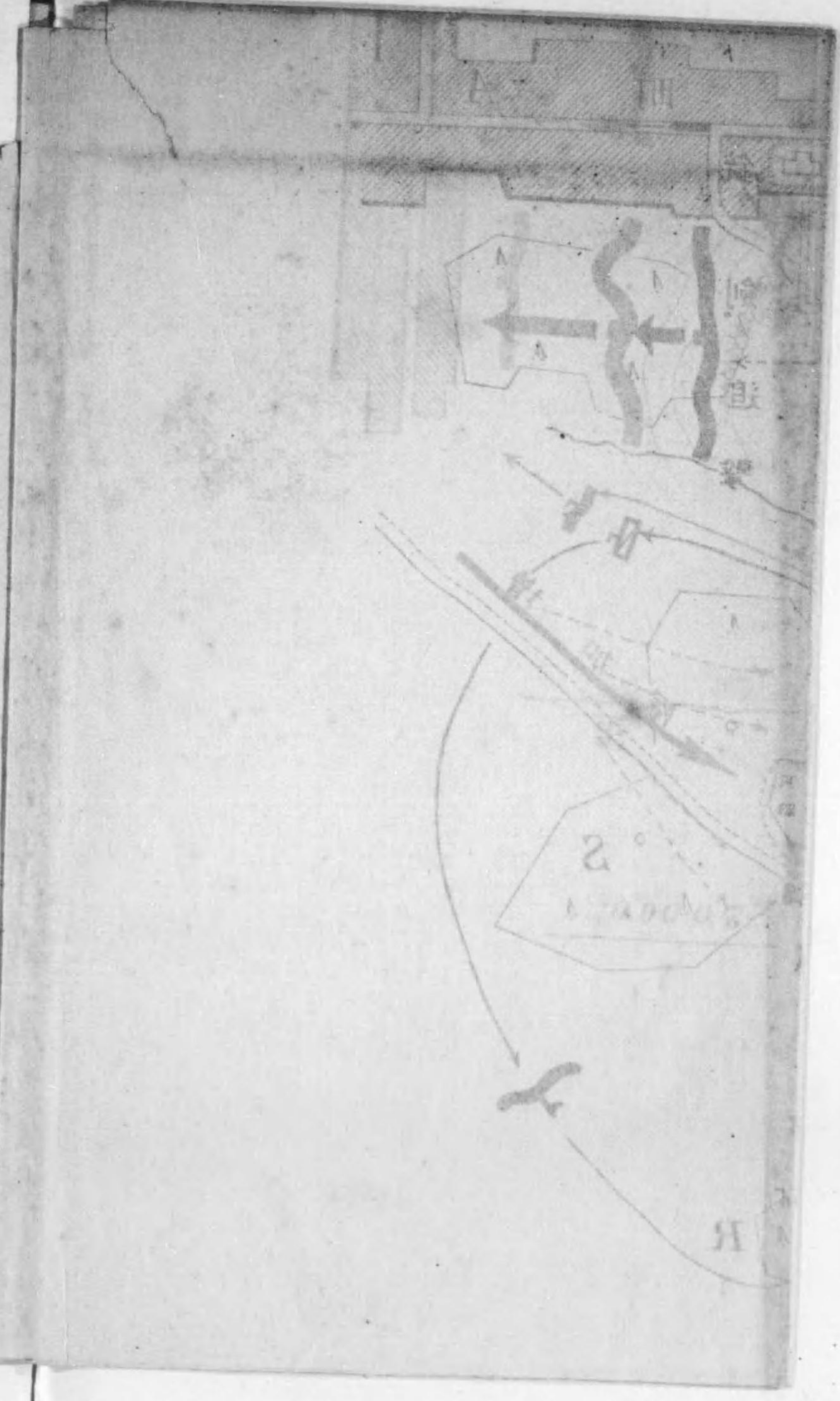
突擊、前攻、前進、攻擊、準備





村

Handwritten notes on the left page, including a large diagram of a triangle with lines extending from its vertices. The text is faint and partially obscured by the diagram.



攻 撃 一 般 の 要 領

(E) 展開 29.30.31.32.

(1) 展開掩護 (A) 騎兵及前衛部隊ハ前方ニテ適當ノ地ヲ占領シテ歩兵ノ展開ヲ掩護ス (B) 要スレハ砲兵ハ敵砲兵ヲ射撃シテ我歩兵ノ展開ヲ掩護ス

(2) 展開實施 (A) 各部隊ハ各自所要ノ警戒ヲナシ不時ノ事變ヲ豫防スルヲ要ス (B) 展開シタル各部隊ハシテ偵察シ爾後ノ運動ヲ容易ナラシムルコトヲ圖ルハシ之レカ爲 (C) 前方ノ地形シテハ全般ノ展開進行スルマテ成ルヘク過早ニ展開ヲ惹起スルヲ避クヘシ

(D) 後方部隊 31.32. (イ) 位置 (1) 地形ニ適合シ易ク又運動容易ナル隊形ヲ選ビ (2) 敵ノ有效射撃下ニ曝露スルニ至レハ成ルヘク集結シアルヲ要ス

(E) 展開シタル各部隊ハ攻撃前進ヲ起シ一意敵ニ近接スルコトヲ勉ムヘシ (A) 地形及 (B) 敵火ノ關係ハ散兵線ノ各部隊一様ナラスシテ一部隊ハ他部隊ニ比シ容易ニ前進シ得ヘキコトアリ此ノ如キ場合ニテ

(2) 散兵線各部ノ連繫ト協同動作 2/35 (イ) 一部ヲ以テ適當ナル地點例ヘハ (ロ) 一部ヲ以テ適當ナル地點例ヘハ

(3) 小銃有效射撃界ニ入ル迄ノ前進 2/33 34 (A) 我歩兵攻撃前進ニ移リ敵ノ砲兵現出スルヤ砲兵ハ (B) 隊形 44 最新線ノ各部隊ハ

(4) 歩兵戰闘正ニ酣トナルニ至レハ (A) 一旦占有セル地區ハ尺土ト雖再ヒ之ヲ敵ニ委テ可カラス (B) 剛健ニシテ思慮ニ富ム所ノ歩兵ハ敵火ノ爲極メテ困難ナル場合ニアリテモ亦器具ヲ使用シテ前進ヲ續行スルモノトス

(5) 土工具使用... 37 (A) 側方ニ在リテ不絶敵情ヲ搜索シ機ヲ誤ラス之ヲ報告スルヲ要ス (B) 我側背ヲ掩護シ以テ歩砲兵ヲシテ其側方及背後ニ顧慮スルコトナク戰闘ヲ遂行セシムルヲ勉ムヘシ

(6) 騎兵 3/7 (A) 大ナル騎兵部隊ニ在リテ全般ノ戰闘ヲ有利ナラシメンカ爲好機ニ投シ敵ノ側背ヲ脅威スルヲ必要トス (B) 敵ハ單一射撃ノ效果ニ依リ之ヲ驅逐シ得ルモノニアラス故ニ攻者ハ常ニ突撃ヲ實施シ以テ最後ノ勝利ヲ期セザル可カラス

(7) 決勝 38. 40. 42. (A) 機關銃ハ決勝ノ機ニ至レハ危險ヲ顧慮スルコトナク勉メテ前方ニ進出シ敵ヲ猛射スヘシ機關銃ノ效果ハ此瞬間ニ於テ極メテ大ナルモノトス 3/38

(8) 追撃 (A) 砲兵及機關銃 2/41. (B) 爾他ノ砲兵ハ (C) 砲兵及機關銃 2/41. (D) 砲兵及機關銃 2/41. (E) 砲兵及機關銃 2/41. (F) 砲兵及機關銃 2/41.

(F) 突撃 (イ) 開始 1.2/39 (ロ) 突撃動作及砲兵ノ動作 2/A46 (1) 突撃部隊ノ突撃動作 (2) 突撃部隊ノ突撃動作 (3) 突撃部隊ノ突撃動作

(E) 騎兵 我軍ノ戰勝ヲ豫期シ得ルニ至レハ各級指揮官ハ時機ヲ失セス追撃ノ準備ヲナスヲ要ス (1) 最新線ニアル指揮官ハ (2) 後方部隊ヲ直ニ前線ニ展開シテ其結果ヲ完フルコトヲ圖ルヘシ

(D) 工兵通常 4/38 (1) 歩兵ノ爲メ其進路ヲ開キ (2) 障礙物ヲ除キ (3) 又奪取シタル地區ヲ強固ニスルコトニ任ス

(C) 機關銃ハ決勝ノ機ニ至レハ危險ヲ顧慮スルコトナク勉メテ前方ニ進出シ敵ヲ猛射スヘシ機關銃ノ效果ハ此瞬間ニ於テ極メテ大ナルモノトス 3/38

(B) 砲兵 1/A46 2/38 (1) 此際我砲兵ニ對シ (2) 沈黙セル砲兵再ヒ戰闘ヲ開クモ (3) 敵砲兵ハ依然突撃點ヲ射撃スルヲ要ス

(A) 側方ニ在リテ不絶敵情ヲ搜索シ機ヲ誤ラス之ヲ報告スルヲ要ス (B) 我側背ヲ掩護シ以テ歩砲兵ヲシテ其側方及背後ニ顧慮スルコトナク戰闘ヲ遂行セシムルヲ勉ムヘシ

(1) 突撃ヲ行ヒタル軍隊ハ (2) 砲兵及機關銃 2/41. (3) 砲兵及機關銃 2/41. (4) 砲兵及機關銃 2/41. (5) 砲兵及機關銃 2/41.

(3) 砲兵及機關銃 2/41. (A) 砲兵及機關銃 2/41. (B) 砲兵及機關銃 2/41. (C) 砲兵及機關銃 2/41. (D) 砲兵及機關銃 2/41.

大正四年五月二十一日印刷
大正四年五月二十四日發行



著者 栗原勇

東京市牛込區市ヶ谷本村町一番地

發行者 佐藤庸也

東京市麴町區飯田町二丁目三十三番地

印刷者 柴田源藏

東京市牛込區市ヶ谷本村町一番地

陸軍士官學校將校集會所

東京市麴町區飯田町二丁目三十三番地

發行所

取扱所

株式會社 兵 林 館

海軍大臣八代中將閣下題辭 海軍中佐若林欽先生著並畫

海氣と人語

菊判紙數約四百頁
口繪寫真三色版刷
挿畫五十有餘

富國の要訣は海上の發展に在り海上の經營に在り古往今來海權の消長は東西諸國民に取りて、盛衰興亡の本づく所なり。將又海上貿易は國力涵養の根柢にして、海上武力は之を保護する唯一の軍備なりとす。英獨米諸國の勃興と西班牙葡萄牙和蘭諸國の衰弊とは、何れも之を證明するに非ずや。況んや今日の時局は獨國の海上勢力を全く破壞し吾人を益々此の感に深からしめ、海上の活動を要すること甚だ切なるものあるに於てをや。然るに我が同胞の海洋に對する智識は缺乏し、海外に進展するの素質猶足らずして、往々新鮮なる海氣を等閑視するの傾向あるは、是れ此の種著述の至難なる所以なり。著者海上生活に從事すること多年、今般然心研鑽の結果遂に本書を完成して、是記の目的を達せり。書中幾多有益なる談柄を設け、毫も理論に走らず、内外古今の實話を基礎として、平易に且つ愉快に繪畫數十葉をも挿入して、一々證明を助けたるを以て、之を繕くときは、懇切丁寧に之を叙述するの外、更に著者自愉快に海國の活躍の最も急務なるを感じ、隨て世界的智見を増殖し、我が現下の地位をも悟るを得べし。眞に海洋文學の研究上、養易からざるの好著なりと謂ふべし。政治家、學者、軍人、海員、實業家、教員、學生を問はず、又老若男女に論なく、苟くも文明社會の識者たらんとする人は、是非本書の一讀を要す。

發行所 東京九段中坂下 株式兵林館

通俗教育 勅諭講談

全五册美装箱入壹部特價金六拾錢 郵稅金貳錢

忠節

次目容内
▲芳ばし嫩葉(橋中佐) 誠忠の彈丸(相馬大作) 斷腸の拾兒(福田一等卒) 湊川の菊水(楠正成) 譽れの軍使(谷村計介)

禮儀

次目容内
▲車中の佳話(福井中尉) 音曲の停止(上杉謙信) 最後の大禮(鐘崎三郎) 伏見の火焔(雜賀重朝) 立海の猛濤(須知中佐) 水戸の明君(徳川齊昭) 新聞の一片(松代軍曹)

武勇

次目容内
▲雪夜の快舉(大石真雄) 雙眼の失明(平田喇叭卒) 飯盛山の煙(飲沼貞吉) 破格の叙勳(家中少尉) 伊賀の水月(荒木吉和)

信義

次目容内
▲海軍三羽鳥(廣瀬中佐) 鐵火の拷問(天野屋利兵衛) 暗夜の黑影(福村一等卒) 改悔の屠腹(村上喜劍) 記念の軍刀(馬丁吉松秀作)

質素

次目容内
▲赤切符の旅(乃木大將) 無双の駿馬(山内一豊) 紺緋の紋服(藤室令夫人) 紅魚の吸物(黒田如水) 行厨の残飯(稲田上等兵) 滑川の松明(青砥藤綱) 小鱈と澤庵(西村聯隊長)

發行所 株式兵林館

東京九段中坂下

振替口座東京四九三六番

甲編 陸軍歩兵少佐 安原瀧藏殿 講述 (非賣品)
乙編 陸軍歩兵大尉 武田秀一殿

歩兵教練之研究

實費 甲編金參拾錢
乙編金參拾五錢 (郵稅共)

本書は陸軍歩兵學校に於て大正二年度召集佐官及び戰術科學生に課せられたる教練問題に對し口授せられたる研究事項の要領を集收し傍ら參考の爲め一、二學生諸氏の答案を輯録せられたるものにして今回同校將校集會所に於て筆寫に代ふるに印刷に付し一般希望者に頒布せらるゝに當り其取扱方を弊社に御指命相成候處尙殘本有之候に付御希望の向は此際至急御申込相成度候也

夢城著

再版 尖兵長

全一冊 袖珍用紙數二百有餘頁
定價金貳拾五錢
郵稅金四錢

本書ハ著者カ多年實際ニ研鑽セラレタル結果ヲ本館ノ懇請ニヨリ公ニセラレタルモノナリ其内容ニ至リテハ實ニ懇切丁寧ニ各種ノ想定ヲ設ケ之ヲ問答體トナシ仔細ニ研究セラレタルモノナリ爾餘ハ寧ロ著者ノ緒言ヲ介シテ説述ニ代ヘントス

著者緒言

形ヲ以テスレハ尖兵ハ小ナル者ナリ、任務ヲ以テ論スレハ大ナル者ナリ、大ヲ以テ小ヲ兼スルハ人皆之ヲ能クス、小ヲ以テ大ヲ盡スハ唯其人ヲ待ツテ始メテ能フ、初級指揮官トシテハ研鑽學究自ラ其人ヲ以テ任セサルハ唯現地講話ノ利ヲ推スハ敢テ其資料ヲラントス、凡ソ研究ハ實兵指揮ヲ除イテハ先ツ現地講話ノ利ヲ推スハ敢テ其資ニ據ランカ爲メニ學習者ヲ假設シテ現地問答ノ體トセリ、讀者亦其身現地ニ在テ傍聽スルノ感ヲ以テ研究スレハ、書外自ラ得ル所アルニ庶幾乎
如クニシテ各級幹部ノ諸士必ス一讀ヲ愛讀アラントコトヲ